

飯田市議会要覧

平成 27 年 7 月

飯田市議会事務局

飯田市市民憲章

わたくしたちの飯田市は、美しい自然に恵まれ、長い歴史と尊い伝統文化につつまれた人情豊かなまちとして知られ、伊那谷の中心都市として躍進しています。

わたくしたちは、このまちの市民としての誇りをもち、明るく健康で豊かな市民生活を築くために、全市民のねがいをこめてこの憲章をかかげ、たがいにはげましあい、手を取りあって進みます。

わたくしたちは

- 1 自然を大切にし、美しい環境の飯田市をつくれます。
- 2 心身をきたえ、健康で明るい飯田市をつくれます。
- 3 伝統を生かし、文化の香り高い飯田市をつくれます。
- 4 善意を広め、思いやりの心で幸せな飯田市をつくれます。
- 5 楽しく働き、豊かな産業の飯田市をつくれます。

(昭和52年6月21日 制定)

目次

I 沿革

1 沿革	3
2 人口と世帯の推移	5
3 市議会議員選挙執行状況	6
4 歴代市議会議員	
(1) 歴代議長	7
(2) 歴代副議長	8
(3) 歴代総務常任委員会正副委員長	9
(4) 歴代社会文教常任委員会正副委員長	10
(5) 歴代産業建設常任委員会正副委員長	11
(6) 歴代建設環境常任委員会正副委員長	12
(7) 歴代議会運営委員会正副委員長	13
(8) 歴代監査委員（議会選出）	14
(9) 歴代事務局長	15
(10) 歴代市議会議員	16

II 市議会の構成

1 構成	22
2 議員名簿	24
3 正副議長及び各委員会委員名簿	25
4 監査委員及び南信州広域連合議会議員名簿	25
5 議会選出の各種委員等	26
6 各会派及び各会派の代表者氏名	27

III 1年間の活動

1 市議会の活動状況	
(1) 市議会招集回数 10 か年比較表	28
(2) 議会開会状況	28
(3) 議会審議状況	29
(4) 付議事件及び議決結果一覧表	30
(5) 議会において執行した選挙・選任等	44
(6) 委員会活動開催状況	44
(7) 請願陳情	45
(8) 定例会の質問事項	48
(9) 本会議等傍聴状況	86
2 報酬・その他	87
3 定期刊行物	88
4 市議会会議録	88
5 議会事務局の事務分掌	89

参考資料

◎ 平成 27 年度飯田市各会計及び一般会計当初予算の概要	資 1
◎ 飯田市行政組織機構図	資 9
◎ 職員の定数	資 11
◎ 都市宣言	資 12
◎ 市制提携に関する覚書	資 16
◎ 友好都市締結	資 16
◎ 飯田市の主要年表	資 17
◎ 飯田市自治基本条例	資 27

I 沿 革

1－1 飯田市の沿革

飯田市は、長野県の最南端に位置する伊那谷の中心都市である。諏訪湖に源を発し、伊那谷を南下して太平洋に注ぐ天竜川の全長のほぼ中央に位置し、東に南アルプス国立公園、西に中央アルプス県立公園をひかえ、豊かな自然、優れた景観及び四季に富んだ暮らしやすい温暖な気候に恵まれている。伊那盆地の河岸段丘に位置する市街地から南アルプスの山懷に抱かれる遠山郷までにわたる658.66平方キロメートルの市域に104,284人（平成27年4月1日現在）の人口を擁し、地域に根ざした特色ある文化や産業活動が幅広く展開されている。

飯田城の城下町であり、街並みの様相から「小京都」と呼ばれてきたが、昭和22年4月に市街地の3分の2を焼失する大火に見舞われた。以後面目を改め、防火モデル都市、さらに近年は環境文化都市として注目されている。

近世の太宰春台、近代の菱田春草、河竹繁俊、日夏耿之介等学芸の士の生誕地であり、りんご並木のまち、人形劇のまちとして親しまれ、名勝天龍峡があり、豪快な天竜川下りが楽しめるほか、遠山郷の霜月まつり、各地に伝わる獅子舞など、伝統文化が豊富な地である。

昭和12年4月1日に飯田町と上飯田町が合併して市制を施行、以来、15町村と合併し、今日の飯田市の市域を成している。



「伊那谷の夜明け」とまで言われ、多くの市民が期待していた中央自動車道西宮線は、昭和50年8月23日に中津川一駒ヶ根間が開通し、昭和57年11月10日に全線開通となり、飯田地方と中京圏、首都圏との経済、文化の交流が飛躍的に拡大した。

また、東海地域と飯田を結ぶ三遠南信自動車道においては、平成6年3月29日に矢筈トンネルが、平成20年4月13日には飯田山本IC―天龍峡IC間が開通し、その後も全線開通を目指しての建設が進行している。

さらに、平成39年開業予定のリニア中央新幹線については、平成25年9月にルート及び長野県駅が飯田市上郷飯沼に設置される計画が公表された。三遠南信地域連携ビジョン等ともあいまって、激的に近くなる首都圏と中京圏との連結地域として本市の果たす役割が期待される。

1－2 市議会の沿革

飯田市議会は、昭和31年に1市7か村を廃し、その区域をもって市制を施行したことに伴い、旧市村の議員が引き続き市議会議員（総員149人）として在任、同年10月8日に臨時会が開かれ、初代議長に代田源六郎氏、初代副議長に伊藤清氏が選出された。

市議会議員の定数は、昭和32年3月12日の定例会において「飯田市議会議員の選挙区及び各選挙区における議員の数に関する条例」（小選挙区制）を可決、以後、議員定数の見直しと合併による増員などの変遷を経てきた。

平成19年5月、新しい時代にふさわしい地方議会の在り方を模索する中で、市民にとってわかりやすく開かれた議会を目指し「議会改革検討委員会」を設置した。委員会では、「議員の在り方の変革を目指して」ほか5項目を議論する中、平成21年4月19日執行の議員選挙から定数を29人から23人に削減し、常任委員会の所属についても複数所属とし、一人の議員が二つの常任委員会に所属することとした。平成25年4月21日執行の議員選挙後は委員会活動をさらに充実させるため、議員は一つの常任委員会に所属することとした。

飯田市議会の近年の取組として最も注目されるのは、「飯田市自治基本条例」の制定である（平成19年4月施行）。その端緒は、平成15年5月、政策立案型議会への転換を目指した議会議案検討委員会の設置にある。翌16年5月20日には、市民を委員として「わがまちの“憲法”を考える市民会議」が発足、同会議は条例の制定に向けた研究を行い、同年12月28日にその成果を最終答申書にまとめ、議長に提出した。市議会は翌17年5月に自治基本条例特別委員会を設置し、2度にわたる地区懇談会及び議会によるパブリックコメントの実施を経た後、自治基本条例の案を平成18年9月21日に議会議案として提案し、全会一致で可決した。

この条例の制定を契機に、平成20年度から「議会による行政評価」が、平成21年度から開かれた議会を実現するための「議会報告会」がそれぞれスタートした。平成23年1月から、条例中の「議会の役割」について議会による検証が開始され、平成24年3月には、これまでの検討を踏まえ「議会改革・運営ビジョン」を取りまとめ、常設の機関として「議会改革推進会議」を設置した。議会改革推進会議では、1年をかけ課題として整理した29項目すべてを検討し、平成25年3月に「議会改革・運営ビジョン実現に向けた取組み（まとめ）」として取りまとめた。

その後、平成25年4月には議会報告会を含む広報広聴活動を充実させるため、「広報広聴委員会」を設置している。

なお、飯田市自治基本条例への取組については、平成26年度末までに158団体、1,582人が視察に訪れている。



人形劇フェスタのイメージキャラクター「ぼお」です。太り気味の妖精でリンゴ並木に住んでいるそうです。

2 人口と世帯の推移

(単位：世帯・人・km²)

年 月	世帯数	人口	男	女	面積
昭和31. 9	14,627	69,235			199.78
昭和36. 3	16,018	69,538			206.07
昭和39. 3	19,179	79,541			293.03
昭和54. 4	20,870	77,860	36,794	41,066	〃
昭和55. 4	21,054	78,151	36,853	41,098	〃
昭和56. 4	21,697	78,306	37,018	41,288	〃
昭和57. 4	22,114	78,693	37,368	41,325	〃
昭和58. 4	21,928	78,410	37,059	41,351	〃
昭和59. 4	21,872	78,665	37,331	41,334	〃
昭和60. 4	26,458	92,132	43,776	48,356	299.23
昭和61. 4	26,469	92,096	43,709	48,387	〃
昭和62. 4	26,573	92,179	43,783	48,396	〃
昭和63. 4	26,709	92,050	43,810	48,240	〃
平成 1. 4	26,824	91,846	43,778	48,068	〃
平成 2. 4	27,033	91,806	43,721	48,085	298.90
平成 3. 4	27,277	91,723	43,739	47,984	〃
平成 4. 4	27,467	91,612	43,695	47,917	〃
平成 5. 4	27,732	91,684	43,819	47,865	〃
平成 6. 4	32,507	106,104	50,754	55,350	325.35
平成 7. 4	32,829	106,233	50,841	55,392	〃
平成 8. 4	33,183	106,472	50,991	55,481	〃
平成 9. 4	33,577	106,495	50,971	55,524	〃
平成10. 4	33,975	106,695	51,142	55,553	〃
平成11. 4	34,233	106,464	51,093	55,371	〃
平成12. 4	34,519	106,479	51,135	55,344	〃
平成13. 4	34,870	106,456	51,093	55,363	〃
平成14. 4	35,056	106,161	50,947	55,214	〃
平成15. 4	35,382	106,078	50,893	55,185	〃
平成16. 4	35,656	105,846	50,728	55,118	〃
平成17. 4	35,807	105,411	50,511	54,900	〃
平成18. 4	37,190	107,593	51,640	55,953	658.76
平成19. 4	37,395	106,993	51,253	55,740	〃
平成20. 4	37,787	106,770	51,138	55,632	〃
平成21. 4	37,682	105,867	50,693	55,174	〃
平成22. 4	37,801	105,372	50,407	54,965	658.73
平成23. 4	37,886	104,771	50,146	54,625	〃
平成24. 4	38,087	104,291	49,931	54,360	〃
平成25. 4	39,040	105,750	50,445	55,305	〃
平成26. 4	39,108	104,954	50,076	54,878	〃
平成27. 4	39,358	104,284	49,884	54,400	658.66

※平成25. 4以後は住民基本台帳法の改正により外国人を含む数字

特記事項

- ・昭和31年 9月：飯田市、座光寺村、松尾村、竜丘村、三穂村、伊賀良村、山本村及び下久堅村の1市7か村を合併
- ・昭和36年 3月：川路村を編入合併
- ・昭和39年 3月：上久堅村、千代村及び龍江村を編入合併
- ・昭和59年12月：鼎町を編入合併
- ・平成 5年 7月：上郷町を編入合併
- ・平成17年10月：上村及び南信濃村を編入合併
- ・平成22年 2月：天竜村との境界を修正
- ・平成26年10月：国土地理院が、計測方法を変更したことによる面積の修正

3 市議会議員選挙執行状況

昭和32年4月28日	合併による設置選挙
昭和35年10月25日	飯田地区補欠選挙
昭和36年4月23日	任期満了一般選挙
昭和39年5月15日	龍江・千代・上久堅3か村合併による増員選挙
昭和39年8月28日	伊賀良地区補欠選挙
昭和39年10月25日	飯田地区補欠選挙
昭和40年4月25日	任期満了一般選挙
昭和43年10月20日	補欠選挙
昭和44年4月20日	任期満了一般選挙
昭和47年10月22日	補欠選挙
昭和48年4月22日	任期満了一般選挙
昭和51年10月17日	補欠選挙
昭和52年4月17日	任期満了一般選挙
昭和55年10月19日	補欠選挙
昭和56年4月19日	任期満了一般選挙
昭和60年4月21日	任期満了一般選挙
昭和63年10月16日	補欠選挙
平成元年4月23日	任期満了一般選挙
平成4年10月18日	補欠選挙
平成5年4月25日	任期満了一般選挙
平成5年8月1日	上郷町合併による増員選挙
平成8年10月20日	補欠選挙
平成9年4月20日	任期満了一般選挙
平成12年10月15日	補欠選挙
平成13年4月22日	任期満了一般選挙
平成16年10月24日	補欠選挙
平成17年4月24日	任期満了一般選挙
平成17年10月30日	補欠選挙
平成21年4月19日	任期満了一般選挙
平成25年4月21日	任期満了一般選挙

4 歴代市議会議員

(1) 歴代議長

代	氏 名	就任年月日	退任年月日
初 代	代田源六郎	昭和31. 10. 8	昭和32. 4. 27
		昭和32. 5. 10	昭和36. 4. 27
		昭和36. 5. 15	昭和40. 4. 27
		昭和40. 5. 6	昭和41. 5. 13
		昭和41. 5. 13	昭和42. 5. 11
2 代	辻 虎松	昭和42. 5. 11	昭和44. 4. 27
3 代	近松 宗一	昭和44. 5. 7	昭和46. 5. 7
		昭和46. 5. 7	昭和48. 4. 27
4 代	伊原 悦雄	昭和48. 5. 8	昭和50. 5. 7
		昭和50. 5. 7	昭和52. 4. 27
		昭和52. 5. 6	昭和54. 4. 13
5 代	林 昌平	昭和54. 4. 13	昭和56. 4. 27
		昭和56. 5. 7	昭和58. 4. 22
		昭和58. 4. 22	昭和60. 4. 27
6 代	松嶋 健次	昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 12
		昭和62. 5. 12	平成元. 4. 27
7 代	平澤 與一	平成元. 5. 10	平成3. 1. 31
8 代	塩澤 昭	平成3. 1. 31	平成3. 5. 9
9 代	竹村 仁實	平成3. 5. 9	平成5. 4. 27
10 代	實原 裕	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
11 代	今村 八束	平成7. 5. 12	平成9. 4. 27
		平成9. 5. 13	平成11. 5. 13
12 代	小林 利一	平成11. 5. 13	平成13. 4. 27
		平成13. 5. 15	平成15. 5. 14
13 代	西尾 喜好	平成15. 5. 14	平成17. 4. 27
14 代	岩崎 和男	平成17. 5. 13	平成19. 5. 11
15 代	熊谷 富夫	平成19. 5. 11	平成21. 4. 27
16 代	上澤 義一	平成21. 5. 12	平成23. 5. 13
17 代	中島武津雄	平成23. 5. 13	平成25. 4. 27
18 代	上澤 義一	平成25. 5. 13	平成27. 5. 12
19 代	林 幸次	平成27. 5. 12	
20 代	木下 克志		

(2) 歴代副議長

代	氏 名	就任年月日	退任年月日
初 代	伊藤 清	昭和31. 10. 8	昭和32. 4. 27
2 代	片山 均	昭和32. 5. 10	昭和36. 4. 27
		昭和36. 5. 15	昭和39. 8. 1
3 代	熊谷 一郎	昭和39. 9. 15	昭和40. 4. 27
		昭和40. 5. 6	昭和41. 5. 13
4 代	小林 新吾	昭和41. 5. 13	昭和42. 5. 11
5 代	市村 保人	昭和42. 5. 11	昭和44. 4. 27
6 代	今村 輝男	昭和44. 5. 7	昭和46. 5. 7
		昭和46. 5. 7	昭和48. 4. 27
7 代	新井 安男	昭和48. 5. 8	昭和50. 5. 7
8 代	林 昌平	昭和50. 5. 7	昭和52. 4. 27
9 代	松江 良夫	昭和52. 5. 6	昭和54. 4. 13
10 代	片桐 勲	昭和54. 4. 13	昭和56. 4. 27
11 代	松江 良夫	昭和56. 5. 7	昭和58. 4. 22
12 代	平澤 與一	昭和58. 4. 22	昭和60. 4. 27
		昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 12
13 代	細田 直彦	昭和62. 5. 12	昭和63. 11. 10
14 代	関島 一郎	昭和63. 12. 2	平成元. 4. 27
15 代	竹村 仁實	平成元. 5. 10	平成3. 1. 31
16 代	松江 良夫	平成3. 1. 31	平成3. 5. 9
17 代	内山 照美	平成3. 5. 9	平成5. 4. 27
18 代	澤柳辨治郎	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
19 代	松島 年一	平成7. 5. 12	平成8. 10. 31
20 代	片桐 司郎	平成8. 10. 31	平成9. 4. 27
		平成9. 5. 13	平成11. 5. 13
21 代	中田 佳甫	平成11. 5. 13	平成13. 4. 27
22 代	牧内 信臣	平成13. 5. 15	平成15. 5. 14
23 代	渡 淳	平成15. 5. 14	平成17. 4. 27
24 代	林 幸次	平成17. 5. 13	平成19. 5. 11
25 代	矢澤 芳文	平成19. 5. 11	平成21. 4. 27
26 代	清水 可晴	平成21. 5. 12	平成23. 5. 13
27 代	村松まり子	平成23. 5. 13	平成25. 4. 27
28 代	木下 克志	平成25. 5. 13	平成27. 5. 12
29 代	木下 容子	平成27. 5. 12	

(3) 歴代総務常任委員会正副委員長

代	委員会名	委員長名	副委員長名	就任年月日	退任年月日
1代	総務部委員会	木下 章雄	近松 宗一 前島 秀夫	昭和31. 10. 8	昭和32. 4. 27
2代	〃	島岡 利雄	伊藤 誠一	昭和32. 5. 10	昭和34. 5. 17
3代	〃	佐々木利夫	佐々木清信	昭和34. 5. 18	昭和36. 4. 27
4代	〃	熊谷 一郎	伊藤 誠一	昭和36. 5. 15	昭和38. 5. 22
5代	〃	〃	〃	昭和38. 5. 23	昭和40. 4. 27
6代	〃	近松 宗一	大平 節蔵	昭和40. 5. 6	昭和41. 5. 13
7代	〃	関島彦四郎	北原 正司	昭和41. 5. 14	昭和42. 5. 11
8代	〃	近松 宗一	前島 秀夫	昭和42. 5. 12	昭和44. 4. 27
9代	〃	辻 虎松	松島 健次	昭和44. 5. 7	昭和46. 5. 6
10代	〃	鳴海 衛	宮嶋 繁	昭和46. 5. 7	昭和48. 4. 27
11代	総務文教委員会	市村 保人	橋部 肇	昭和48. 5. 8	昭和50. 5. 7
12代	〃	茂木立好則	前島 成光	昭和50. 5. 8	昭和52. 4. 27
13代	〃	斉藤 為良	細田 直彦	昭和52. 5. 6	昭和54. 5. 5
14代	〃	内田 篤	川手 守	昭和54. 5. 6	昭和56. 4. 27
15代	〃	〃	原 廣男	昭和56. 5. 8	昭和58. 5. 7
16代	〃	片桐七右衛門	前島 成光	昭和58. 5. 8	昭和60. 4. 27
17代	〃	細田 直彦	塩澤 文朗	昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 11
18代	〃	竹村 仁實	熊谷 康登	昭和62. 5. 12	平成元. 4. 27
19代	〃	今村 八束	今村 淳	平成元. 5. 10	平成3. 5. 9
20代	〃	久保田 元	吉川 昌子	平成3. 5. 10	平成5. 4. 27
21代	〃	松島 年一	今村 淳	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
22代	〃	小林 利一	牧内 信臣	平成7. 5. 13	平成9. 4. 27
23代	〃	吉村徳一郎	渡 淳	平成9. 5. 13	平成11. 5. 12
24代	〃	岩崎 和男	〃	平成11. 5. 13	平成13. 4. 27
25代	〃	熊谷 富夫	小池 清	平成13. 5. 15	平成15. 5. 14
26代	〃	下平 政幸	中島武津雄	平成15. 5. 15	平成17. 4. 27
27代	〃	上澤 義一	村松まり子	平成17. 5. 13	平成19. 5. 11
28代	〃	原 勉	森本美保子	平成19. 5. 12	平成21. 4. 27
29代	〃	林 幸次	原 和世	平成21. 5. 13	平成23. 5. 13
30代	〃	木下 容子	森本美保子	平成23. 5. 13	平成25. 4. 27
31代	総務委員会	清水 勇	原 和世	平成25. 5. 14	平成27. 5. 12
32代	〃	吉川 秋利	古川 仁	平成27. 5. 12	

※ 議会改革によりH25. 4. 28から4 常任委員会複数所属から3 常任委員会単独所属に移行

(4) 歴代社会文教常任委員会正副委員長

代	委員会名	委員長名	副委員長名	就任年月日	退任年月日
1代	社会部委員会	児島 栄次	久保田安美 宮内 昇	昭和31. 10. 8	昭和32. 4. 27
2代	〃	実原 徳重	知久陽之祐	昭和32. 5. 10	昭和34. 5. 17
3代	〃	〃	田口 秀男	昭和34. 5. 18	昭和36. 4. 27
4代	〃	辻 虎松	漆原 恒実	昭和36. 5. 15	昭和38. 5. 22
5代	〃	〃	〃	昭和38. 5. 23	昭和40. 4. 27
6代	〃	〃	〃	昭和40. 5. 6	昭和41. 5. 13
7代	〃	漆原 恒実	榊田 太一	昭和41. 5. 14	昭和42. 5. 11
8代	〃	佐々木清信	松江 良夫	昭和42. 5. 12	昭和44. 4. 27
9代	〃	斉藤 宗義	熊谷政一郎	昭和44. 5. 7	昭和46. 5. 6
10代	〃	林 昌平	伊東 秀彦	昭和46. 5. 7	昭和48. 4. 27
11代	社会民生委員会	西尾 仁一	松下 茂	昭和48. 5. 8	昭和50. 5. 7
12代	〃	松江 良夫	片桐七右衛門	昭和50. 5. 8	昭和52. 4. 27
13代	社会委員会	片桐 勲	佐々木文雄	昭和52. 5. 6	昭和54. 5. 5
14代	〃	松江 良夫	中島 勝美	昭和54. 5. 6	昭和56. 4. 27
15代	〃	尾沢 貞夫	片桐 芳朗	昭和56. 5. 8	昭和58. 5. 7
16代	〃	松下 茂	平田 友畝	昭和58. 5. 8	昭和60. 4. 27
17代	〃	森本 藤登	今村 八束	昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 11
18代	〃	西尾 保雄	吉川 義治	昭和62. 5. 12	平成元. 4. 27
19代	〃	〃	小林 利一	平成元. 5. 10	平成3. 5. 9
20代	〃	片桐 司郎	関島 秀夫	平成3. 5. 10	平成5. 4. 27
21代	〃	櫻井 俊夫	西尾 喜好	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
22代	〃	下平 一郎	中田 佳甫	平成7. 5. 13	平成9. 4. 27
23代	〃	中田 佳甫	熊谷 富夫	平成9. 5. 13	平成11. 5. 12
24代	〃	牛山 重一	井坪 隆	平成11. 5. 13	平成13. 4. 27
25代	〃	菅沼 立男	中島武津雄	平成13. 5. 15	平成15. 5. 14
26代	〃	柄澤 紀春	荒木 興利	平成15. 5. 15	平成17. 4. 27
27代	〃	原 勉	森本美保子	平成17. 5. 13	平成19. 5. 11
28代	〃	中島武津雄	木下 容子	平成19. 5. 12	平成21. 4. 27
29代	〃	森本美保子	村松まり子	平成21. 5. 13	平成23. 5. 13
30代	〃	木下 克志	後藤 莊一	平成23. 5. 13	平成25. 4. 27
31代	社会文教委員会	井坪 隆	湯澤 啓次	平成25. 5. 14	平成27. 5. 12
32代	〃	新井信一郎	清水 可晴	平成27. 5. 12	

※ 議会改革によりH25. 4. 28から4 常任委員会複数所属から3 常任委員会単独所属に移行

(5) 歴代産業建設常任委員会正副委員長

代	委員会名	委員長名	副委員長名	就任年月日	退任年月日
1代	産業部委員会	田中 伝	宮下 綱六 宮川藤次郎	昭和31. 10. 8	昭和32. 4. 27
2代	〃	小林 新吾	堀 保麿	昭和32. 5. 10	昭和34. 5. 17
3代	〃	〃	丸山 治郎	昭和34. 5. 18	昭和36. 4. 27
4代	〃	葛岡 利治	〃	昭和36. 5. 15	昭和38. 5. 22
5代	〃	丸山 治郎	松重 新一	昭和38. 5. 23	昭和40. 4. 27
6代	〃	〃	宮脇 省	昭和40. 5. 6	昭和41. 5. 13
7代	産業経済部委員会	新井 安男	原 茂	昭和41. 5. 14	昭和42. 5. 11
8代	〃	今村 輝男	新井 安男	昭和42. 5. 11	昭和44. 4. 27
9代	〃	林 昌平	原田 正志	昭和44. 5. 7	昭和46. 5. 6
10代	〃	北原 正司	小松 芳男	昭和46. 5. 7	昭和48. 4. 27
11代	産業経済委員会	原 茂	佐々木 勝	昭和48. 5. 8	昭和50. 5. 7
12代	〃	北原 正司	橋部 肇	昭和50. 5. 8	昭和52. 4. 27
13代	〃	平沢 與一	原 廣男	昭和52. 5. 6	昭和54. 5. 5
14代	〃	原 康次	林 利実	昭和54. 5. 6	昭和56. 4. 27
15代	〃	平澤 與一	竹村 仁實	昭和56. 5. 8	昭和58. 5. 7
16代	〃	片桐 勲	〃	昭和58. 5. 8	昭和59. 10. 14
17代	〃	竹村 仁實	中田 修	昭和59. 10. 26	昭和60. 4. 27
18代	〃	〃	塩澤 昭	昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 11
19代	〃	酒井 米	小林 三郎	昭和62. 5. 12	平成元. 4. 27
20代	〃	内山 照美	下平 一郎	平成元. 5. 10	平成3. 5. 9
21代	〃	下平 一郎	小林 利一	平成3. 5. 10	平成5. 4. 27
22代	〃	〃	伊原 与一	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
23代	〃	佐藤 好英	吉川 義治	平成7. 5. 13	平成9. 4. 27
24代	〃	西尾 喜好	岩崎 和男	平成9. 5. 13	平成11. 5. 12
25代	〃	下平 政幸	熊谷 富夫	平成11. 5. 13	平成13. 4. 27
26代	〃	渡 淳	上澤 義一	平成13. 5. 15	平成15. 5. 14
27代	〃	矢澤 芳文	佐々木重光	平成15. 5. 15	平成17. 4. 27
28代	〃	清水 可晴	原 和世	平成17. 5. 13	平成19. 5. 11
29代	〃	原 和世	山崎 紀男	平成19. 5. 12	平成21. 4. 27
30代	〃	木下 克志	木下 容子	平成21. 5. 13	平成23. 5. 13
31代	〃	伊壺 敏子	吉川 秋利	平成23. 5. 13	平成25. 4. 27
32代	産業建設委員会	吉川 秋利	後藤 莊一	平成25. 5. 14	平成27. 5. 12
33代	〃	永井 一英	湊 猛	平成27. 5. 12	

※ 議会改革によりH25. 4. 28から4 常任委員会複数所属から3 常任委員会単独所属に移行

(6) 歴代建設環境常任委員会正副委員長

代	委員会名	委員長名	副委員長名	就任年月日	退任年月日
1代	建設部委員会	辻 虎松	竹内 兵治 伊原 悦雄	昭和31. 10. 8	昭和32. 4. 27
2代	〃	近松 宗一	林 省三	昭和32. 5. 10	昭和34. 5. 17
3代	〃	山田 亮一	伊原 悦雄	昭和34. 5. 18	昭和36. 4. 27
4代	〃	佐々木清信	木下 章雄	昭和36. 5. 15	昭和38. 5. 22
5代	〃	木下 章雄	新井 安男	昭和38. 5. 23	昭和40. 4. 27
6代	〃	佐々木清信	林 昌平	昭和40. 5. 6	昭和41. 5. 13
7代	〃	今牧 照男	〃	昭和41. 5. 14	昭和42. 5. 11
8代	〃	伊原 悦雄	代田 保雄	昭和42. 5. 12	昭和44. 4. 27
9代	〃	今牧 照男	茂木立好則	昭和44. 5. 7	昭和46. 5. 6
10代	〃	新井 安男	大蔵 浜雄	昭和46. 5. 7	昭和48. 4. 27
11代	建設委員会	茂木立好則	〃	昭和48. 5. 8	昭和50. 5. 7
12代	〃	斉藤 宗義	今牧 泰三	昭和50. 5. 8	昭和52. 4. 27
13代	〃	橋部 肇	今村 馨	昭和52. 5. 6	昭和54. 5. 5
14代	〃	森本 藤登	木下 登	昭和54. 5. 6	昭和56. 4. 27
15代	〃	今村 馨	熊谷 康登	昭和56. 5. 8	昭和58. 5. 7
16代	〃	細田 直彦	木下 登	昭和58. 5. 8	昭和60. 4. 27
17代	〃	関島 一郎	酒井 米	昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 11
18代	〃	〃	實原 裕	昭和62. 5. 12	昭和63. 12. 1
19代	〃	實原 裕	塩澤 昭	昭和63. 12. 2	平成元. 4. 27
20代	〃	平田 友畝	澤柳辨治郎	平成元. 5. 10	平成3. 5. 9
21代	〃	松島 年一	〃	平成3. 5. 10	平成5. 4. 27
22代	〃	吉川 義治	佐藤 好英	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
23代	〃	塩澤 俊彦	伊藤 芳之	平成7. 5. 13	平成9. 4. 27
24代	〃	牧内 信臣	木下 昭一	平成9. 5. 13	平成11. 5. 12
25代	〃	實原 公男	久保田平八郎	平成11. 5. 13	平成12. 10. 21
26代	〃	菅沼 立男	〃	平成12. 10. 31	平成13. 4. 27
27代	建設環境委員会	井坪 隆	原 勉	平成13. 5. 15	平成15. 5. 14
28代	〃	木下 昭一	原 和世	平成15. 5. 15	平成17. 4. 27
29代	〃	佐々木重光	湯澤 宗保	平成17. 5. 13	平成19. 5. 11
30代	〃	柄澤 紀春	後藤 修三	平成19. 5. 12	平成21. 4. 27
31代	〃	伊壺 敏子	吉川 秋利	平成21. 5. 13	平成23. 5. 13
32代	〃	原 和世	永井 一英	平成23. 5. 13	平成25. 4. 27

※ 議会改革によりH25. 4. 28から4 常任委員会複数所属から3 常任委員会単独所属に移行

(7) 歴代議会運営委員会正副委員長

代	委員会名	委員長名	副委員長名	就任年月日	退任年月日
1代	議会運営委員会	木下 章雄	近松 宗一	昭和31. 10. 8	昭和32. 4. 27
2代	〃	島岡 利雄	伊藤 誠一	昭和32. 5. 10	昭和34. 5. 18
3代	〃	佐々木利夫	佐々木清信	昭和34. 5. 18	昭和36. 4. 27
4代	〃	熊谷 一郎	伊藤 誠一	昭和36. 5. 15	昭和38. 5. 23
5代	〃	佐々木清信	熊谷 一郎	昭和38. 5. 23	昭和40. 4. 27
6代	〃	近松 宗一	鳴海 衛	昭和40. 5. 6	昭和41. 5. 13
7代	〃	斉藤 宗義	代田 保雄	昭和41. 5. 13	昭和42. 5. 11
8代	〃	丸山 治郎	原田 正志	昭和42. 5. 11	昭和44. 4. 27
9代	〃	新井 安男	原 茂	昭和44. 5. 7	昭和46. 5. 7
10代	〃	松江 良夫	西尾 仁一	昭和46. 5. 7	昭和48. 4. 27
11代	〃	伊東 秀彦	太田 猶市	昭和48. 5. 8	昭和50. 5. 7
12代	〃	松嶋 健次	尾沢 貞夫	昭和50. 5. 7	昭和52. 4. 27
13代	〃	尾沢 貞夫	竹村 仁實	昭和52. 5. 6	昭和54. 4. 13
14代	〃	片桐七右衛門	塩沢 文朗	昭和54. 4. 13	昭和56. 4. 27
15代	〃	木下 登	内山 照美	昭和56. 5. 8	昭和57. 3. 1
16代	〃	片桐七右衛門	〃	昭和57. 3. 1	昭和58. 4. 22
17代	〃	中島 勝美	酒井 米	昭和58. 4. 22	昭和60. 4. 27
18代	〃	内山 照美	平田 友畝	昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 12
19代	〃	平田 友畝	松島 年一	昭和62. 5. 12	平成元. 4. 27
20代	〃	松島 年一	久保田 元	平成元. 5. 10	平成3. 5. 9
21代	〃	吉川 義治	今村 淳	平成3. 5. 9	平成5. 4. 27
22代	〃	中田 佳甫	牧内 信臣	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
23代	〃	伊原 与一	片桐 司郎	平成7. 5. 13	平成8. 4. 22
24代	〃	澤柳辨治郎	〃	平成8. 6. 4	平成8. 10. 31
25代	〃	〃	桜井 俊夫	平成8. 10. 31	平成9. 4. 27
26代	〃	久保田平八郎	牛山 重一	平成9. 5. 13	平成11. 5. 12
27代	〃	木下 昭一	菅沼 立男	平成11. 5. 13	平成12. 10. 30
28代	〃	〃	柄澤 紀春	平成12. 10. 31	平成13. 4. 27
29代	〃	矢澤 芳文	清水 可晴	平成13. 5. 15	平成15. 5. 14
30代	〃	上澤 義一	林 幸次	平成15. 5. 15	平成17. 4. 27
31代	〃	原 和世	下平 勝熙	平成17. 5. 13	平成19. 5. 11
32代	〃	下平 勝熙	木下 克志	平成19. 5. 12	平成21. 4. 27
33代	〃	井坪 隆	清水 勇	平成21. 5. 13	平成23. 5. 13
33代	〃	林 幸次	新井信一郎	平成23. 5. 13	平成25. 4. 27
34代	〃	清水 可晴	村松まり子	平成25. 5. 14	平成27. 5. 12
35代	〃	清水 勇	後藤 莊一	平成27. 5. 12	

(8) 歴代監査委員（議会選出）

代	氏 名	就任年月日	退任年月日
初代	田中 悟	昭和31. 10. 1	昭和32. 4. 27
2代	佐々木清信	昭和32. 5. 10	昭和34. 5. 17
3代	熊谷 一郎	昭和34. 5. 18	昭和36. 4. 27
4代	関島彦四郎	昭和36. 5. 15	昭和41. 6. 15
5代	市村 保人	昭和41. 6. 17	昭和42. 6. 5
6代	宮内 昇	昭和42. 6. 6	昭和44. 4. 27
7代	市村 保人	昭和44. 5. 7	昭和46. 6. 3
8代	宮内 昇	昭和46. 6. 4	昭和50. 6. 6
9代	近松 宗一	昭和50. 6. 10	昭和52. 4. 27
10代	伊原 悦雄	昭和52. 6. 6	昭和54. 4. 13
11代	松下 茂	昭和54. 4. 16	昭和56. 5. 7
12代	西尾 保雄	昭和56. 5. 8	昭和60. 4. 27
13代	實原 裕	昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 12
14代	松嶋 健次	昭和62. 5. 13	平成元. 4. 27
15代	小林 三郎	平成元. 5. 10	平成2. 6. 30
16代	實原 裕	平成2. 7. 16	平成3. 5. 9
17代	竹村 仁實	平成3. 5. 10	平成5. 4. 27
18代	〃	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
19代	實原 裕	平成7. 5. 13	平成9. 4. 27
20代	竹村 仁實	平成9. 5. 13	平成11. 5. 12
21代	片桐 司郎	平成11. 5. 13	平成13. 4. 27
22代	小林 利一	平成13. 5. 15	平成15. 3. 3
23代	西尾 喜好	平成15. 5. 14	平成17. 4. 27
24代	岩崎 和男	平成17. 5. 13	平成19. 5. 10
25代	熊谷 富夫	平成19. 5. 11	平成21. 4. 27
26代	上澤 義一	平成21. 5. 13	平成23. 5. 12
27代	中島武津雄	平成23. 5. 13	平成25. 4. 27
28代	〃	平成25. 5. 14	

(9) 歴代事務局長

代	氏 名	就任年月日	退任年月日
初代	林 政人	昭和31. 9. 30	昭和39. 3. 31
2代	久保 武敏	昭和39. 4. 1	昭和44. 3. 31
3代	福井 実	昭和44. 4. 1	昭和44. 10. 19
4代	村沢 光男	昭和44. 10. 20	昭和48. 6. 30
5代	酒井 篤	昭和48. 7. 1	昭和50. 3. 31
6代	宮沢 邦男	昭和50. 4. 1	昭和54. 3. 31
7代	木下 良美	昭和54. 4. 1	昭和56. 3. 31
8代	松澤 平吉	昭和56. 4. 1	昭和59. 3. 31
9代	坂下 幸彦	昭和59. 4. 1	平成元. 3. 31
10代	小木曾義信	平成元. 4. 1	平成3. 3. 31
11代	浦野 勉	平成3. 4. 1	平成6. 3. 31
12代	横田 常	平成6. 4. 1	平成9. 3. 31
13代	山岸一二三	平成9. 4. 1	平成11. 3. 31
14代	吉川 元勝	平成11. 4. 1	平成13. 3. 31
15代	中本 卓良	平成13. 4. 1	平成15. 3. 31
16代	福田 富廣	平成15. 4. 1	平成16. 3. 31
17代	大沢 英二	平成16. 4. 1	平成17. 3. 31
18代	尾澤 敏秀	平成17. 4. 1	平成19. 3. 31
19代	中井 洋一	平成19. 4. 1	平成20. 3. 31
20代	平澤 和人	平成20. 4. 1	平成20. 12. 31
21代	篠田 雅弘	平成21. 1. 1	平成25. 3. 31
22代	福澤 栄二	平成25. 4. 1	平成27. 3. 31
23代	土屋 寿憲	平成27. 4. 1	

(10)歴代市議会議員

ア 昭和31年9月30日執行（1市7か村合併）

(7) 三穂地区 12人

林 武男	林 武司	坂巻 政美	林 保	古川 舎人	佐藤 芳房
宮沢 敬信	前沢 蔵六	川井 邦	西村 文雄	川上 竹市	久保田安美

(4) 飯田地区 29人

代田源六郎	斉藤 隆久	今村 正美	田口 秀夫	牧島 保一	大竹 四郎
井村豊太郎	井原 淳治	辻 虎松	山田 亮一	深津 一郎	酒井 府
古瀬 仁	菊池 恭平	児島 栄次	宮下 綱六	吉川 一	中田 栄
木下 一人	実原 徳重	佐々木清信	近松 宗一	木下 勝義	加藤 英男
田中 悟	早川 清雄	荒井重右衛門	長坂 晃	漆原 恒実	

(7) 座光地地区 16人

知久陽之祐	北原 弘	片桐 卓治	上沼 善夫	黒川 利一	今村 良美
湯沢 博司	篠田力三郎	棚田 正雄	佐々木貞雄	竹内 武男	原田 栄治
佐々木信雄	原田 幸雄	三村 利	竹内 兵治		

(エ) 竜丘地区 16人

伊原 悦雄	下平 広志	原 登	吉川 正己	中平恒三郎	今村 恵
長沼 保治	林 正司	松村 新八	前島 秀夫	北沢小太郎	沖田 武一
下田 巖	原 光人	下平 勲資	塚平 睦雄		

(オ) 松尾地区 22人

林 宗三郎	江塚 角三	斉藤 忠治	木下 徳雄	塩沢 秋生	平栗 英祐
山中 竜策	今村 輝男	小木曾嘉一	青山 孝一	常盤 喜八	福島 淡
牛草 利春	藤田 勇夫	塩沢伝之助	中山 政雄	奥田 利吉	松村 信一
熊谷 好次	金井 啓	伊与部金一	木下 章雄		

(カ) 下久堅地区 16人

平沢 清人	池田 嘉篤	吉沢 昇	羽生 一善	宮川藤次郎	森岡 清志
宮内 昇	三石 義臣	宮脇 利雄	桐生 忠治	橋爪徳次郎	三石誠一郎
羽場 義雄	木下 平治	坂井 伸一	平沢 亮治		

(キ) 伊賀良地区 22人

坂下 美富	矢沢 秀一	相原 貢	橋部 文男	今牧 泰三	伊藤 仁
佐々木省吾	元島 均治	今牧 照男	平田 武司	水野 恒夫	神部 稲男
矢沢 清志	松沢 武雄	伊藤 清	肥後 明一	平田 薫	田部 勇
鈴木 太郎	新井 一正	宮下 喜一	原 稲太郎		

(ク) 山本地区 16人

尾沢 元一	熊谷 英雄	竹村 汎愛	平岩四郎吉	竹村 央	遠山 皓
熊谷 広男	山内 精一	田中 伝	金田 伝	唐沢 茂一	玉置 敏夫
久保田久吉	金沢 重雄	熊崎 六蔵	小池 政之		

合計 149人

イ 昭和32年4月28日執行（合併による設置選挙 任期は昭和32年4月28日から昭和36年4月27日まで 8選挙区 定数36）

片山 均	伊藤 誠一	久保田一男	松沢 広	田中 伝	島岡 利雄
林 保	林 省三	北沢小太郎	伊原 悦雄	木下 章雄	伊与部金一
葛岡 利治	丸山 治郎	小林 新吾	宮脇 省	佐々木利夫	知久陽之祐
代田源六郎	実原 徳重	佐々木清信	近松 宗一	今村 正美	児島 栄次
井原 淳治	堀 保麿	福島 勝男	古瀬 仁	漆原 恒美	串原 義直
山田 亮一	深津 一郎	辻 虎松	熊谷 一郎	田口 秀男	岡島 新治

ウ 昭和35年10月25日執行（飯田地区補欠選挙 任期は昭和35年10月26日から昭和36年4月27日まで 定数3）

新井 安男 鳴海 衛 前島 成光

エ 昭和36年4月23日執行（任期满了一般選挙 任期は昭和36年4月28日から昭和40年4月27日まで 9選挙区 定数28）

片山 均	浜島 惣一	伊原 春男	鳴海 衛	宮内 昇	葛岡 利治
岡村 賢作	知久陽之祐	丸山 治郎	関島彦四郎	佐々木清信	代田源六郎
代田 哲	今牧 照男	新井 安男	近松 宗一	木下 章雄	串原 義直
福島 勝男	前島 成光	小林 新吾	沢柳 敏夫	漆原 恒美	辻 虎松
竹村 央	伊藤 誠一	松重 新一	熊谷 一郎		

オ 昭和39年5月15日執行（龍江村、千代村及び上久堅村の3か村合併による増員選挙 任期は昭和39年5月15日から昭和40年4月27日まで 定数は龍江2、千代2、上久堅1の合計5）

林 昌平 松尾 純二 大平 節蔵 林 武男 斉藤 宗義

カ 昭和39年8月28日執行（伊賀良地区補欠選挙 任期は昭和39年8月29日から昭和40年4月27日まで 定数1）

代田 保雄

キ 昭和39年10月25日執行（飯田地区補欠選挙 任期は昭和39年10月26日から昭和40年4月27日まで 定数1）

宮嶋 繁

ク 昭和40年4月25日執行（任期满了一般選挙 任期は昭和40年4月28日から昭和44年4月27日まで 全市1選挙区 定数36）

林 昌平	前島 秀夫	北原 正司	鳴海 衛	辻 虎松	市村 保人
小林 新吾	代田 保雄	近松 宗一	代田源六郎	矢崎 三郎	沢柳 俊夫
榊田 太一	今村 治郎	丸山 治郎	松江 良夫	伊原 悦雄	原 茂
大蔵 浜雄	宮嶋 茂	漆原 恒美	富田 政雄	葛岡 利治	大平 節蔵
今村 輝男	新井 安男	佐々木清信	宮内 昇	熊谷 一郎	宮脇 省

前島 成光 熊谷 武志 斉藤 宗義 原田 正志 今牧 照男 関島彦四郎

ケ 昭和43年10月20日執行（補欠選挙 任期は昭和43年10月21日から昭和44年4月27日まで 定数2）

茂木立好則 内田 篤

コ 昭和44年4月20日執行（任期满了一般選挙 任期は昭和44年4月28日から昭和48年4月27日まで 定数36）

池上 一雄	茂木立好則	位高 勉	永山 忠男	前島 成光	佐藤力三郎
今牧 照男	斉藤 宗義	小松 芳男	江塚 善二	宮内 昇	大蔵 浜雄
松下 茂	原 茂	原 康次	原田 正志	熊谷政一郎	西尾 仁一
中山 栄次	辻 虎松	榊田 太一	内田 篤	伊東 秀彦	北原 正司
松嶋 健次	今村 輝男	林 昌平	新井 安男	片桐 勲	近松 宗一
宮嶋 繁	熊谷 武志	市村 保人	鳴海 衛	伊原 悦雄	松江 良夫

サ 昭和47年10月22日執行（補欠選挙 任期は昭和47年10月23日から昭和48年4月27日まで 定数2）

森本 藤登 今牧 泰三

シ 昭和48年4月22日執行（任期满了一般選挙 任期は昭和48年4月28日から昭和52年4月27日まで 定数36）

大蔵 浜雄	塩沢 文朗	片桐 芳朗	川手 守	前島 成光	佐藤力三郎
片桐七右衛門	伊藤 祐春	太田 猶市	佐々木 勝	平澤 與一	尾沢 貞夫
松下 茂	森本 藤登	佐々木清信	鳴海 衛	原 茂	松江 良夫
伊東 秀彦	松嶋 健次	今牧 泰三	内田 篤	西尾 仁一	橋部 肇
斉藤 為良	新井 安男	市村 保人	斉藤 宗義	今村 輝男	北原 正司
伊原 悦雄	近松 宗一	江塚 善二	宮内 昇	茂木立好則	林 昌平

ス 昭和51年10月17日執行（補欠選挙 任期は昭和51年10月18日から昭和52年4月27日まで 定数3）

熊谷 康登 西尾 保雄 片桐 勲

セ 昭和52年4月17日執行（任期满了一般選挙 任期は昭和52年4月28日から昭和56年4月27日まで 定数30に減少）

片桐七右衛門	塩沢 文朗	片桐 芳朗	川手 守	熊谷 康登	斉藤 宗義
竹村 仁實	木下 登	原 広男	原 康次	松下 茂	西尾 保雄
内田 篤	森本 藤登	今村 馨	平澤 與一	片桐 勲	中島 勝美
林 利実	尾沢 貞夫	橋部 肇	細田 直彦	佐々木文雄	佐々木 勝
斉藤 為良	西尾 仁一	茂木立好則	松江 良夫	林 昌平	伊原 悦雄

ソ 昭和55年10月19日執行（補欠選挙 任期は昭和55年10月20日から昭和56年4月27日まで 定数1）

内山 照美

タ 昭和56年4月19日執行（任期満了一般選挙 任期は昭和56年4月28日から昭和60年4月27日まで 定数30）

塩沢 昭	實原 裕	平田 友畝	酒井 米	前島 成光	熊谷 康登
片桐 芳朗	塩沢 文朗	中田 修	竹村 仁實	今村 馨	内山 照美
木下 登	西尾 保雄	原 康次	森本 藤登	中島 勝美	片桐七右衛門
松島 健次	原 広男	細田 直彦	平澤 與一	松下 茂	内田 篤
松江 良夫	林 昌平	片桐 勲	尾沢 貞夫	茂木立好則	伊原 悦雄

チ 昭和59年10月21日執行（補欠選挙 任期は昭和59年10月22日から昭和60年4月27日まで 定数1）

今村 八束

ツ 昭和59年12月1日執行（鼎町合併により鼎町議員が引き続いて市議会議員として在任 任期は昭和59年12月1日から昭和60年4月27日まで 定数52）

田原 慶一	武田 良人	中村 岸美	中島文三郎	木下 為輔	関島 一郎
五十君酒造大	高木 敏美	松沢アサエ	河村 弘久	水野佐知穂	村沢 延
吉川 義治	今村 淳	村沢 博	鷺見 知一	北沢 芳男	新井紀一郎
片桐 司郎	下田 武志	小林 雅夫	関島 秀夫		

テ 昭和60年4月21日執行（任期満了一般選挙 任期は昭和60年4月28日から平成元年4月27日まで 定数31）

田中 秀典	下平 一郎	小林 三郎	松島 年一	澤柳辨治郎	吉川 昌子
熊谷 康登	牧内 信臣	櫻井 俊夫	久保田 元	吉川 義治	武田 良人
今村 八束	原 広男	今村 淳	塩沢 文朗	片桐 司郎	西尾 保雄
塩沢 昭	實原 裕	平田 友畝	酒井 米	関島 一郎	内山 照美
森本 藤登	松下 茂	竹村 仁實	細田 直彦	尾沢 貞夫	平澤 與一
松嶋 健次					

ト 昭和63年10月16日執行（補欠選挙 任期は昭和63年10月17日から平成元年4月27日まで 定数2）

小林 利一 長谷部徳治

ナ 平成元年4月23日執行（任期満了一般選挙 任期は平成元年4月28日から平成5年4月27日まで 定数31）

西尾 喜好	吉村徳一郎	伊原 与一	佐藤 好英	中田 佳甫	吉川 昌子
牛山 重一	牧内 信臣	塩澤 俊彦	長谷部徳治	伊藤 芳之	小林 利一

関島 秀夫	下平 一郎	渡 淳	今村 淳	櫻井 俊夫	片桐 司郎
小林 三郎	松島 年一	澤柳辨治郎	久保田 元	吉川 義治	今村 八束
西尾 保雄	塩澤 昭	實原 裕	平田 友畝	内山 照美	竹村 仁實
松江 良夫					

ニ 平成4年10月18日執行（補欠選挙 任期は平成4年10月19日から平成5年4月27日まで 定数1）

井出 健介

ヌ 平成5年4月25日執行（任期満了一般選挙 任期は平成5年4月28日から平成9年4月27日まで 定数31）

柄澤 紀春	菅沼 立男	吉川 四郎	實原 公男	熊谷 富夫	久保田平八郎
下平 政幸	木下 昭一	牛山 重一	牧内 信臣	吉川 昌子	塩澤 俊彦
長谷部徳治	西尾 喜好	吉村徳一郎	伊原 与一	佐藤 好英	中田 佳甫
伊藤 芳之	渡 淳	今村 淳	櫻井 俊夫	片桐 司郎	小林 利一
下平 一郎	松島 年一	澤柳辨治郎	吉川 義治	今村 八束	實原 裕
竹村 仁實					

ネ 平成5年8月1日執行（上郷町編入合併に伴う増員選挙 任期は平成5年8月2日から平成9年4月27日まで 定数5）

中田 裕康 井坪 隆 岩崎 和男 岡島 豊 大坪 勇

ノ 平成8年10月20日執行（補欠選挙 任期は平成8年10月21日から平成9年4月27日まで 定数1）

矢澤 芳文

ハ 平成9年4月20日執行（任期満了一般選挙 任期は平成9年4月28日から平成13年4月27日まで 定数31）

佐藤久美子	小池 清	清水 可晴	佐々木重光	原 勉	中島武津雄
上澤 義一	荒木 興利	大坪 勇	牛山 重一	牧内 信臣	矢澤 芳文
井坪 隆	岩崎 和男	林 幸次	渡 淳	熊谷 富夫	久保田平八郎
下平 政幸	木下 昭一	西尾 喜好	柄澤 紀春	菅沼 立男	實原 公男
吉村徳一郎	佐藤 好英	中田 佳甫	小林 利一	今村 八束	片桐 司郎
竹村 仁實					

ヒ 平成12年10月15日執行（補欠選挙 任期は平成12年10月16日から平成13年4月27日まで 定数1）

原 和世

フ 平成13年4月22日執行（任期満了一般選挙 任期は平成13年4月28日から平成17年4月27日まで 定数31）

まで 定数31)

木下 容子	下平 勝熙	伊壺 敏子	大谷 恵子	湯澤 宗保	森本美保子
村松まり子	牛山満智子	清水 可晴	小池 清	牛山 重一	牧内 信臣
原 和世	原 勉	林 幸次	渡 淳	久保田平八郎	柄澤 紀春
菅沼 立男	中島武津雄	上澤 義一	佐々木重光	荒木 興利	井坪 隆
岩崎 和男	矢澤 芳文	熊谷 富夫	下平 政幸	木下 昭一	西尾 喜好
小林 利一					

ヘ 平成16年10月24日執行（補欠選挙 任期は平成16年10月25日から平成17年4月27日まで 定数2）

後藤 莊一 木下 克志

ホ 平成17年4月24日執行（任期満了一般選挙 任期は平成17年4月28日から平成21年4月27日まで 定数27）

清水 勇	代田 剛嗣	新井信一郎	内山 要子	吉川 秋利	伊藤 清春
永井 一英	木下 容子	下平 勝熙	後藤 莊一	木下 克志	湯澤 宗保
森本美保子	柄澤 紀春	村松まり子	林 幸次	清水 可晴	伊壺 敏子
原 和世	原 勉	中島武津雄	上澤 義一	佐々木重光	矢澤 芳文
岩崎 和男	熊谷 富夫	牧内 信臣			

マ 平成17年10月30日執行（上村及び南信濃村の編入合併に伴う増員選挙 任期は平成17年10月31日から平成21年4月27日まで 定数2）

山崎 紀男 後藤 修三

ミ 平成21年4月19日執行（任期満了一般選挙 任期は平成21年4月28日から平成25年4月27日まで 定数23に減少）

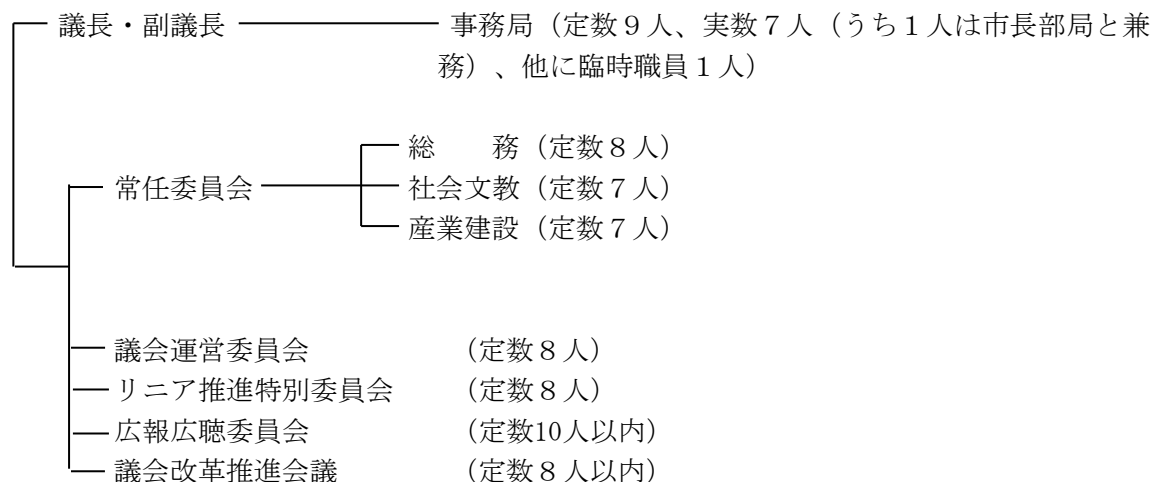
湯澤 啓次	湊 猛	清水 勇	吉川 秋利	永井 一英	福沢 清
内田 雄一	牛山満智子	新井信一郎	木下 克志	木下 容子	下平 勝熙
村松まり子	森本美保子	後藤 莊一	伊壺 敏子	中島武津雄	上澤 義一
清水 可晴	林 幸次	井坪 隆	原 和世	原 勉	

ム 平成25年4月21日執行（任期満了一般選挙 任期は平成25年4月28日から平成29年4月27日まで 定数23）

竹村 圭史	木下 徳康	熊谷 泰人	湯澤 啓次	山崎 昌伸	森本 政人
古川 仁	小倉 高広	湊 猛	新井信一郎	清水 勇	吉川 秋利
永井 一英	木下 容子	福沢 清	後藤 莊一	木下 克志	中島武津雄
村松まり子	林 幸次	清水 可晴	井坪 隆	原 和世	

Ⅱ 市議会の構成（平成27年6月2日現在）

1 構成



※平成25年4月28日から3常任委員会単独所属体制

(1) 常任委員会

ア 所管事項

- (ア) 総務委員会 総務部、総合政策部、リニア推進部、市民協働環境部、市長公室、危機管理室、会計管理者、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会及び固定資産評価審査委員会の所管に属する事項並びに他の委員会の所管に属さない事項
- (イ) 社会文教委員会 健康福祉部及び教育委員会の所管に属する事項並びに病院事業に関する事項
- (ウ) 産業建設委員会 産業経済部、建設部、上下水道局、水道局及び農業委員会の所管に属する事項

イ 任期 2年

(2) 議会運営委員会

ア 所管事項

- (ア) 議会の運営に関する事項
- (イ) 議会の会議規則、委員会条例等に関する事項
- (ウ) 議長の諮問に関する事項

イ 任期 2年

(3) リニア推進特別委員会

ア 所管事項

リニア中央新幹線の推進に関する諸課題の研究調査に関する事項

イ 任期 2年

(4) 広報広聴委員会（協議又は調整を行うための場）

ア 所管事項

- (ア) 議会広報誌の編集及び発行に関する事項
- (イ) 議会ホームページの管理運営に関する事項
- (ウ) インターネットを利用した会議公開に関する事項

- (エ) 会議傍聴の推進に関する事項
 - (オ) 市民への講座等の開催に関する事項
 - (カ) 議会報告会の企画運営及び市民意見の取扱いに関する事項
 - (キ) その他議会の広報に関する事項
- イ 任期 2年

(5) 議会改革推進会議（協議又は調整を行うための場）

ア 所管事項

- (ア) 飯田市議会の改革に関する調査研究
- (イ) 議会改革・運営ビジョン（平成22年3月22日決定）の実践状況の検証
- (ウ) 議長又は議会運営委員会から諮問された事項に関する調査審議
- (エ) その他推進会議の設置の目的のために必要な事項

(6) 議員

ア 任期 平成25年4月28日から平成29年4月27日まで

イ 条例定数 23人

ウ 現員数 23人

(ア) 党派別

日本共産党 3人 公明党 3人 無所属 17人

(イ) 会派別

会派のぞみ 11人 日本共産党 3人 会派みらい 3人
 公明党 3人 市民パワー 3人

2 議員名簿

番号	氏 名	会 派	期数	郵便番号	住 所	自宅電話等
1	竹村 圭史	会派のぞみ	1	〒395-0244	山本1407番地	25-2247
2	木下 徳康	会派のぞみ	1	〒395-0813	毛賀366番地	24-4932
3	熊谷 泰人	会派のぞみ	1	〒395-0075	白山通り3丁目391番地1	53-4150
4	湯澤 啓次	会派のぞみ	2	〒395-0001	座光寺2570番地1	24-6698
5	山崎 昌伸	会派のぞみ	1	〒395-0817	鼎東鼎292番地7	23-0204
6	森本 政人	市民パワー	1	〒395-0821	松尾新井6662番地1	23-8991
7	古川 仁	日本共産党	1	〒395-0803	鼎下山677番地5	53-3792
8	小倉 高広	日本共産党	1	〒395-0004	上郷黒田554番地1	53-2585
9	湊 猛	会派のぞみ	2	〒399-1311	南信濃和田1343番地1	0260-34-2248
10	新井 信一郎	会派のぞみ	3	〒395-0151	北方3330番地1	25-5181
11	清水 勇	会派のぞみ	3	〒399-2221	龍江2453番地1	27-2569
12	吉川 秋利	会派のぞみ	3	〒395-0807	鼎切石4375番地	24-8268
13	永井 一英	公明党	3	〒395-0077	丸山町2丁目6725番地14	23-4021
14	木下 容子	市民パワー	4	〒395-0063	羽場町1丁目5番地7	22-5973
15	福沢 清	会派みらい	2	〒395-0029	二本松333番地1	22-5620
16	後藤 莊一	日本共産党	4	〒395-0156	中村1221番地	25-7857
17	木下 克志	会派のぞみ	4	〒395-0803	鼎下山665番地	24-5645
18	中島 武津雄	会派のぞみ	5	〒399-2565	桐林1347番地2	26-8080
19	村松 まり子	公明党	4	〒395-0814	八幡町489番地2	24-6884
20	林 幸次	公明党	5	〒399-2602	下久堅下虎岩3031番地10	29-8953
21	清水 可晴	市民パワー	5	〒395-0158	高羽町3丁目4番地8	23-8200
22	井坪 隆	会派みらい	5	〒395-0004	上郷黒田1826番地	23-6421
23	原 和世	会派みらい	5	〒395-0244	山本4703番地1	25-1216

年齢別議員数

(平成27年6月2日現在)

年齢	25～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
人員			3	3	17		23

当選回数別議員数

(平成27年6月2日現在)

当選回数	1回	2回	3回	4回	5回	計
人員	7	3	4	4	5	23

3 正副議長及び各委員会委員名簿

(1) 議長及び副議長

(平成27年5月12日改選)

議 長	木下 克志	副 議 長	木下 容子
-----	-------	-------	-------

(2) 委員会

(平成27年5月12日改選)

◎印……委員長 ○印……副委員長

委 員 会 名	委 員			
総務委員会 (8人)	◎吉川 秋利 山崎 昌伸	○古川 仁 木下 容子	木下 徳康 林 幸次	熊谷 泰人 井坪 隆
社会文教委員会 (7人)	◎新井信一郎 後藤 荘一	○清水 可晴 中島武津雄	竹村 圭史 村松まり子	福沢 清
産業建設委員会 (7人)	◎永井 一英 小倉 高広	○湊 猛 清水 勇	湯澤 啓次 原 和世	森本 政人
議会運営委員会 (8人)	◎清水 勇 永井 一英	○後藤 荘一 中島武津雄	新井信一郎 清水 可晴	吉川 秋利 原 和世
リニア推進特別委員会 (8人)	◎井坪 隆 清水 勇	○湯澤 啓次 後藤 荘一	竹村 圭史 林 幸次	新井信一郎 清水 可晴
広報広聴委員会 (8人)	◎村松まり子 熊谷 泰人	○福沢 清 森本 政人	竹村 圭史 小倉 高広	木下 徳康 吉川 秋利
議会改革推進会議 (8人)	◎原 和世 古川 仁	○山崎 昌伸 湊 猛	熊谷 泰人 中島武津雄	森本 政人 村松まり子

4 監査委員及び南信州広域連合議会議員名簿

(1) 監査委員 (選任に同意)

(平成25年5月14日選任)

推 薦 基 準	任 期	氏 名
議員から1人を推薦 市長が議会の同意を得る。	4 年	中島 武津雄

(2) 南信州広域連合議会議員

(平成27年5月12日選任)

推 薦 基 準	任期	氏 名
議員から12人 正副議長 (2) 3 常任委員長 (3) 会派按分 (7)	4 年 (2 年で改選)	木下 克志 木下 容子 吉川 秋利 新井信一郎 永井 一英 湯澤 啓次 湊 猛 清水 勇 後藤 莊一 林 幸次 清水 可晴 井坪 隆

5 議会選出の各種委員等

(1) 附属機関等の委員名簿

(平成27年5月12日選任)

名 称	推 薦 基 準	任期	氏 名
青少年問題協議会 (2 人)	社文委員 2	2 年	新井信一郎 清水 可晴
民生委員推薦会 (2 人)	社文正副委員長	3 年	新井信一郎 清水 可晴
都市計画審議会 (5 人)	総務 1・社文 1 産建 3	2 年	吉川 秋利 新井信一郎 永井 一英 湊 猛 原 和世
国民保護協議会 (3 人)	3 常任委員長	2 年	吉川 秋利 新井信一郎 永井 一英

(2) その他の団体の役員

(平成27年5月12日選任)

名 称	推 薦 基 準	任期	氏 名
リニア中央新幹線建設 促進飯伊地区期成同盟会 (7 人)	正副議長 3 常任委員長 監査委員 リニア推進特別 委員長	在職期間	【副会長】 木下 克志 【理 事】 木下 容子 吉川 秋利 新井信一郎 永井 一英 井坪 隆 【監 事】 中島武津雄
三遠南信道路建設促進 南信地域期成同盟会 (3 人)	正副議長 監査委員	2 年	【副会長】 木下 克志 【理 事】 木下 容子 【監 事】 中島武津雄
三遠南信自動車道建設 促進飯田市九地区期成 同盟会	地区出身議員 下久堅・上久堅・ 千代・龍江・川路・三 穂・山本・上村・南 信濃	1 年	【顧 問】 林 幸次 清水 勇 竹村 圭史 原 和世 湊 猛
国道256号改良促進 期成同盟会 (3 人)	正副議長 産建委員長	2 年	【理 事】 木下 克志 木下 容子 永井 一英
主要地方道飯田富山佐久 間線改良促進期成同盟会	正副議長 産建正副委員長 地区出身議員 下久堅・千代・龍江	2 年	【監 事】 木下 克志 【理 事】 木下 容子 永井 一英 湊 猛 林 幸次 清水 勇

主要地方道飯島飯田線 改良促進期成同盟会	正副議長 産建正副委員長 地区出身議員 座光寺・上郷 橋北・橋南・羽場 丸山・東野・鼎・伊賀 良	2年	【理事】木下 克志 木下 容子 永井 一英 湊 猛 湯澤 啓次 小倉 高広 井坪 隆 福沢 清 熊谷 泰人 清水 可晴 吉川 秋利 山崎 昌伸 古川 仁 新井信一郎 後藤 莊一
主要地方道飯田南木曾線 改良促進期成同盟会	正副議長 産建正副委員長 地区出身議員 橋北・橋南・羽場・丸 山・東野	2年	【理事】木下 克志 永井 一英 湊 猛 福沢 清 熊谷 泰人 清水 可晴 【監事】木下 容子
広域幹線林道千遠線 開設期成同盟会（2人）	議長 産建委員長	2年	【委員】木下 克志 永井 一英
国道152号改良促進 期成同盟会（2人）	議長 産建委員長	2年	【理事】木下 克志 永井 一英
国道418号整備促進 期成同盟会（4人）	正副議長 産建正副委員長	2年	【理事】木下 克志 木下 容子 永井 一英 湊 猛
都市計画道路羽場大瀬木 線改良促進連絡協議会	正副議長 地区出身議員 橋北・橋南・羽場 丸山・鼎・伊賀良	1年	【相談役】木下 克志 木下 容子 福沢 清 熊谷 泰人 永井 一英 山崎 昌伸 古川 仁 吉川 秋利 新井信一郎 後藤 莊一
伊那テクノバレー地域 センター（1人）	議長	在職期間	【地域評議員】木下 克志
松尾浄化管理センター 連絡協議会	正副議長 産建委員長 地区出身議員	在任期間	【委員】木下 克志 木下 容子 永井 一英 木下 徳康 森本 政人 村松まり子

(3) 議員による任意の団体

名 称	基準	任期	氏 名
森林・林業・林産業活性化 促進議員連盟 （林業活性化推進飯田市 議員連盟）	各会派1	2年	【会長】湯澤 啓次 【副会長】森本 政人 【幹事】小倉 高広 永井 一英 井坪 隆 【会 員】全市議会議員
三遠南信、浜松三ヶ日・豊 橋道路建設促進議員協議会	賛同議員	在職期間	【会長】木下 克志 【会 員】全市議会議員

6 各会派及び各会派の代表者氏名

会 派 名	代表者名	議員数	会 派 名	代表者名	議員数
会 派 の ぞ み	中島武津雄	11	公 明 党	永井 一英	3
市 民 パ ワ ー	清水 可晴	3	日 本 共 産 党	後藤 莊一	3
会 派 み ら い	原 和世	3			

Ⅲ 1年間の活動

1 市議会の活動状況

(1) 市議会招集回数10か年比較表

年次		17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
区分	招集回数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	臨時会	2	0	1	0	2	0	2	0	1	1
会期日数		88	81	89	89	112	102	105	101	101	93
本会議日数		22	20	21	20	22	17	18	17	19	18
議案件数		324	170	177	171	197	199	287	218	228	226

(2) 議会開会状況（平成26年1月から26年12月まで）

	会 議	会 期	会期日数	本会議日数
1	第1回定例会	2月26日～ 3月20日	23	4
2	第2回定例会	5月30日～ 6月20日	22	4
3	第1回臨時会	7月25日～ 7月25日	1	1
4	第3回定例会	8月26日～ 9月18日	24	4
5	第4回定例会	11月26日～12月18日	23	5
計			93	18

(3) 議会審議状況（平成26年1月から26年12月まで）

会別 区分		第1回定例会	第2回定例会	第1回臨時会	第3回定例会	第4回定例会	計
市長 提出議案	予算・決算	24	2		20	12	58
	条例	20	9		13	16	58
	その他	27	6	2	12	8	55
	計(A)	71	17	2	45	36	171
議員 提出議案	条例	1					1
	その他	2	4		4	2	12
	計(B)	3	4		4	2	13
議決状況	可決・同意	74	32	2	49	38	195
	否決						0
	継続審査						0
報告	専決処分	7	14		2	3	26
	その他		12		4		16
	計(C)	7	26		6	3	42
審議件数(A+B+C)		81	47	2	55	41	226

(4) 付議事件及び議決結果一覧表

①市長提出議案

事件番号	事 件 名	上程日	議決日	議決結果
議案第1号	監査委員の選任について	26.2.26	26.2.26	同意
議案第2号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	26.2.26	26.2.26	同意
議案第3号	飯田市税条例の一部を改正する条例の制定について	26.2.26	26.3.20	可決
議案第4号	飯田市行政改革推進委員会条例の一部を改正する条例の制定について	26.2.26	26.3.20	可決
議案第5号	飯田市基本構想審議会条例の一部を改正する条例の制定について	26.2.26	26.3.20	可決
議案第6号	飯田市授産施設条例の一部を改正する条例の制定について	26.2.26	26.3.20	可決
議案第7号	飯田市麻績の里交流センター設置条例及び飯田市ふれあいの郷松ぼっくりの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	26.2.26	26.3.20	可決
議案第8号	地方卸売市場条例の一部を改正する条例の制定について	26.2.26	26.3.20	可決
議案第9号	飯田市天龍峡温泉交流館条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	26.2.26	26.3.20	可決
議案第10号	飯田市下水道条例及び飯田市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定について	26.2.26	26.3.20	可決
議案第11号	飯田市中心間地域における地域振興住宅の運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	26.2.26	26.3.20	可決
議案第12号	飯田市病院事業条例の一部を改正する条例の制定について	26.2.26	26.3.20	可決
議案第13号	飯田市有線テレビジョン放送施設条例及び飯田市遠山郷有線テレビジョン放送施設条例の一部を改正する条例の制定について	26.2.26	26.3.20	可決
議案第14号	飯田市考古資料館条例の一部を改正する条例の制定について	26.2.26	26.3.20	可決
議案第15号	飯田市旧小笠原家書院・小笠原資料館条例の一部を改正する条例の制定について	26.2.26	26.3.20	可決
議案第16号	飯田市歴史研究所条例の一部を改正する条例の制定について	26.2.26	26.3.20	可決
議案第17号	飯田市公民館条例等の一部を改正する条例の制定について	26.2.26	26.3.20	可決

事件番号	事 件 名	上程日	議決日	議決結果
議案第18号	飯田文化会館条例等の一部を改正する条例の制定について	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第19号	竹田扇之助記念国際糸繰り人形館条例の一部を改正する条例の制定について	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第20号	飯田市美術博物館条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第21号	飯田市水道条例及び飯田市簡易水道給水条例の一部を改正する条例の制定について	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第22号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市旧飯田測候所）	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第23号	松川町との間において締結した定住自立圏形成協定の一部を変更する協定を締結することについて	26. 2. 26	26. 2. 26	可決
議案第24号	高森町との間において締結した定住自立圏形成協定の一部を変更する協定を締結することについて	26. 2. 26	26. 2. 26	可決
議案第25号	阿南町との間において締結した定住自立圏形成協定の一部を変更する協定を締結することについて	26. 2. 26	26. 2. 26	可決
議案第26号	阿智村との間において締結した定住自立圏形成協定の一部を変更する協定を締結することについて	26. 2. 26	26. 2. 26	可決
議案第27号	平谷村との間において締結した定住自立圏形成協定の一部を変更する協定を締結することについて	26. 2. 26	26. 2. 26	可決
議案第28号	根羽村との間において締結した定住自立圏形成協定の一部を変更する協定を締結することについて	26. 2. 26	26. 2. 26	可決
議案第29号	下條村との間において締結した定住自立圏形成協定の一部を変更する協定を締結することについて	26. 2. 26	26. 2. 26	可決
議案第30号	売木村との間において締結した定住自立圏形成協定の一部を変更する協定を締結することについて	26. 2. 26	26. 2. 26	可決
議案第31号	天龍村との間において締結した定住自立圏形成協定の一部を変更する協定を締結することについて	26. 2. 26	26. 2. 26	可決
議案第32号	泰阜村との間において締結した定住自立圏形成協定の一部を変更する協定を締結することについて	26. 2. 26	26. 2. 26	可決
議案第33号	喬木村との間において締結した定住自立圏形成協定の一部を変更する協定を締結することについて	26. 2. 26	26. 2. 26	可決
議案第34号	豊丘村との間において締結した定住自立圏形成協定の一部を変更する協定を締結することについて	26. 2. 26	26. 2. 26	可決
議案第35号	大鹿村との間において締結した定住自立圏形成協定の一部を変更する協定を締結することについて	26. 2. 26	26. 2. 26	可決

事件番号	事 件 名	上程日	議決日	議決結果
議案第36号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市休日夜間急患診療所）	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第37号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市健康増進施設）	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第38号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市桐林勤労者福祉センター）	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第39号	損害賠償の額を定めることについて	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第40号	市道路線の認定について	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第41号	市道路線の変更について	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第42号	心身障害児就学指導委員会の事務委託に関する規約を廃止する規約の制定について	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第43号	工事請負契約の締結について（下久堅公民館・自治振興センター建築工事）	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第44号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市旧小笠原家書院・小笠原資料館）	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第45号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市地域人形劇センター）	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第46号	平成25年度飯田市一般会計補正予算（第6号）案	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第47号	平成25年度飯田市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）案	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第48号	平成25年度飯田市介護保険特別会計補正予算（第1号）案	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第49号	平成25年度飯田市駐車場事業特別会計補正予算（第1号）案	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第50号	平成25年度飯田市下水道事業特別会計補正予算（第3号）案	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第51号	平成25年度飯田市ケーブルテレビ放送事業特別会計補正予算（第1号）案	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第52号	平成25年度飯田市水道事業会計補正予算（第2号）案	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第53号	平成25年度飯田市各財産区会計補正予算（第1号）案	26. 2. 26	26. 3. 20	可決

事件番号	事 件 名	上程日	議決日	議決結果
議案第54号	平成26年度飯田市一般会計予算（案）	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第55号	平成26年度飯田市国民健康保険特別会計予算（案）	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第56号	平成26年度飯田市後期高齢者医療特別会計予算（案）	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第57号	平成26年度飯田市介護保険特別会計予算（案）	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第58号	平成26年度飯田市地方卸売市場事業特別会計予算（案）	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第59号	平成26年度飯田市駐車場事業特別会計予算（案）	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第60号	平成26年度飯田市墓地事業特別会計予算（案）	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第61号	平成26年度飯田市簡易水道事業特別会計予算（案）	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第62号	平成26年度飯田市下水道事業特別会計予算（案）	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第63号	平成26年度飯田市介護老人保健施設事業特別会計予算（案）	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第64号	平成26年度飯田市上村デイサービスセンター特別会計予算（案）	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第65号	平成26年度飯田市ケーブルテレビ放送事業特別会計予算（案）	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第66号	平成26年度飯田市病院事業会計予算（案）	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第67号	平成26年度飯田市水道事業会計予算（案）	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第68号	平成26年度飯田市各財産区会計予算（案）	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第69号	飯田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	26. 2. 26	26. 3. 20	可決
議案第70号	和解をすることについて	26. 3. 7	26. 3. 20	可決
議案第71号	平成25年度飯田市一般会計補正予算（第7号）案	26. 3. 7	26. 3. 20	可決

事件番号	事 件 名	上程日	議決日	議決結果
議案第72号	飯田市松尾地区財産区管理委員の選任について	26. 5. 30	26. 5. 30	同意
議案第73号	飯田市鼎財産区管理委員の選任について	26. 5. 30	26. 5. 30	同意
議案第74号	飯田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	26. 5. 30	26. 6. 20	可決
議案第75号	飯田市税条例等の一部を改正する条例の制定について	26. 5. 30	26. 6. 20	可決
議案第76号	飯田市地域自治区の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	26. 5. 30	26. 6. 20	可決
議案第77号	飯田市中心間地域における地域振興住宅の運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	26. 5. 30	26. 6. 20	可決
議案第78号	飯田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	26. 5. 30	26. 6. 20	可決
議案第79号	飯田市準用河川条例の一部を改正する条例の制定に	26. 5. 30	26. 6. 20	可決
議案第80号	飯田市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	26. 5. 30	26. 6. 20	可決
議案第81号	飯田市公民館条例の一部を改正する条例の制定について	26. 5. 30	26. 6. 20	可決
議案第82号	飯田市立図書館条例の一部を改正する条例の制定について	26. 5. 30	26. 6. 20	可決
議案第83号	工事請負契約の一部変更について（新庁舎機械設備工事）	26. 5. 30	26. 6. 20	可決
議案第84号	損害賠償の額を定めることについて	26. 5. 30	26. 6. 20	可決
議案第85号	平成26年度飯田市一般会計補正予算（第1号）案	26. 5. 30	26. 6. 20	可決
議案第86号	平成26年度飯田市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）案	26. 5. 30	26. 6. 20	可決
議案第87号	工事請負契約の締結について（林道改良工事）	26. 6. 10	26. 6. 20	可決
議案第88号	工事請負契約の締結について（千代公民館・自治振興センター建築工事）	26. 6. 10	26. 6. 20	可決
議案第89号	工事請負契約の締結について（竜峡共同調理場建築本体工事）	26. 7. 25	26. 7. 25	可決

事件番号	事 件 名	上程日	議決日	議決結果
議案第90号	工事請負契約の締結について（竜峡共同調理場機械設備工事）	26. 7. 25	26. 7. 25	可決
議案第91号	教育委員会の委員の任命について	26. 8. 26	26. 8. 26	同意
議案第92号	飯田市野底財産区管理委員の選任について	26. 8. 26	26. 8. 26	同意
議案第93号	飯田市東野財産区管理委員の選任について	26. 8. 26	26. 8. 26	同意
議案第94号	飯田市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について	26. 8. 26	26. 9. 18	可決
議案第95号	飯田市税外収入金に対する延滞金徴収条例の一部を改正する条例の制定について	26. 8. 26	26. 9. 18	可決
議案第96号	飯田市税条例の一部を改正する条例の制定について	26. 8. 26	26. 9. 18	可決
議案第97号	飯田市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について	26. 8. 26	26. 9. 18	可決
議案第98号	飯田市福祉事務所設置条例の一部を改正する条例の制定について	26. 8. 26	26. 9. 18	可決
議案第99号	飯田市社会福祉審議会条例等の一部を改正する条例の制定について	26. 8. 26	26. 9. 18	可決
議案第100号	飯田市デイサービスセンター条例の一部を改正する条例の制定について	26. 8. 26	26. 9. 18	可決
議案第101号	飯田市準用河川条例及び飯田市営住宅分譲条例の一部を改正する条例の制定について	26. 8. 26	26. 9. 18	可決
議案第102号	飯田市営住宅等条例の一部を改正する条例の制定について	26. 8. 26	26. 9. 18	可決
議案第103号	飯田市下水道条例等の一部を改正する条例の制定について	26. 8. 26	26. 9. 18	可決
議案第104号	飯田市奨学金貸与条例の一部を改正する条例の制定について	26. 8. 26	26. 9. 18	可決
議案第105号	飯田市プール条例の制定について	26. 8. 26	26. 9. 18	可決
議案第106号	飯田市水道条例及び飯田市簡易水道給水条例の一部を改正する条例の制定について	26. 8. 26	26. 9. 18	可決
議案第107号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更に ついて	26. 8. 26	26. 9. 18	可決

事件番号	事 件 名	上程日	議決日	議決結果
議案第108号	財産の処分について	26. 8. 26	26. 9. 18	可決
議案第109号	市道路線の認定について	26. 8. 26	26. 9. 18	可決
議案第110号	市道路線の変更について	26. 8. 26	26. 9. 18	可決
議案第111号	和解をすることについて	26. 8. 26	26. 9. 18	可決
議案第112号	平成26年度飯田市一般会計補正予算（第2号）案	26. 8. 26	26. 9. 18	可決
議案第113号	平成26年度飯田市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）案	26. 8. 26	26. 9. 18	可決
議案第114号	平成26年度飯田市ケーブルテレビ放送事業特別会計補正予算（第1号）案	26. 8. 26	26. 9. 18	可決
議案第115号	平成26年度飯田市病院事業会計補正予算（第1号）案	26. 8. 26	26. 9. 18	可決
議案第116号	平成25年度飯田市一般会計歳入歳出決算認定について	26. 8. 26	26. 9. 18	認定
議案第117号	平成25年度飯田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	26. 8. 26	26. 9. 18	認定
議案第118号	平成25年度飯田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	26. 8. 26	26. 9. 18	認定
議案第119号	平成25年度飯田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	26. 8. 26	26. 9. 18	認定
議案第120号	平成25年度飯田市地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算認定について	26. 8. 26	26. 9. 18	認定
議案第121号	平成25年度飯田市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について	26. 8. 26	26. 9. 18	認定
議案第122号	平成25年度飯田市墓地事業特別会計歳入歳出決算認定について	26. 8. 26	26. 9. 18	認定
議案第123号	平成25年度飯田市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	26. 8. 26	26. 9. 18	認定
議案第124号	平成25年度飯田市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	26. 8. 26	26. 9. 18	認定
議案第125号	平成25年度飯田市介護老人保健施設事業特別会計歳入歳出決算認定について	26. 8. 26	26. 9. 18	認定

事件番号	事 件 名	上程日	議決日	議決結果
議案第126号	平成25年度飯田市上村デイサービスセンター特別会計歳入歳出決算認定について	26. 8. 26	26. 9. 18	認定
議案第127号	平成25年度飯田市ケーブルテレビ放送事業特別会計歳入歳出決算認定について	26. 8. 26	26. 9. 18	認定
議案第128号	平成25年度飯田市病院事業決算認定について	26. 8. 26	26. 9. 18	認定
議案第129号	平成25年度飯田市水道事業決算認定について	26. 8. 26	26. 9. 18	認定
議案第130号	平成25年度飯田市各財産区会計歳入歳出決算認定について	26. 8. 26	26. 9. 18	認定
議案第131号	工事請負契約の一部変更について（新庁舎本体建築工事）	26. 9. 5	26. 9. 18	可決
議案第132号	工事請負契約の一部変更について（新庁舎電気設備工事）	26. 9. 5	26. 9. 18	可決
議案第133号	工事請負契約の一部変更について（新庁舎機械設備工事）	26. 9. 5	26. 9. 18	可決
議案第134号	工事請負契約の締結について（現庁舎耐震改修建築工事）	26. 9. 5	26. 9. 18	可決
議案第135号	平成26年度飯田市一般会計補正予算（第3号）案	26. 9. 5	26. 9. 18	可決
議案第136号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	26. 11. 26	26. 11. 26	同意
議案第137号	飯田市千代財産区管理委員の選任について	26. 11. 26	26. 11. 26	同意
議案第138号	飯田市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について	26. 11. 26	26. 12. 18	可決
議案第139号	飯田市地域自治区の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	26. 11. 26	26. 12. 18	可決
議案第140号	飯田市保育の実施に関する条例の一部を改正する条例の制定について	26. 11. 26	26. 12. 18	可決
議案第141号	飯田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	26. 11. 26	26. 12. 18	可決
議案第142号	飯田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	26. 11. 26	26. 12. 18	可決
議案第143号	飯田市指定介護予防支援等の事業に係る人員、運営及び介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について	26. 11. 26	26. 12. 18	可決

事件番号	事 件 名	上程日	議決日	議決結果
議案第144号	飯田市指定介護予防支援事業者の指定の要件に関する条例の制定について	26. 11. 26	26. 12. 18	可決
議案第145号	飯田市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について	26. 11. 26	26. 12. 18	可決
議案第146号	飯田市農村環境改善センター条例の一部を改正する条例の制定について	26. 11. 26	26. 12. 18	可決
議案第147号	飯田市野底山森林公園条例の一部を改正する条例の制定について	26. 11. 26	26. 12. 18	可決
議案第148号	飯田市天龍峡温泉交流館条例の一部を改正する条例の制定について	26. 11. 26	26. 12. 18	可決
議案第149号	飯田市景観条例の一部を改正する条例の制定について	26. 11. 26	26. 12. 18	可決
議案第150号	飯田市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	26. 11. 26	26. 12. 18	可決
議案第151号	飯田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	26. 11. 26	26. 12. 18	可決
議案第152号	飯田市公民館条例の一部を改正する条例の制定について	26. 11. 26	26. 12. 18	可決
議案第153号	飯田市立図書館条例の一部を改正する条例の制定について	26. 11. 26	26. 12. 18	可決
議案第154号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市デイサービスセンター）	26. 11. 26	26. 12. 18	可決
議案第155号	工事請負契約の一部変更について（林道改良工事）	26. 11. 26	26. 12. 18	可決
議案第156号	損害賠償の額を定めることについて	26. 11. 26	26. 12. 18	可決
議案第157号	市道路線の変更について	26. 11. 26	26. 12. 18	可決
議案第158号	損害賠償の額を定めることについて	26. 11. 26	26. 12. 18	可決
議案第159号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市南信濃民芸等関係施設）	26. 11. 26	26. 12. 18	可決
議案第160号	平成26年度飯田市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）案	26. 11. 26	26. 12. 18	可決
議案第161号	平成26年度飯田市下水道事業特別会計補正予算（第1号）案	26. 11. 26	26. 12. 18	可決

事件番号	事 件 名	上程日	議決日	議決結果
議案第162号	平成26年度飯田市一般会計補正予算（第4号）案	26. 11. 26	26. 11. 26	可決
議案第163号	平成26年度飯田市一般会計補正予算（第5号）案	26. 11. 26	26. 12. 18	可決
議案第164号	飯田市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	26. 12. 8	26. 12. 18	可決
議案第165号	平成26年度飯田市一般会計補正予算（第6号）案	26. 12. 8	26. 12. 18	可決
議案第166号	平成26年度飯田市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）案	26. 12. 8	26. 12. 18	可決
議案第167号	平成26年度飯田市介護保険特別会計補正予算（第1号）案	26. 12. 8	26. 12. 18	可決
議案第168号	平成26年度飯田市下水道事業特別会計補正予算（第2号）案	26. 12. 8	26. 12. 18	可決
議案第169号	平成26年度飯田市介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第1号）案	26. 12. 8	26. 12. 18	可決
議案第170号	平成26年度飯田市病院事業会計補正予算（第2号）案	26. 12. 8	26. 12. 18	可決
議案第171号	平成26年度飯田市水道事業会計補正予算（第1号）案	26. 12. 8	26. 12. 18	可決

②議会提出議案

事件番号	事 件 名	上程日	議決月日	議決結果
議会議案 第1号	飯田市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	26. 3. 20	26. 3. 20	可決
議会議案 第2号	雇用の安定を求める意見書の提出について	26. 3. 20	26. 3. 20	可決
議会議案 第3号	環太平洋戦略的経済連携協定（T P P）交渉に関する意見書の提出について	26. 3. 20	26. 3. 20	可決
議会議案 第4号	介護保険制度の運用に関する意見書の提出について	26. 6. 20	26. 6. 20	可決
議会議案 第5号	容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書の提出について	26. 6. 20	26. 6. 20	可決
議会議案 第6号	国の責任による35人以下学級推進及び教育予算の増額を求める意見書の提出について	26. 6. 20	26. 6. 20	可決
議会議案 第7号	義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書の提出について	26. 6. 20	26. 6. 20	可決
議会議案 第8号	地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律（昭和55年法律第63号）の期限延長を求める意見書の提出について	26. 9. 18	26. 9. 18	可決
議会議案 第9号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	26. 9. 18	26. 9. 18	可決
議会議案 第10号	緊急事態基本法の早期制定を求める意見書の提出について	26. 9. 18	26. 9. 18	可決
議会議案 第11号	農業改革における慎重な議論と自己改革を基本とした支援を求める意見書の提出について	26. 9. 18	26. 9. 18	可決
議会議案 第12号	地域振興及び地域林業の確立に向けた山村振興法の延長及び施策の拡充に係る意見書の提出について	26. 12. 18	26. 12. 18	可決
議会議案 第13号	「手話言語法（仮称）」等の早期制定を求める意見書の提出について	26. 12. 18	26. 12. 18	可決

③報告議案

事件番号	事 件 名	上程日	議決日	議決結果
報告第1号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて)	26. 2. 26		
報告第2号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて)	26. 2. 26		
報告第3号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて)	26. 2. 26		
報告第4号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて)	26. 2. 26		
報告第5号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて)	26. 2. 26		
報告第6号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて)	26. 2. 26		
報告第7号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて)	26. 3. 20		
報告第8号	専決処分の承認を求めることについて (飯田市税条例の一部を改正する条例の制定について)	26. 5. 30	26. 5. 30	承認
報告第9号	専決処分の承認を求めることについて (飯田市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について)	26. 5. 30	26. 5. 30	承認
報告第10号	専決処分の承認を求めることについて (平成25年度飯田市一般会計補正予算(第8号))	26. 5. 30	26. 5. 30	承認
報告第11号	専決処分の承認を求めることについて (平成25年度飯田市国民健康保険特別会計補正予算(第4号))	26. 5. 30	26. 5. 30	承認
報告第12号	専決処分の承認を求めることについて (平成25年度飯田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号))	26. 5. 30	26. 5. 30	承認
報告第13号	専決処分の承認を求めることについて (平成25年度飯田市介護保険特別会計補正予算(第2号))	26. 5. 30	26. 5. 30	承認
報告第14号	専決処分の承認を求めることについて (平成25年度飯田市地方卸売市場事業特別会計補正予算(第1号))	26. 5. 30	26. 5. 30	承認
報告第15号	専決処分の承認を求めることについて (平成25年度飯田市墓地事業特別会計補正予算(第1号))	26. 5. 30	26. 5. 30	承認
報告第16号	専決処分の承認を求めることについて (平成25年度飯田市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号))	26. 5. 30	26. 5. 30	承認
報告第17号	専決処分の承認を求めることについて (平成25年度飯田市下水道事業特別会計補正予算(第4号))	26. 5. 30	26. 5. 30	承認

事件番号	事 件 名	上程日	議決日	議決結果
報告第18号	専決処分の承認を求めることについて (平成25年度飯田市ケーブルテレビ放送事業特別 会計補正予算(第2号))	26.5.30	26.5.30	承認
報告第19号	専決処分の報告について(損害賠償の額を定める ことについて)	26.5.30		
報告第20号	専決処分の報告について(損害賠償の額を定める ことについて)	26.5.30		
報告第21号	専決処分の報告について(損害賠償の額を定める ことについて)	26.5.30		
報告第22号	権利の放棄について(病院料金に係る債権)	26.5.30		
報告第23号	権利の放棄について(水道料金に係る債権)	26.5.30		
報告第24号	平成25年度飯田市一般会計繰越明許費繰越計算書の	26.5.30		
報告第25号	平成25年度飯田市介護保険特別会計繰越明許費繰 越計算書の報告について	26.5.30		
報告第26号	平成25年度飯田市簡易水道事業特別会計繰越明許 費繰越計算書の報告について	26.5.30		
報告第27号	平成25年度飯田市下水道事業特別会計繰越明許費 繰越計算書の報告について	26.5.30		
報告第28号	平成25年度飯田市病院事業会計予算繰越計算書の 報告について	26.5.30		
報告第29号	飯田市土地開発公社の経営状況を説明する書類の 提出について	26.5.30		
報告第30号	飯田清掃株式会社の経営状況を説明する書類の提 出について	26.5.30		
報告第31号	株式会社飯田健康温泉の経営状況を説明する書類 の提出について	26.5.30		
報告第32号	一般財団法人飯田勤労者共済会の経営状況を説明 する書類の提出について	26.5.30		
報告第33号	一般財団法人飯田市南信濃振興公社の経営状況を 説明する書類の提出について	26.5.30		
報告第34号	専決処分の報告について(損害賠償の額を定める ことについて)	26.8.26		
報告第35号	専決処分の報告について(損害賠償の額を定める ことについて)	26.8.26		
報告第36号	権利の放棄について(市営住宅の家賃に係る債 権)	26.8.26		

事件番号	事 件 名	上程日	議決日	議決結果
報告第37号	権利の放棄について（二ツ山専用水道の料金に係る債権）	26. 8. 26		
報告第38号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	26. 8. 26		
報告第39号	平成25年度飯田市病院事業会計継続費精算報告書の報告について	26. 8. 26		
報告第40号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	26. 11. 26		
報告第41号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	26. 11. 26		
報告第42号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	26. 11. 26		

(5) 議会において執行した選挙・選任等

(平成26年1月から平成26年12月まで)

会 期	年月日	選挙・選任の内容
第1回定例会	26. 2. 26	・ 監査委員の選任 ・ 人権擁護委員の候補者の推薦
第2回定例会	26. 5. 30	・ 飯田市松尾地区財産区管理委員の選任 ・ 飯田市鼎財産区管理委員の選任
第3回定例会	26. 8. 26	・ 教育委員会委員の任命 ・ 飯田市野底財産区管理委員の選任 ・ 飯田市東野財産区管理委員の選任
第4回定例会	26. 11. 26	・ 固定資産評価審査委員会の委員の選任 ・ 飯田市千代財産区管理委員の選任 ・ 選挙管理委員会の委員の選任 ・ 選挙管理委員会の補充員の選任

(6) 委員会活動開催状況

(平成26年1月から平成26年12月まで)

	常任委員会			特別 委員会	議 会 運 営 委 員 会	議 会 改 革 推 進 会 議	広 報 広 聴 委 員 会	全 員 協 議 会
	総 務	社 会 文 教	産 業 建 設	リ ニ ア 推 進				
委員会	10	11	12	5	18	11	11	9
協議会	7	5	6	8	0	0	0	0
計	17	16	18	13	18	11	11	9

(7) 請願陳情

①委員会別審査状況

(平成26年1月から平成26年12月まで)

		処 理 状 況							合計
		採択	趣旨採択	審議未了	取下げ	不採択	審議中	議決を要さず	
請 願	総 務	1			2	2			5
	社会文教	3	1			1			5
	産業建設	1							1
	計	5	1		2	3			11
陳 情	総 務	2	1			1	1		5
	社会文教					2			2
	産業建設	2							2
	計	4	1			3	1		9

※受理番号1件のもので、要旨が数項目ある場合

① 同一委員会で、全ての項目を審査し、全項目を一括採決した場合は、1件とする。

② 処理状況が複数にわたる場合は、その結果をそれぞれ1件とする。

③ 複数の委員会へ項目を分けて付託審査した場合は、それぞれを1件とする。

したがって②③の処理がされた場合は、「受付番号」の件数より、処理状況合計数は大きくなる。

②請願議決結果一覧表

所管	受理番号	要旨	上程月日	議決月日	議決結果
産建	26請願第1号	国に対し、雇用の安定を求める意見書を提出願いたい	26. 3. 07	26. 3. 20	採 択
総務	26請願第2号	国に対し、集団的自衛権に関する従来の憲法解釈を変更しないよう求める意見書を提出願いたい	26. 6. 10		取り下げ
総務	26請願第3号	国に対し、「集団的自衛権の行使は憲法上許されない」とする政府見解を堅持するよう求める意見書を提出願いたい	26. 6. 10		取り下げ
社文	26請願第4号	国に対し、国の責任による35人以下学級推進と教育予算の増額を求める意見書を提出願いたい	26. 6. 10	26. 6. 20	採 択
社文	26請願第5号	国に対し、「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める意見書を提出願いたい	26. 6. 10	26. 6. 20	採 択
総務	26請願第6号	国に対し、集団的自衛権容認の閣議決定を撤回し、閣議決定に基づく法整備等を行わないよう求める意見書を提出願いたい	26. 9. 5	26. 9. 18	不採択
総務	26請願第7号	国に対し、地方財政の充実・強化を求める意見書を提出願いたい	26. 9. 5	26. 9. 18	採 択
総務	26請願第8号	国に対し、集団的自衛権の行使等を容認する閣議決定を直ちに撤回するとともに、集団的自衛権を行使するための関係法律の改正等を停止することを求める意見書を提出願いたい	26. 9. 5	26. 9. 18	不採択
社文	26請願第9号	国及び県に対し、「手話言語法（仮称）」等の早期制定を求める意見書を提出願いたい	26. 12. 18	26. 12. 18	採 択
社文	26請願第10号	国に対し、安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める意見書を提出願いたい	26. 12. 18	26. 12. 18	趣旨採択
社文	26請願第11号	国に対し、介護従事者等の処遇改善を求める意見書を提出願いたい	26. 12. 18	26. 12. 18	不採択

③陳情議決結果一覧表

所管	受理番号	要旨	上程月日	議決月日	議決結果
社文	26陳情第1号	国に対し、介護保険制度見直しにあたり、誰もが安心して利用できる制度にするために意見書を提出願いたい	26. 3. 7	26. 3. 20	不採択
社文	26陳情第2号	国に対し、介護保険制度見直しにあたり、誰もが安心して利用できる制度にするために意見書を提出願いたい	26. 3. 7	26. 3. 20	不採択
産建	26陳情第3号	国に対し、環太平洋戦略的経済連携協定（ＴＰＰ）交渉に関する国民への情報開示を徹底すること等を求める意見書を提出願いたい	26. 3. 7	26. 3. 20	採 択

所管	受理番号	要旨	上程月日	議決月日	議決結果
総務	26陳情 第4号	国に対し、特定秘密の保護に関する法律の廃止を求める意見書を提出願いたい	26.3.7	26.3.20	不採択
総務	26陳情 第5号	国に対し、容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書を提出願いたい	26.6.10	26.6.20	採 択
総務	26陳情 第6号	国に対し、緊急事態基本法の早期制定を求める意見書を提出願いたい	26.9.5	26.9.18	採 択
産建	26陳情 第7号	国に対し、農業協同組合法など関連法案の検討に際しては、現場実態を踏まえて策定される自己改革案を尊重するよう求める意見書を提出願いたい	26.9.5	26.9.18	採 択
総務	26陳情 第8号	国及び県に対し、再生可能エネルギーの普及に関する意見書を提出願いたい	26.12.18	26.12.18	趣旨採択
総務	26陳情 第9号	国に対し、人種差別を扇動するヘイトスピーチを禁止し処罰する法律の制定を求める意見書を提出願いたい	26.12.18		継続審査

(8) 定例会の質問事項

①第1回定例会一般質問通告表(一問一答方式)

平成26年3月6・7日

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
1	井坪 隆 (会派みらい)	1 リニア長野県駅の設置について (1) 関係する地域が当面抱えている不安に、どのように対応していくか ① 「地元の意向を聞きながら進める」との市の姿勢は、どのような機会を想定しているか ② 立ち退き、あるいは移転を余儀なくされる住民に対して、どのような姿勢と対応を考えているか ③ 工事期間中における、地元の安心安全の確保を、どのように図 ④ 駅、及び周辺整備について ア 駅(周辺)に求める機能を広域交通拠点としているが、「新たな開発を行わない」とする方針との整合性を説明されたい イ 駅に求められる基本的な視点・機能から、概ね、どの程度の規模が必要とされるか ウ 在来線への新駅設置を念頭に置いた場合、想定されるリニア駅との具体的な位置関係を示されたい ⑤ 道路アクセス・整備について ア 駅への道路アクセスが決定していくプロセスを示されたい イ 現在使用中の市道の現況を、いかにして確保するか ⑥ コミュニティーの維持について ア コミュニティーの維持を図る観点から、市としてどのような対応を考えるか イ 駅舎内に、地元の意向を取り入れた「コミュニティ施設」の設置を検討できないか
2	吉川 秋利 (会派のぞみ)	1 リニア中央新幹線について (1) 飯田線新駅の必要性について ① 南信州地域の発展のためにどのような役割と位置づけているか ② どのような人たちが新幹線から降りると予想しているか。また、人数的にはどのように考えているか ③ リニアに乗るため、降りるための結節についてどのように考えているか (2) 排出土の処理についての検討はどの程度進んでいるか 2 市営住宅の管理について (1) どのような管理状況となっているか ① 入居状況は ② 滞納等の状況は ③ 入居待ちはどの程度か (2) 職員の適正配置としてはどう考えるか 3 国民健康保険税の算定基準について (1) 資産割を賦課することについてどのように考えているか (2) 公的扶助による生活の安定充実についてどのように考えているか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
3	竹村 圭史 (会派のぞみ)	1 2/14～2/15にかけての大雪対応について (1) 今回の大雪対応に対する市長の見解は (2) この大雪に対する初動対応で課題として浮かび上がったことは何か (3) 除雪の考え方について ① 除雪指定業者の資機材保有状況確認はいつの時点で行っているか ② 資機材保有状況確認を行った結果をもとに、迅速に除雪対応が可能であるかの検討を行っているか ③ 発注済の工事を中断し除雪に専念させたか ④ 通学路の確保にあたり、道路管理者とどの様に連携し対応したか ⑤ 地区ごとに雪捨て場の確保が必要と考えるがどうか ⑥ 幹線をはじめとする除雪対象箇所以外の道路について、除雪指定業者以外の会社および重機を所有する個人を地区ごとに活用していくことはどうか (4) 拠点施設等に対する除雪資機材の配備について ① 自治振興センターや学校等、拠点となる施設に除雪機を配備して迅速な対応をはかる考えはあるか ② 今後、隣組単位で除雪資機材を購入していくという話が出てきた場合、支援していく考えはあるか 2 考える力を伸ばす教育について (1) 児童・生徒の考える力を伸ばすためには、与えられた課題をこなす受身の姿勢ではなく、自ら課題を考え、取り組んでいく自発的な姿勢が大切であると考えがどうか (2) 考える力を伸ばすための取り組みとしてどんなことが考えられるか
4	熊谷 泰人 (会派のぞみ)	1 「長野県中学生期のスポーツ活動指針」について (1) 市内の中学校運動部活動の現状と課題について ① 加入状況は ② 社会体育を含めた活動の状況は ③ 生活習慣の現状はどうか ④ 運動部顧問の状況は ⑤ 体力、競技力の状況は (2) 県の指針に対する市の対応について ① 運動部の活動基準は ② 社会体育活動への考えは ③ 教育委員会の役割は ア スポーツ活動運営委員会の設置はどうか イ 総合型スポーツクラブの設置推進の考えは ④ 県の活動指針全般についての見解は 2 南信運転免許センターの今後について (1) 運転免許センターの設置について ① 県警が南信に必要としたものか、広域連合あるいは市が誘致したものか ② 施設の規模及び業務の中身についてはどう聞いているか (2) 設置場所は (3) 飯田市の費用負担は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
5	湯澤 啓次 (会派のぞみ)	1 年頭所感「持続可能な地域づくりに求められる事業構想」について (1) 地方自治体における事業構想とは何か ① 今なぜ、事業構想か ② 現場主義に基づく政策立案能力との違いは何か ③ 事業構想力の人材育成は (2) 事業構想に必要な「共創の場」とは何か (3) 「共創の場」の創出を促す拠点（センター）について ① 自治振興センターを地域発の事業構想策定拠点とする考えは ② 南信州・飯田産業センターの強化について ア 新たな食品産業センターの考え方は イ 飯田工業高校空き校舎を産業センターの第2拠点とする考えは ③ 学輪 I I D A の拠点づくりをどう進めるか (4) 事業構想力を育てる大学院大学について ① 市長の大学院大学に対する考えは ② 想定されるイメージは ③ ロードマップは示せるか 2 リニア・三遠南信時代を見据えた飯田市の観光戦略について (1) 中長期的観光振興指針について ① 飯田市観光振興ビジョンとは何か ② ビジョン策定に「共創の場」は考慮されているか ③ 志と当事者が見える行動計画は (2) 増大が見込まれる外国人観光客への対応は (3) 語り部、「南信州ツアーガイド」の育成は (4) 歴史と文化の薫る伊那谷の「二つの古都（麻績の里、旧市街）」を有機的に結びつけた観光事業構想について ① 「2千年浪漫の郷」と「まちなか観光」をリンクした観光政策 ア 国指定が確実視される恒川遺跡群をどう生かすか イ 元善光寺の御開帳をどう活かすか 3 事業構想を念頭に置いたリニア駅アクセス道路について (1) 造り易いルートか、戦略的地域づくりに基づくルートか (2) 価値創造に繋がる周遊性をどのように確保するか
6	福沢 清 (会派みらい)	1 公契約条例について (1) 公契約条例の必要性はどうか ① 飯田市の建設工事（5,000万円以上）委託事業（1,000万円以上）の具体的な事例は何か ② 長野県で公契約条例が制定されようとしていることについて、飯田市としてどう考えるか ③ 飯田市でも公契約条例の制定が必要ではないか (2) 飯田市において公契約条例制定に向けて検討する考えはどうか 2 ながのパーソナル・サポート・センターについて (1) パーソナル・サポート・センターの目的は何か (2) 「中間の就労」を飯田市はどうとらえ、行政としてどうかかわるか (3) 今後、パーソナル・サポート・センターに飯田市としてどうかかわるか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
7	清水 可晴 (市民パワー)	1 リニア時代を見据えて見通しが立つ積極型予算と市長の政治姿勢について (1) 年頭所感及び市政経営の方向と新年度予算は ① 事業構想に必要な「共創の場」の創出について ア ジグソーパズルの事業構想と異質人材の集団を意識的に形成するとは何か ② 全国のモデルとなり得る事業構想を新年度予算にどのように反映したか ア リニア時代を見据えて見通しが「立つ」との政策意図と、政策強化特別予算枠の政策目的は ③ 南信運輸免許センター飯田駅周辺誘致は、中心拠点として必然ではないか (2) 積極型予算と市長の政治姿勢は ① 市の経済見通しと積極型予算について ア 地方財政計画は地方税が伸びる予想をしているが、市の経済見通しと、市税収入はどうか イ 積極型予算を組んだ市長の政治姿勢と、国の好循環実現のための経済対策に呼応した予算の特長は何か ウ 持続可能な財政運営と長期財政見通しは 2 市の臨時・非常勤職員の待遇改善と雇用安定について (1) 市の臨時・非常勤職員の実態は ① 臨時・非常勤職員の配置状況、賃金等、業務内容は (2) 臨時・非常勤職員の待遇改善は ① 恒常的業務において正規職員と均衡・均等の待遇にすべきと考えるがどうか ② 職務経験の要素を加味した賃金にすべきと考えるがどうか ③ 雇用更新における空白期間を廃止すべきではないか ④ 雇用期間の上限を撤廃すべきではないか
8	村松 まり子 (公明党)	1 がん対策の推進について (1) がん検診について ① がん検診の現状と無料クーポン券の効果はどうか ② 未受診の理由は何か ③ 受診勧奨の取り組み状況は ④ 無料クーポン券事業縮小に対する市の見解は (2) 「がん診療連携拠点病院」に対する新指定要件への対応は (3) 「いのちの大切さを育む、がん教育」をすべきと思うがどうか 2 高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができる体制の構築について (1) 地域包括ケアシステムの現状と課題は何か (2) 地域包括ケアシステムの構築のプロセスは (3) 生活支援サービス提供体制はどうか 3 産後ケア体制の整備について (1) 市の産後支援の現状と課題は何か (2) 産後ケアセンターを設置してはどうか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
9	永井 一英 (公明党)	1 災害に強いまちづくりに向けて (1) 消防団について ① 「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が施行されたと聞くがその内容は ② 飯田市への影響は ③ 飯田市の対応は (2) 記録的な大雪への備えについて ① 2月14日、15日の記録的な大雪における除排雪の状況はどうであったか。また、課題は何か ② 記録的な大雪を想定した対策の見直しは
10	原 和世 (会派みらい)	1 かみ雪と市民生活について (1) 記録的な豪雪に対するこれからの危機管理のあり方は ① 公共施設における対応はどうであったか ② 各地域での対応は ③ 今後の備えに対する考えは 2 公共住宅の住民自治について (1) 飯田市における公共住宅の住民自治に関して ① 住民によるコミュニティの形成は ② 地域自治組織との関係は ③ 市の責務は
11	木下 容子 (市民パワー)	1 「生活困窮者自立支援法」施行に向けた取り組みについて (1) 生活困窮者自立支援法の主旨は何か (2) ながのパーソナル・サポート・センター飯田サテライトの継続について ① 飯田サテライトにおける相談や支援の現状をどのように把握しているか ② 自立支援法施行により、ながのパーソナル・サポート・センターの活動は、今後どう変わるか ③ 飯田サテライトがこれまで実施してきた活動を、どう継承していくか ④ 長野県のモデルプロジェクトを継続するために、どう取り組むか ⑤ 市としての関わりをどう考えるか 2 (仮称) こども家庭応援センター設置に向けて (1) 平成27年度に開所を計画している (仮称) こども家庭応援センターの役割は何か (2) 現実にどのような事業を考えているか (3) 組織間の枠を越えた取り組みが必要になると考えるが、どう取り組むか (4) 子ども基本条例等の制定が必要と考えるがどうか
12	山崎 昌伸 (無会派)	1 国の教育制度改革と飯田市教育委員会について (1) 国の教育制度改革をどのように受け止めているか、また飯田市教育委員会の現状は ① 教育行政の責任の所在が明確でないとの指摘について、どう考えているか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	山崎 昌伸	ア 大津市立中学校のいじめによる自殺事件をどう見ているか イ 教育委員長と教育長の役割分担はどのようになっているか ウ 改革案の「代表教育委員（仮称）」をどうとらえているか ② 改革案における首長の権限強化の方向性をどう考えるか ア 現行制度での首長の権限とはどのようなものか イ 「総合教育施策会議（仮称）」をどう考えているか ウ 首長の権限が強化された場合の影響はどうか ③ 改革案では「教育の政治からの中立性」は担保されているか ④ 全国市長会としてどのように議論されているか ⑤ 飯田市教育委員会としてどのように議論されているか ⑥ 「教育委員会の顔が見えない」との批判をどう考えているか ⑦ 国の教育行政への介入が強まることをどうとらえているか ア 教科書選定への影響はどう及ぶか イ 道德の教科化への方向性をどう考えるか ⑧ 飯田市教育委員会の担っている職務分掌量は適正か (2) 地育力を高め、活用した教育の推進について ① 地育力を活用した学校教育のあり方とは ② 学校教育において市町村教育委員会と学校の裁量の及ぶ範囲はどこまでか ③ 地育力を念頭においた今後の学校教育のあり方は
13	森本 政人 (市民パワー)	1 雪害対策について (1) 記録的な大雪に対する雪害対応はどうであったか ① 雪害対応は ア 現行雪害対策は実際どう機能したか イ 防災無線を使った市民への周知はどうであったか ② 現行雪害対策の見直しは ア 雪害対策を見直す考えはどうか イ 防災無線での周知方法を見直すべきと思うがどうか ウ 排雪場所の確保をどう考えるか エ 除雪機械の市有を考えないか オ 除雪における国道・県道・高速道等管理者との連携をどう考えるか (2) 独居高齢者等の安否確認は ① 安否確認をどう行ったか ② 独居高齢者等からの声はどうであったか ③ 今後の対応をどう考えるか
14	古川 仁 (日本共産党)	1 飯田市の手話通訳について (1) 手話通訳者・手話通訳士に対しての市の関わりは ① 市の事業（各種大会、講演会など）での、具体的な活用実態はどうか ② 手話通訳者（士）の基準はどのようになっているか ③ 現在の登録人数や年間の活動状況はどうか ④ 後継者対策はどうか 2 飯田市の生活保護について (1) 国の生活保護費引き下げについて ① 市の生活保護受給者への影響は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	古川 仁	② 生活保護を基準としている就学援助・住民税 などへの影響はどうか ③ 緊急時の交通手段はどうか 3 飯田市の国民健康保険について (1) 国保加入状況について (2) 今後の国保税の見通しはどうか
15	小倉 高広 (日本共産党)	1 「リニアを見据えた地域づくり」における社会保障のあり方について (1) 安倍内閣の「社会保障改革」をどう評価するか ① 社会保障制度改革推進法の「自助、共助及び公助」をどう考えるか ② 今後予定されている医療、年金、介護及び生活保護の「改革」の内容はどのようなものか ③ 「改革」が飯田市の社会保障に与える影響は (2) 飯田市の財政状況と社会保障の見通しは ① 飯田市の決算に占める民生費・扶助費の割合及び過去10年の増加率は ② 今後も社会保障費は増加すると思われるがどの部分がどのように増加するか ③ リニアへの財政的投資で社会保障費はどうか (3) 今後の社会保障のあり方について ① 飯田市の社会保障費の増加に対応する重点的な対策は ② 近隣町村並みの各種助成制度の実施をできないか ③ 高齢者が生き生きと働き生活できる地域循環型の地域づくりをすべきと考えるがどうか 2 電磁波問題について (1) 電磁波問題の現状と飯田市の認識はどうなっているか ① 市内で電波塔の建設による電磁波問題は起きているか ② 電磁波問題を飯田市はどのように認識しているか ア 電磁波過敏症の人たちの現状は イ 電磁波問題に関する論点は ③ 電磁波問題の実態調査と対策の検討をすべきと考えるがどうか
16	後藤 荘一 (日本共産党)	1 雪害対策について (1) 2月14日からの降雪は記録的なものになったが、市内の被害状況はどうか (2) 農家のパイプハウスや畜舎等農業施設が、多く倒壊したが、救済策を考えているか (3) 市街地のアーケード等も倒壊しているが、復旧の支援策は (4) 市が除雪する路線外の公道の除雪に支援できないか (5) 今回のような大雪が、今後どの位発生すると想定するか (6) 除雪体制や、孤立防止策等の雪害対策を加えるなど地域防災計画を見直す考えは 2 市内（域内）の労働者の賃金について (1) 近年の推移は ① 昨年は円安等で物価が上がり、実質賃金は下がっていると言われるが飯田市の状況は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	後藤 莊一	② 正規労働者と非正規労働者を比べるとどの位の差があるか (2) 市内（域内）の労働者の賃金を引き上げるよう事業所に働きかける考えは 3 安倍政権の「教育再生」について (1) 政府与党が、教育委員会の改革で首長権限の強化などをしようとしているが、どう思うか (2) 教科書検定基準の改訂や、道德教育の教科化をどう思うか (3) 学力テストの毎年実施は成果があったか
17	新井 信一郎 (会派のぞみ)	1 リニア中央新幹線開通を見据えた中央自動車道の新たな活用策について (1) 現時点で飯田市が思い描く中央自動車道との接点はどのようなものか (2) 座光寺PA周辺地区住民との懇談会等の状況は (3) 長野県や近隣市町村との連携状況は (4) NEXCO中日本と飯田市との関係は (5) NEXCO中日本・中日本高速道路が高速道路以外で商業施設開発に取り組むようだが、企業誘致の一環として飯田市も提携してはどうか ① 新東名高速道路には機能充実したNEOPASAが多数整備されているが、中央自動車道には、談合坂のみEXPASAであり、内陸の中心をアピールすべきではないか (6) 南アルプスが望める地形(河岸段丘)や現況の農業を極力活かした「果樹園のあるハイウェイ・オアシス」構想はどうか 2 南アルプスが国立公園指定50周年となるが、飯田市の取り組みとリニア中央新幹線開通を見据えた展開について (1) 50周年記念事業として、どのような企画を考えているか ① 飯田市としては ② 伊那谷の市町村との共同事業は ③ 長野県、山梨県、静岡県との共同事業は (2) 「信州の山 新世紀元年」とし、「信州 山の日」の制定を契機に「信州の山」を盛り上げる長野県であるが、飯田市としての取り組みは (3) 市民にどのように参加していただくのか ① 各地区で取り組まれる里山整備構想について現状は ② 各地区での活動のバックアップ方針は (4) 長野県リニア活用基本構想(案)ではあるが、長野県としても国内外から誘客促進にジオパーク、ユネスコエコパーク等が、そしてその先には南アルプス世界自然遺産として伊那谷交流圏構想の実現に向けて、とある。今後のスキームは (5) 上高地では官民一体となり「上高地ビジョン2014」の素案をまとめているが、南アルプス国立公園を通過するJR東海にも協働歩道を促す考えはあるか 3 「小さな世界都市」と謳う飯田市だが、その世界に通じる公教育環境について (1) 地域特性を活かした授業カリキュラムは今後さらに必要と考えるかどうか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	新井 信一郎	① 学校登山は ② ジオサイトの活用状況は ア 上久堅・千代・千栄小学校の化石発掘授業は イ 伊那市長谷公民館内にある化石資料室を参考にできないか ウ ユネスコスクールへの参加検討、その経過は エ 上村地区にある学校施設をジオパーク、ユネスコエコパークや山を学ぶ、山の学校として利用できないか (2) 長野県が構想している「知の分権」を、飯田市はどう考えるか ① その後の経過は (3) 県教育委員会が持つ「小中学校教員の人事権」を、飯田市はどう考えるか ① 地域特性を理解したこの地域ならではの人材招聘は ② 教員育成は (4) 子どもの人権や地域で人材を育成する観点から「こども条例」等の制定を考えてはどうか ① 進捗状況は ② 家庭での親子ふれあいに「わが家の結いタイム」は成果を上げているが、更に進化させ親子で作る親守詩(おやもりうた)を飯田市でも普及しては ③ リニア新時代に伊那谷一体の醸成を図るツールのひとつとして親守詩を活用できないか
18	木下 徳康 (会派のぞみ)	1 旧市内の家庭生ごみの分別収集について (1) 現状について ① 開始後10年が経過するが現状はどうか ② 循環型まちづくりや域産域消の観点からの評価はどうか (2) この施策の今後の展開について ① 収集地区を拡大して欲しいとの要望があるが ② 堆肥の販路開拓に向けた取組はどうか 2 間伐材利用について (1) 県からの森林づくり支援金について ① 支援金はどの位交付されているか ② どのような事業に使われているか (2) この事業で搬出された間伐材はどのように活用されているか
19	清水 勇 (会派のぞみ)	1 平成26年度予算(案)について (1) 26年度予算編成の特徴と、一般会計、特別会計ともに25年度予算より増額の要因は (2) 5つの基本方針における予算案については (3) 市債増の理由と、主要4基金繰り入れについては (4) 地方債残高と基金残高の推移と今後の見込をどう考えているか 2 今回の大雪に対する、市と各地域自治体の対応について (1) 除雪について各地域の情報と連携はどうであったか ① 地域の要望と対応はどう取り組んだか (2) 市と契約している除雪指定業者の対応について ① 地域の対応要請について、今後の市の考えは (3) 今後の雪害対応をどのように取り組んでいく考えか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	清水 勇	3 天龍峡再生事業について (1) 今後の取り組みについて、景観整備をどのように考えているか ① 姑射橋周辺整備についての考えは ② 天龍峡温泉交流館について、今後の取り組みをどう考えているか ③ 人々の交流について、整備事業の中でどう活かしていくか

②第2回定例会一般質問通告表(一問一答方式)

平成26年6月9・10日

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
1	木下 徳康 (会派のぞみ)	1 飯田市の環境政策について (1) 環境モデル都市行動計画のこれまでの進捗状況はどうなっているか ① 環境モデル都市選定から5年経過するが、第1次計画の総括は ② 全国の他の環境モデル都市と比較して、飯田市の特徴は何か、また国や他都市からの評価はどうか (2) 第2次環境モデル都市行動計画の取り組みについて ① 第2次計画では「飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例」が大きな位置を占めていると考える。その条例施行後1年が経過するが市民周知はできているか、また、各地区から案件は提案されているか ② 現状で再生可能エネルギーの柱と考える太陽光発電の普及状況と今後の展開はどうか ③ おひさま進歩エネルギー株式会社が関連する、おひさまエネルギーファンド株式会社に対し、金融庁の行政処分がされたが、飯田市の環境政策に与える影響についてどう考えるか ア 飯田市の環境政策との関係は イ 市有施設の屋根貸しについて影響はないか ウ 「旧飯田測候所」について、指定管理者として指定しているが今回の件は影響があるか (3) 不法投棄対策の状況はどうか ① 「飯田市ポイ捨て等防止及び環境美化を推進する市民条例」がこの4月に施行されたが、施行から今日までの状況と今後の対応はどうか
2	竹村 圭史 (会派のぞみ)	1 通学路の安全対策について (1) 現在の進捗状況は (2) 対策完了箇所のまちづくり委員会、小学校への報告状況は (3) 危険箇所調査の実施時期等についての検討・協議状況は 2 第2次飯田市環境モデル都市行動計画について (1) 「分権型エネルギー自治」を推進する基盤整備について ① 市としてどう取り組むか、市長の考えは ② 取組方針に「生み出す住民の側に立つ公共的な基盤を整備していく」とあるが、飯田市として独自の系統網を構築していくということか (2) 次世代自動車の普及促進について ① 充電スタンド等の整備に対する市長の考えは ② 観光戦略としての考えは
3	熊谷 泰人 (会派のぞみ)	1 行財政改革の推進について (1) 「がんばる地域交付金」の算定と行革努力について ① 「がんばる地域交付金」とは、どういうものか ② 交付額の算定は、どのようにされるか (2) 飯田市における行財政改革の取組状況について ① 飯田市における行財政改革の取組状況と成果は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	熊谷 泰人	② 職員給与削減に向けた取組は進んでいるか ③ 職員数の削減は進んでいるか (3) 地方分権時代における行財政改革の進め方について ① 交付金や交付税算定に行革努力を反映させる国の進め方についてどう考えるか ② 行財政改革の推進に向けた、今後の課題は何か
4	原 和世 (会派みらい)	1 政策決定に関わる議事録の公開について (1) 市における部長会議及び政策会議の議事録の公開に関して ① 情報公開に対する考え方は ② 市政運営の透明化は ③ 会議録の公開は 2 小型家電リサイクル法と地域振興について (1) 小型家電リサイクル法を起点に環境と産業と福祉の複合的な地域振興に関して ① 小型家電リサイクル法施行に対する市の考え方は ② 「神奈川モデル」と言われる環境と福祉の協業は ③ 環境を産業に結びつける複合的な展開は ④ 南信州圏域への展開は
5	福沢 清 (会派みらい)	1 景観とまちづくりについて (1) 市の景観に対する考え方は (2) 景観行政団体として具体的な取り組みはどうか (3) まちづくりと景観形成の推進役は 2 シティプロモーションについて (1) シティプロモーションとはどのようなものか (2) シティプロモーションは誰に何を伝えるのが目的か。また働きかける対象にどのような変化を起こしたいか (3) 市として、具体的な事業は何か (4) シティプロモーションの実証はどのようにするか
6	井坪 隆 (会派みらい)	1 リニア中央新幹線の事業認可を控えた、今後の市長の姿勢について (1) 駅周辺整備に対する構想を、市長として、どう考えているか (2) 県との連携を、どうはかっているか (3) 庁内の体制を、どのように考えているか
7	清水 可晴 (市民パワー)	1 高齢者福祉の充実について (1) 地域福祉の推進について ① 地域福祉懇談会で出された意見と地域福祉計画の策定は ② 市民協働で地域福祉を推進するために、飯田市社会福祉協議会等との連携は (2) 介護保険制度の改正と在宅及び施設福祉の推進について ① 平成27年度の介護保険制度改正の特徴と改正に対する市長の考えは ② 在宅介護と施設介護の充実について ア 要介護者の今後の推移は イ 要介護者の施設待機者数の実態は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	清水 可晴	ウ 認知症要介護者が増加すると聞くが対策を強化する考えは エ 特別養護老人ホーム等の施設の充実は ③ 介護保険制度改正による利用者負担の状況や市財政負担の見込みはどうか。また、国への財政支援は ④ 特別養護老人ホーム飯田荘の改築計画について ア 飯田市社会福祉協議会との協議内容は。また、施設整備の要請はあるか 2 公契約条例制定と入札制度改革について (1) 長野県の契約に関する条例制定をどう受け止めたか (2) 飯田市の公契約条例制定についての考えは (3) 入札制度改革について ① 総合評価方式施行の実態と見直しは ② 低入札価格制度の見直しは
8	湊 猛 (会派のぞみ)	1 中山間地域の振興について (1) 組織機構改革にともなう市民協働環境部の中に遠山郷・中山間地域振興担当専門幹と係を設置した意図は (2) 総務省で取り組んでいる、地域おこし協力隊の導入を中山間地域に取り入れる考えは (3) 中山間地域での営農特産づくり支援の取り組みは (4) 鳥獣被害防止総合対策として食肉加工施設の考えは 2 将来を見据えた遠山郷の観光振興について (1) 遠山郷観光振興の現状と課題は (2) お金の循環する仕組みづくりと、日帰りから滞在型への移行は (3) かぐらの湯を拠点とした、道の駅遠山郷の施設規模拡大と周辺整備をどう考えるか (4) 今後の推進体制における遠山郷活性化プロジェクト組織の考えは
9	村松 まり子 (公明党)	1 途切れのない発達支援体制について (1) 一貫した発達支援のための情報共有と一体的な早期支援体制の具体的な取り組みは (2) 就学時健康診断の取り組みは (3) (仮称) こども家庭応援センターが担う役割は何か 2 健康寿命延伸のための取り組みについて (1) ロコモティブシンドローム(運動器症候群)の予防対策について ① ロコモティブシンドローム通称ロコモの予防対策が注目されているが、飯田市の現状と課題は何か ② 今後の取り組みは (2) 「アルコール健康障害対策基本法」が6月1日から施行されたが、今後どのように取り組むか ① この法律が制定された目的と背景をどのように受けとめているか ② 今後の取り組みは

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	村松 まり子	3 動物愛護の推進について (1) 飯田市の現状は (2) 改正動物愛護法の主な内容は (3) 改正動物愛護法第6条の具体的な取り組みは (4) 殺処分ゼロをめざして猫の避妊・去勢手術の制度を創設できないか
10	湯澤 啓次 (会派のぞみ)	1 環境アセス後に本格化するリニア関連事業の進め方について (1) 最終段階にきている環境影響評価の今後の展開は (2) 社会基盤整備関連について ① リニア駅周辺整備基本構想は ア 基本構想の長野県における位置づけは イ 庁内で今までどのような議論がされてきたか ウ 検討会議の作業部会とはどのようなものか エ 開発範囲と用地取得についての基本的な考えは オ イメージ図とはどのようなものか カ 市民に開かれた検討会議になっているか ② スマート I C、アクセス道路は、いつ市の考えを示すか ③ 今後の土地利用計画は ④ ロードマップ（工程表）の更新は市民に分かり易くなっているか 2 危機感と期待感を持って取り組む農業政策について (1) 深刻化する農家の現状、10年後の分析はできているか (2) 農業を取り巻く環境変化に即し、新たな農業振興の基本方針を検討する考えは (3) 農家のやる気に応える地域農業政策は ① 地域の実情に合ったモデル的有害鳥獣対策はとれないか
11	永井 一英 (公明党)	1 信州型コミュニティスクールについて (1) どのようなものか (2) 文部科学省が進める「学校運営協議会制度」との違いは何か。また、学校支援地域本部との関係は (3) 長野県内における導入の状況は (4) 飯田市教育委員会は、授業の一部を住民が行うなどの地域や住民による学校支援という点は重視してきたが、学校運営協議会制度の導入には消極的だったと思う。信州型コミュニティスクールの導入についてはどう考えるか 2 情報通信技術の活用について (1) 現在は、広報紙、ケーブルテレビといった従来の情報媒体に加えて、新しい媒体を利用した情報通信技術が盛んに使われている。飯田市における現状、また、今後どのような媒体や技術・手法への対応を考えているか (2) 市が行った「広報と情報化についてのアンケート」結果によると、情報の入手手段など年代により状況が異なる。アンケート結果からどのようなことが分かってきたか (3) 新しい媒体や技術・手法への対応を含めて、今後、情報通信技術をどのように活用しようと考えているか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	永井 一英	(4) 自治体のオープンデータへの関心が高まっていると聞く。市が保有する情報についてはどうか。また、市はどう考えるか
12	小倉 高広 (日本共産党)	1 児童クラブについて (1) 児童クラブ（学童保育）の社会的意味はどのようなものか ① 児童館・児童センターと児童クラブはどう違うか ② 児童クラブは家族・児童・地域にとってどのような役割をはたしているか (2) 飯田市における児童クラブの現状と課題はどうか ① 現状はどうか ア 児童クラブ数・定員及び職員数は イ 職員の身分と待遇（年収）はどうなっているか ウ どのようなところで運営されているか ② 課題はどうか ア 「狭い」、「暑い」などの環境面での改善が必要だと思うがどうか イ 職員の身分、待遇の改善が必要だと思うがどうか (3) 今後の改善策はどうか ① 来年度実施に向けての「条例づくり」に上記の改善の課題を盛り込む考えはあるか 2 精神障害者の地域生活支援について (1) 地域における相談・支援体制はどうなっているか ① 家族等の生活面での「緊急時」（家族の入院等）における支援体制はどうなっているか ② 定期的な訪問体制はどうなっているか ア 民生委員、保健師、訪問看護師はどのように関わり、また、訪問しているか (2) 親亡き後の不安に応えるグループホームの増設はどうなっているか ① 飯田市における精神障害者のグループホームの数と入居者数はどうか ② 飯田市はグループホームのニーズを把握するための実態調査を行い障害者福祉計画に反映させるべきだと思うがいかがか
13	森本 政人 (市民パワー)	1 産業づくりについて (1) 市の工業施策における公益財団法人南信州・飯田産業センターの関わりと役割は (2) 環境産業の育成は ① LED防犯灯・マイクロ水力発電機すいじんの普及実態は ② 木質バイオマス利用の普及実態は ③ 新産業として廃棄プラスチック類等のケミカルリサイクルの研究開発は (3) 新産業団地の見通しは 2 信州パーソナル・サポート・モデル事業について (1) 4月から実施している「いいだ生活・就労支援センター（愛称・まいさば飯田）」の実態は 3 ポイ捨て等防止及び環境美化を推進する市民条例について (1) 4月から施行している条例の運用は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
14	後藤 莊一 (日本共産党)	1 安倍政権の「教育再生」について (1) 政府与党が、教育委員会の改革で首長権限を強化などしようとして、教育委員会の独立性を弱めようとしているが、どう思うか ① 「新教育長」人事をどう思うか ② 「大綱」の策定をどう考えるか (2) 全国学力・学習状況調査について ① 毎年実施をしているが、成果があったか ② 公開する考えは 2 中心市街地活性化について (1) 第1期中心市街地活性化基本計画の目的は達成したか (2) 本計画に基づき事業実施したことによって、丘の上の住環境が向上したか
15	清水 勇 (会派のぞみ)	1 第2期飯田市中心市街地活性化基本計画について (1) 基本計画における中心市街地の位置付けとは ① 中心拠点・地域拠点の考え方は ② 交流拠点・広域交通拠点の考え方は (2) 中心市街地の課題と将来像をどうとらえているか ① 現状の課題は何か ② 将来像の方向性はどうか (3) 基本方針の具体的目標と事業はどうか ① 活性化目標と数値目標の考え方は ② 基本計画で取り組む事業は何か 2 三遠南信自動車道の現況について (1) 各インターのアクセス道路の考え方は ① アクセス道路の計画と進め方をどう考えているか (2) 仮称「天龍峡大橋」の状況は ① 歩道橋と遊歩道整備の考えは
16	木下 容子 (市民パワー)	1 天龍峡再生について (1) 「名勝天龍峡保存管理計画」・「名勝天龍峡整備計画」の進捗状況はどうか (2) 川路まちづくり委員会から天龍峡温泉交流館に関する要請書が提出されたがこれにどう応えるか (3) 天龍峡温泉交流館は「天龍峡百年再生構想」の拠点となっているか ① 天龍峡温泉交流館取得の経緯とそのねらいは何であったか ② 温泉交流館の利用者の推移はどうか。その実態は「天龍峡百年再生構想」の拠点となっているか ③ 天龍峡温泉交流館の建て替えは考えないか (4) 天龍峡再生のために、今後どのように取り組むか
17	新井 信一郎 (会派のぞみ)	1 循環型社会構築と農業の6次産業化について (1) 果樹の生産状況はどうか (2) 消費状況はどうか (3) 近年襲う自然災害対策はどうか (4) りんごの街、飯田。そこで、シードルの展開を進めてはいかがか (5) 果樹や畜産等、特にりんごを使った展開は何か考えられているか (6) J R東海、N E X C O中日本等へのアプローチはどうか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	新井 信一郎	(7) 循環型社会構築に下水の残渣活用等利用構想はどうか ① 年間どのくらい残渣がでるか ② その残渣の処理はどうしているか ③ 下水道資源の利活用促進に対する考えは ア バイオエネルギーは イ 再生肥料化は ウ 再生水化は 2 「小さな世界都市」と謳う飯田市だが、その世界に通じる公教育環境について (1) 子どもの人権や地域で人材を育成する観点から「こども条例」等の制定を考えてはどうか ① 検討状況は ② 家庭での親子ふれあいに「わが家の結びタイム」は成果を上げているが、更に進化させ親子で作る親守詩（おやもりうた）を飯田市でも普及しては ③ リニア新時代に伊那谷一体の醸成を図るツールのひとつとして親守詩を活用できないか
18	古川 仁 (日本共産党)	1 介護保険制度について (1) 介護保険制度の改正について ① 国は、要支援1・2を保険給付から外し、地域支援事業に委ねようとしているが、市はどう対応するか ② 予算には限りがあり、給付費削減も義務づけられ、サービスの後退が懸念されるがどうか 2 国民健康保険制度について (1) そもそも国民健康保険制度とはどのようなものか、また、理想とする運営はどのようなものか (2) 飯田市の現状はどうか (3) 市町村単位での運営では限界があると考えているが、市はどう考えているか 3 子育て支援について (1) 子ども・子育て支援新制度について ① 国が示している子ども・子育て支援新制度の内容は ② 市は、今後どう進めていくか
19	山崎 昌伸 (無党派)	1 飯田市の学校教育及び教育委員会のあり方について (1) 「地蔵になった男」上映会及び座談会を今後活かす考えは (2) 「教育委員会の顔が見えない」との批判への対応はどうか (3) 中学の部活の朝練廃止についての考え方は (4) 国の教育制度改革に対する対応は ① 全国学力テストの成績公表についての考え方は ② 土曜授業の復活についての見解と方向性は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
20	吉川 秋利 (会派のぞみ)	1 リニア中央新幹線開通に向けて飯田を売り込むためのプロモーション活動について (1) リニア中央新幹線開通後、どのような人たちに南信州地域を訪れてもらいたいと考えているか (2) できる限り多くの人たちに訪れてもらえるためのプロモーション活動の必要性についてはどのように考えるか ① シティプロモーションとしてはどのように考えるか ② 航空宇宙クラスターのプロモーション活動はどうであったか ③ 今後のプロモーション活動のスケジュールをどのように考えているか (3) プロモーション活動の主管課と関連する組織についてどのように考えているか (4) 二地域定住の考え方、農福連携についてはどのような認識を持っているか 2 学校登山について (1) 5月4日付け信濃毎日新聞の「県内減る学校登山」という報道があったがどのように認識しているか (2) 26年度の飯田市の中学校においてはどのような実施状況になっているか (3) 教育委員会の方針はどうか (4) 故郷に帰ってきてほしい若者たちに、故郷の自然を体験させることの必要性をどのように認識しているか
21	木下 克志 (会派のぞみ)	1 観光施策について (1) 市長就任10年目、観光施策の成果と課題は何か ① ここ10年以上、観光各所の観光者数が減り続けているが、どう分析し対策しようとしているか ② 天龍峡と天竜川下りを一括して統計表示しているが根拠は何か ③ 観光3拠点に麻績の里（元善光寺等含む）を外した理由は何か (2) 飯田市が目指す観光像とは何か ① 観光戦略をどう考えているか ア そもそも観光振興なのか イ 地域自立を目指すものなのか ウ 経済自立度向上の一翼としてなのか ② 地域が生き残るため（地域間競争に勝つため）観光分野では今何をするべきか ③ 庁内連携、地域連携で他の取り組みとどう連携させるか ア 目指す方向がバラバラだと思うが、どうか（食、施設等） イ 誘客のための物語り化はどうか ウ 郷土ソングの売り込みは エ 他産業連携をどう構築するか

③第3回定例会一般質問通告表（一問一答方式）

平成26年9月4・5日

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
1	吉川 秋利 (会派のぞみ)	1 代表・一般質問の取り扱いについて (1) 代表・一般質問で取り上げられた課題、論議をされた課題についてはどのようにとらえられているか (2) どのように市政に反映されているか 2 小中連携・一貫教育について (1) 政府の教育再生実行会議において、小中一貫教育の制度化の方向性が示された。このことを飯田市教育委員会としてはどのように受け止めるか (2) 3年目を迎えて、どのような実績が上がっていると判断しているか (3) 方式としては、他地区と異なる飯田独自の方式と思うが、今後の方向性をどのように考えているか
2	原 和世 (会派みらい)	1 防災体制に関して (1) 土砂災害について ① 広島市の被害状況を受けて市長の所感は ② 市の土砂災害に対する対応は (2) 市民の生命と財産を守るための体制はどのようになっているか ① 防災会議の役割と活動は ② 防災対策基本条例の制定と自主防災会の育成は ③ 災害発生時の地域の医療機関の役割は ④ 医薬品の備蓄と自動体外式除細動器（AED）の配置は
3	熊谷 泰人 (会派のぞみ)	1 土砂災害の防災について (1) 土砂災害警戒区域の指定状況について ① 土砂災害警戒区域及び特別警戒区域とは ② 飯田市の土砂災害警戒区域及び特別警戒区域の指定状況は (2) 土砂災害特別警戒区域において、これまで実施してきた防災対策について ① 防災対策の内容は ② 風越山麓の災害状況と防災対策について ア 松川入・野底山での最近の災害状況は イ 土石流危険渓流での砂防ダムの状況は ウ 急傾斜地での防護壁などの整備状況と今後の見込みは (3) 集中豪雨時の避難勧告・指示等の判断基準について ① 市の基準は、また指示を出す時期の判断は ② 市民への情報伝達方法はどのように行うか (4) 今後の土砂災害への対策について ① 土砂災害防災対策、避難対策について市長の考えは ② 土砂災害警戒区域内にある避難所への防災対策は 2 スポーツ振興について (1) 飯田市体育協会運営支援事業について ① 支援の内容は ② 事業拡大の考えは (2) 60歳以上ソフトボール大会支援事業について (3) 活動の拠点となる文化スポーツ施設について ① 松尾総合運動場の整備状況は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	熊谷 泰人	② 高齢者の健康維持・生涯スポーツのための施設整備は ③ 各種競技の国際大会など大規模イベントに対応できる総合体育施設の計画は
4	福沢 清 (会派みらい)	1 空き家対策について (1) 飯田市の空き家の現状をどう考えるか (2) 危険な空き家対策で肝心なことは何か (3) 空き家の利活用をどのように進めるか (4) 今後の飯田市の空き家対策はどのように進めるか
5	井坪 隆 (会派みらい)	1 リニア中央新幹線への取組について (1) J R 東海による事業着手に向けた、市としての取組について ① J R 東海の工事認可申請にあたって、評価書には地元との協定が盛られていないが、どう考えるか ② リニアを生かしたまちづくりに、地域をあげて取り組む体制について、どう考えているか (2) アクセス道路の整備計画について ① 道路整備における「高度なトランジットハブ」をどのように考えるか ② 上郷地籍の国道153号について ア 現在の状況を、どのように見ているか イ 駅設置による交通量の増加を、どの程度と推測するか ウ 地元の意向をどのようにして把握しているか エ バイパス建設が中止となった過去の経緯を踏まえて、どのように対応するか ③ スマートインターチェンジの検討について ア 現在の検討状況はどうか イ スマートインターチェンジと、国道153号を結ぶ道路については、どのように考えているか ウ 今後のスケジュールを、どのように考えるか
6	湯澤 啓次 (会派のぞみ)	1 着工目前となったリニア中央新幹線への取組について (1) J R 東海が事業認可を受けた後、市はどのように対応していくか (2) 社会基盤整備について ① リニア駅周辺整備の検討状況は ② 個性的で魅力ある駅周辺とするための基本的な考えは ③ 駅を拠点とした公共交通の検討は ④ スマート I C、アクセス道路の見通しは (3) 住民の理解、協力を得て取り組むためには ① 市民が切望する情報提供にどう応えるか ② 影響を受ける地権者、住民への丁寧な対応は ③ 現場事務所の考えは (4) ブランディング事業の今後の展開は 2 10年目を迎える産業経済部における現場主義導入の検証について (1) 現場主義はなぜ導入されたか ① 市の考える現場主義、合同・現場事務所とは何か ② 不断の現状分析、検証をしているか ③ 職員の意識はどう変わったか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	湯澤 啓次	ア 課題を見つける力、政策立案力は向上したか ④ 市民、関係団体との連携は強化されたか ⑤ 広域連携、県との連携に現場主義は生かされているか (2) 現場主義導入効果と課題は何か ① 現場主義、合同・現場事務所の役割について ア 農業課ではどうか 農業振興の課題に対し合同事務所はどう機能しているか イ 工業課ではどうか 南信州飯田産業センターを拡大強化する考えは ウ 商業・金融分野での合同事務所はどう機能しているか エ 観光課ではどうか リニア・三遠南信時代の観光政策においての役割は ② 合同・現場事務所の今後について市はどう考えるか (3) 今後の市政に生かすために現場主義導入10年を節目に関係団体等と総括的検証を行い「白書」で示す考えは
7	清水 可晴 (市民パワー)	1 環境変化に対応する今後の集落営農について (1) 集落営農の現状と課題は (2) 農地の利用集積の現状と課題は (3) 農山漁村再生可能エネルギー法の制定に伴う飯田市計画の策定は ① 農地等への太陽光発電を誘導するための計画策定は ② 再生可能エネルギーの支援策の現状と今後は (4) リニア等環境が変化すると思われる中で農業振興地域整備計画の今後の考え方は 2 定住促進策と人材誘導について (1) U・I ターン対策等人材誘導の取り組み状況は (2) ふるさと回帰支援センターへ加盟する考えは
8	湊猛 (会派のぞみ)	1 空き家対策の推進について (1) 飯田市における空き家の現状は (2) 空き家対策として予防から跡地の活用まで総合的に進める考え方は (3) 空き家の利活用をどう進めるか (4) 今後空き家に対する所有者、行政等の責務と必要な措置をどう考え条例に反映させるか 2 中山間地域の若者定住対策について (1) 上村地区・南信濃地区の市政懇談会において行われた若者会議のメンバーによる今までの活動報告、アンケート調査の結果及び提言等の発表をどう捉えるか (2) 地域発展には若者定住が大切であるが、環境整備・社会基盤整備・雇用についてどう取り組むか (3) 南信濃地域において子どもの居場所づくり（児童クラブ等）の設置の声が大きくなっているが検討は (4) 若者定住に向けて今後の方向性は
9	竹村 圭史 (会派のぞみ)	1 市営駐車場について (1) 市営駐車場の目的は何か (2) 1 時間無料としている現在の状況についての評価は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	竹村 圭史	(3) 飯田市と同じような地域特性で人口等も同規模な自治体における駐車場運営について比較したことは (4) 駐車利用台数の向上に加え収益を向上させることも大切であるが、近年の実績と傾向及びこのことに対する考え方は (5) JR飯田線の利用向上及びリニア駅に目を向けた時に、パークアンドライドについて市長の考えは (6) 今後パークアンドライドを推進していくことは重要な取り組みと考えるが、駐車場により課金方法を変える考えは 2 河川・排水路の改修について (1) 安心・安全に暮らすことのできる街づくりの一つとして、河川・排水路の改修促進は重要な取り組みと考えるが市長の考えは (2) 台風やゲリラ豪雨をはじめ近年は短時間に大量の雨が降る傾向にあるが、昨年の台風18号被害により河川・排水路管理に与えた影響は何かあるか (3) 河川・排水路の排水能力向上に対する基本的な考え方は (4) 三遠南信自動車道や主要道路の整備が進む中、周辺域下流側における今後の河川・排水路改修計画の考え方は
10	小倉 高広 (日本共産党)	1 橋梁の長寿命化について (1) 全国の道路橋の現状はどうなっているか ① 補修が必要な橋（15m以上）の数のうち未補修の橋の数は ② 市町村での数と未補修率は ③ 通行規制の橋の増減は ④ 建設後50年以上経った橋の増減は (2) 飯田市の橋のうち野底川にかかる橋の現状はどうなっているか ① 20の橋の竣工年月日は ② 補修が必要だと考えられる主な橋の現状は (3) 飯田市全体の橋梁の長寿命化修繕計画は ① 橋の数と未補修の橋の数は ② 50年以上経過した橋の数の今後の増加数及び割合は ③ 修繕計画及び予算は (4) 今後の課題はどうか ① 国道、県道に架かる橋の補修を優先すべきだと考えるがどうか ② 50年後、100年後の対応はどうか 2 国民健康保険の改正について (1) これまでの改正の市民への影響はどうか ① 所得階層別世帯数の5年間の推移は ア 100万円を超え200万円以下は イ 100万円以下は ② 10年間の市民の保険税の増税額は ア 主45歳、妻42歳、子15歳、子10歳の総所得180万円の世帯の場合はどうか イ アと同世帯で総所得350万円の場合はどうか ③ 保険税の滞納者数及び差し押さえ件数の5年間の推移は (2) 「基準外繰り入れルール」を見直すべきだと考えるがどうか ① 「基準外繰り入れルール」が導入された経緯は ② リーマンショック以降の地域経済の回復は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	小倉 高広	③ 「基準外繰り入れルール」は二重に一般会計からの繰り入れを制限していると考えerかどうか ④ 「基準外繰り入れルール」を廃止し、繰入額は、その時の経済状況、市及び国民健康保険の財政状況を勘案して決めるべきだと考えるかどうか
11	村松 まり子 (公明党)	1 人口減少と我が地域の将来について (1) 本市の人口減少による影響をどのように予測・認識し、その対応についてどのように考えているか (2) 女性が活躍できる地域社会構築へのビジョンは (3) 青年が地域に定着し活躍するために行政が取り組むべき課題は 2 市民総幸福度の取組について (1) 市民総幸福度向上のための指標づくりの取組について市の見解は (2) 住民の幸福度実感向上を目指す基礎自治体連合「幸せリーグ」に加入することへの考えは 3 認知症対策について (1) 認知症高齢者の実態と今後の推移は (2) 早期からの認知症サポート体制の取組は (3) 「若年性認知症」患者・家族へのサポート体制は
12	木下 容子 (市民パワー)	1 多発する特殊詐欺被害防止対策について (1) 長野県知事により、「特殊詐欺非常事態宣言」が発令されたことへの受け止めはどうか ① 県警本部長でなく、長野県知事が発令した点をどう考えるか (2) 特殊詐欺被害の実態はどうか (3) 未然防止策は ① 市民への啓発をどう行うか ② 飯田警察署、金融機関、商工会議所や各種団体等との連携はどうか ③ 広域連合での連携についてはどう考えるか ④ 他の市町村の取り組みが参考にならないか 2 商店街の活性化について (1) 特色ある事業を活かした取り組み支援をできないか ① 商店街の連携によるイベント支援は考えられないか ② 後継者確保への取り組み支援は (2) 高齢者に対応した商店街支援について ① 買い物困難者に対する取り組みは ② 元気な高齢者に依頼してのボランティア活動は (3) 商店街のやる気をさらに引き出す支援は
13	古川 仁 (日本共産党)	1 飯田市の介護保険制度について (1) 飯田市の介護保険の運営状況について ① 平成26年度の運営状況はどうか ② 27年度以降制度が変わるが、検討の状況はどうか ③ 介護保険料の設定の仕方はどうなっているか ④ 介護保険の運営を持続可能なものとしていくためには何が必要と考えるか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	古川 仁	2 飯田市の子育て支援について (1) 子ども・子育て支援新制度の対応について ① 新制度に向けての進捗状況は ② 保育園・幼稚園について - ア 現在の種類と数は - イ 新制度でどう変わるか - ウ 待機児童の状況は ③ 新制度で保育料の設定はどうか ④ 入園前に、保育の必要性和必要量（時間）の認定を受けると聞いたがどうなっているか ⑤ 新制度の実施で予想される課題は何か
14	永井 一英 (公明党)	1 住宅政策について (1) 飯田市における住宅事情はどうなったか（平成19年第3回定例会における議論を踏まえて） ① 住宅ストックと世帯数の関係はどうか ② 市営住宅に入居を希望する市民の状況はどうか ③ 高齢者世帯、子育て世帯の住宅事情はどうか (2) 高齢者世帯への住宅政策について ① 県は、高齢者の居住の安定確保に関する法律を受けて「長野県高齢者居住安定確保計画」を策定している。市は、今後一層高齢化が進むことを見据えて、どのように現状を分析しどのように対応しようとしているか ② 地域包括ケアシステムの構築を進める上で、サービス付き高齢者向け住宅が注目されていると聞く。どのようなものか。また、飯田市における現状は (3) 市は、超高齢少子社会の到来に当たって、子育て世帯への住宅政策についてどう考えているか (4) 市は、超高齢少子社会の到来に当たって、公営住宅の今後のあり方についてどう考えているか (5) 新たな生活困窮者自立支援制度が、平成27年4月からスタートすると聞く。生活困窮者に対する住居確保の取組みについて、市はどう考えているか (6) 飯田市においても世帯数が減少する段階に入るのではないと思う。今後は、更に空き家の数が増加すると予想されるが、市はどのような対応策を考えているか
15	後藤 莊一 (日本共産党)	1 教育委員会制度の「改革」について (1) 新「教育長」について ① 新「教育長」は、大きな権限と責任を有するようになるが、教育委員会の意思決定に基づき事務をつかさどることに変わりはないとされている。このことを飯田市教育委員会としてどう保証するか (2) 教育委員会の透明化について ① 会議録の公表は十分か、また傍聴は保証されているか ② 国は、アンケートや公聴会、意見交換会の開催などを促しているが飯田市教育委員会としてはどうか ③ 教育委員会自ら活動状況の点検及び評価を行うようになっているが、実施しているか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	後藤 荘一	(3) いわゆる教育の振興に関する大綱の策定について ① 教育振興基本計画との整合は図るか ② 国の教育振興基本計画の基本的な方針を参酌して定めるとあるが、どう考えるか (4) 総合教育会議について ① 教育委員会としては、総合教育会議の決定を優先するか (5) 現教育長と委員長の任期はどうするか 2 全国学力・学習状況調査（全国学テ）について (1) 学力テストのための授業になっていないか (2) 小中連携・一貫教育の成果とされているようだが、その理由は 3 職業体験について (1) 自衛隊松本駐屯地へ体験に行っている生徒がいるようだが、その経過と理由は (2) かつて青少年義勇軍を多く送り出し犠牲を出した反省からいって間違っていると思わないか 4 自衛隊の「18歳」情報収集に関する報道について (1) 飯田市民の満「18歳」となる適齢者の名簿を自衛隊に提供しているという報道があったが、提供の理由は (2) 個人情報保護法や、住民基本台帳法に抵触しないか
16	山崎 昌伸 (無会派)	1 ラウンドアバウトについて (1) ラウンドアバウト導入のメリット・デメリットは ① 交通事故の発生状況はどうか ② 交通事故以外の面においてはどうか (2) 改正道路交通法の内容は ① どのように衆知していくか (3) 今後の展開をどう考えているか ① サミット開催後の他地区への拡がりはどうか ② 当地域においてはどうか ③ まちづくりにどう生かすか 2 事務事業実績評価について (1) 事務事業評価は、次年度以降の事業展開に生かされているか ① 事務事業評価の目的は何か ② 主管する部署内において、事務事業評価はどのように行われているか ア 昨年と今年で異なる点は ③ 次年度以降の事業展開に生かされにくいと思われる評価表が散見されるが、どう考えるか ④ 今後の取組に対する考え方は
17	清水 勇 (会派のぞみ)	1 飯田市地域防災計画について (1) 災害発生時における活動体制はどのような計画になっているか ① 予報・警報の種類及び発表基準と、予報、警報に対する、まちづくり委員会・消防団の対応はどうか ② まちづくり委員会、消防団との連携について対応のマニュアル化されているか ③ 障害物処理における、建設業協会・建設業クラブ・中電・NTTとの対応はどうか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	清水 勇	(2) 災害に強いまちづくりの現状と課題をどのように考えているか ① 各地区の危険地帯の把握はできているか ② 広島の実害状況から、飯田市の防災をどう捉え、今後どのように活かしていくか ③ 警戒区域の見直し、検討を考えているか 2 今後の大型事業について (1) 今後計画している大型事業と財政運営をどのように考えているか ① 大型施設の新築・改築・維持の計画はどうか
18	木下 克志 (会派のぞみ)	1 観光施策について (1) 飯田市が目指す観光像とは何か ① 長野県観光利用者統計（県観光部まとめ）を次年度にどう活かしているか ② 観光地連携の構築は ③ 郷土ソングの売り込みは ④ 花のあるまちづくりは ⑤ 食とグルメは (2) 天龍峡再生について ① 再生に向けて現状の問題点は何か ② 天龍峡大橋添架歩廊は (3) まちなかの活性化と誘客について ① 庁内連携は ② まちなかの何を见せたいのか、その戦略はできているか ア 誘客のための物語化はどうか イ 愛宕蔵の活用方法は ウ いにしえの産業資料館は エ トロッコ観光は
19	森本 政人 (市民パワー)	1 環境文化都市について (1) 環境自治体について ① 「私たちは環境自治体として地域の特性を生かし環境に配慮したまちづくりを進めています」とした、平成16年5月28日第12回環境自治体会議「いいだ宣言」の継承について、市長が継承した思いはどのようなものか ② 我が国は再生可能エネルギーのポテンシャルはドイツ以上にあり、上に利用技術も持ち合わせている、との指摘がある。市長は実際ドイツで仕事をされていたこともあり、この点に関してはどうか (2) 持続可能な社会づくりについて ① 石油化学文明の急速な拡大による石油化学製品の氾濫とプラスチック廃棄物の利用についてどう考えるか ② その他小型家電廃棄物、そして将来的には更にソーラーパネル廃棄物の山が発生することが予想されるが、これらを資源として活用することについて考えはあるか ③ 自動車廃棄物は資源の宝庫と言われるが、この地域で資源として活用する考えはあるか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	森本 政人	(3) 「混ぜればごみ分ければ資源」といったことが見えてくると思うが、この考えを環境文化都市として経世済民につなげる構想はあるか (4) リサイクル産業集積地を作る構想はあるか 2 学校用務員について (1) 学校環境整備について ① 用務員一人体制実施後、見えてきた課題は 3 交流拠点づくりについて (1) 天龍峡における観光拠点づくりについて ① J R 飯田線をどのように組み込むか ② サイクルトレイン構想はあるか ③ 川村カネトの果たした役割は大きいと思うが、どう捉えているか
20	木下 徳康 (会派のぞみ)	1 高齢者医療・介護について (1) 介護保険制度の改正の内容について ① 改正の内容の概要はどうか ア 成立した法律は介護保険制度の改正のみならず、医療法なども含むようだが概要は イ 介護保険法に関する「地域包括ケアシステムの構築と費用負担の公平化」とは ② 国のこの改正の意図は ア 国のこの改正が必要な理由をどう考えるか イ この法律は市民にどのようなことを期待しているか (2) 飯田市の取り組みについて ① 法律では平成27年度から3年間の猶予をもち開始することになっているが施行時期はいつか ② 検討の進捗状況はどうか ③ 地域や65歳以上の元気な方に対する期待は ④ 住所地特例の範囲が拡大されるところだが、それはどのようなことか 2 環境施策について (1) 不法投棄対策の状況はどうか ① 「飯田市ポイ捨て等防止及び環境美化を推進する市民 条例」がこの4月に施行されたが、施行から今日までの効果と課題はどうか ② 今後の取り組みはどうか

④第4回定例会代表質問通告表

平成26年12月4日・5日

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
1	清水 勇 (会派のぞみ)	1 市長の市政経営について (1) 平成26年年頭所感で持続可能な地域づくりに求められる事業構想を掲げたが、今年度の取り組みはどうであったか (2) 平成26年度の市政経営、5つの基本方針にそった取り組みの成果と課題はどうであったか (3) 今年度の飯田市の景気をどう捉えているか、来年度の見通しは (4) 牧野市政になって10年が経つが、3期目後半に向けての基本的な構想は 2 平成27年度予算編成について (1) 予算編成の基本的方針と重点項目をどう考えるか (2) 歳入について、市税収入の見通しと、交付税・補助金等の動向は (3) 財政規模と、市債をどう考えているか (4) 今後の大型事業の計画と、公共施設マネジメント基本方針の具体的な取り組みは 3 産業振興について (1) 工業用地の確保と企業誘致について及び起業家支援策・地域産業の育成支援の現状と今後の取り組みは (2) 観光誘客など交流人口を増やすことについて現状と今後の取り組みは (3) 農・工・商が連携した6次産業への支援策と、農産物加工品ブランド化に向けた現状と今後の取り組みは (4) 地元産材の個人住宅、市営住宅等への利活用の考えは 4 教育について (1) 小中連携・一貫教育の取り組みの成果はどうか。また、幼保小連携の考えは (2) 小中学校におけるキャリア教育及びリニア中央新幹線を題材とした教育についての考えは 5 子育て・医療・福祉について (1) 子どもを産み育てやすい環境の充実について ① 未満児保育への対応など子育て支援制度の取り組みは (2) 少子化対策の具体的取り組みはどうか (3) 救命救急センターと新周産期センターの状況及び医師・看護師確保の考え方は (4) 市立病院と周辺医療機関との連携及び中山間地域における診療所の状況はどうか (5) 次期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定に向け、高齢者福祉施設に対する将来像をどのように考えているか 6 危機管理について (1) 台風・豪雨災害・雪害等の対応と各地域の避難施設の安全状況をどう把握しているか (2) 各地域自治体の地域防災計画と自主防災組織の対応をどう進めるか (3) 消防団の人員確保の支援、資機材の整備状況は 7 自然・環境について (1) 第2次環境モデル都市行動計画（H26～H30）に基づく省エネ・創エネの推進状況は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	清水 勇	(2) 地域公共再生可能エネルギー活用事業の取り組み状況は (3) 南アルプスジオパーク・エコパークの利活用についての考えは 8 多様性に富んだ暮らしと文化を次世代に継承する地域づくりについて (1) リニア駅周辺整備基本構想は今年度発表されるが、具体的取り組みに対する考えは (2) 三遠南信自動車道各インターとのアクセス道とリニア駅とのアクセスの考え方は (3) 学輪 I I D A の取り組みを地域活動に今後どのように活かすか。また、大学院大学の取り組みと検証後の方向性についてはどうか (4) 飯田古墳群・座光寺周辺など地域資産である史跡活用に向けた取り組みは 9 地域課題について (1) 飯田工業高校・上村中学校後利用について具体的な取り組みと今後の方向性は (2) 現状の渋滞路線の解消と安全・安心な生活道路確保の取り組み及びゲリラ豪雨や台風等の水害対策のうえで河川、用水路の整備計画はどうか (3) 各地域自治体のリニア・三遠南信自動車道を活かしたまちづくりの進め方の考えは
2	木下 容子 (市民パワー)	1 市長の政治姿勢と市制運営について (1) 新年度における重点事業をどう考えるか (2) 第6次基本構想策定に当たっての市長の方針は ① 第6次基本構想策定期間が2年後に迫ってきたが、策定に当たり、市長の方針はどうか ② 重要施策を決定するに当たり、一般公募による市民会議を設置する考えはないか (3) 「まち・ひと・しごと創生法」制定を受けての今後の取り組みは (4) 超長期構想「環境文化都市」を目指した「環境未来都市構想」について ① 本年4月の機構改革に伴い、「環境モデル都市推進課」を設置した市長の思いは ② 第2次環境モデル都市行動計画が策定されたが、市民との協働をどう創り上げていくか 2 新年度の予算編成と今後の財政運営について (1) 突然の衆議院解散による新年度予算編成への影響はどうか (2) 長期的展望に立つての財政運営には、事業の選択と集中の視点が不可欠だと考えるがどうか (3) 公共施設の老朽化に伴い、維持管理費用の増大が懸念される。今後の方針はどうか ① 特に、住民生活に密接に関係する地区公民館や小中学校の現状と見通しはどうか 3 リニア中央新幹線の取り組みについて (1) 着工に向けてのリニア元年ともいえる年を迎えるに当たり、市長の思いはどうか ① J R 東海の工事実施計画（その1）が国の認可を受けたが、今後の対応は ② 市民の理解を得て、協働で取り組むための対応は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	木下 容子	(2) 社会基盤整備に対する考えは ① 駅舎や駅周辺整備に対する考えは ② トランジットハブとしての機能についての考えは ③ 中央自動車道、J R飯田線等へのアクセスは ④ スマートインターチェンジ検討の進捗状況は (3) 県・国との役割分担、周辺町村との連帯意識をいかに醸成していく 4 定住促進と人材誘導の取り組みについて (1) U・I・Jターンの取り組みの現状について (2) 「ふるさと回帰支援センター」の活動をどう評価し、どう活用していくか (3) 人材受け入れのためには何が必要か 5 三遠南信連携と地域活性化策について (1) 三遠南信連携の一環として、長野県のアンテナショップを浜松市に設置するよう、県に働きかける考えはないか (2) 第2期中心市街地活性化基本計画を進めるに当たって、「拠点」の考え方は (3) 足元の資源の活用策は何か 6 保健・医療・福祉・介護の充実について (1) 第6期介護保険事業計画について ① 介護保険制度の改正により、介護予防事業はどのように展開されるか ② 保健・医療・福祉・介護の分野における連携について、どう考えるか ③ 特別養護老人ホーム飯田荘の改修の見直しは (2) 飯田市立病院の第3次整備計画終了により、地域医療推進のために、市立病院が果たす役割は何か ① 救命救急センターとして ② 周産期センターとして ③ 地域がん連携診療拠点病院として ④ 災害拠点病院として (3) 病々連携・病診連携の推進について (4) 「生活困窮者自立支援法」スタートに向けての今後の取り組みは ① 「信州パーソナルサポートモデル事業」の実績を活かした取り組みの継承は ② 関係機関による連携について 7 人づくり教育について (1) 小中連携・一貫教育から見てきた成果と課題は何か (2) メディアが子どもに与える影響をどう把握しているか (3) 子どもの身体的能力の劣化が進んでいるが、この事実をどう捉えているか (4) 平和教育の推進について ① 高齢化により、語り部の減少について、どう対応していくか ② 戦争関係資料の保管場所の確保をどのように考えているか 8 暮らしと生命を守る安全安心なまちづくりについて (1) 昨今の自然災害の発生に対し、どのように取り組んでいくか ① 記録的な大雪を想定した対策の見直しは ② 土砂災害に対する防災対策は ③ 地域の自主防災会との協働での対応策は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
3	後藤 莊一 (日本共産党)	1 市長の政治姿勢と新年度予算編成について (1) 市長の政治姿勢について ① 市長のこれまでの市政運営は自己評価すると、どうであったか ② アベノミクスにより、格差の拡大、貧困・低所得者の拡大が進んだが、どうみるか ③ 安倍政権の集団的自衛権行使容認などの安全保障政策をどうみるか ④ 人口減少時代のまちづくりをどうするか (2) 来年度の予算編成について ① 福祉・医療について ア 第6期介護保険事業計画では、第1号被保険者の保険料はどうか イ 消費税増税等で生活保護受給者や、年金生活者、低所得者の生活は困難になっているが、この冬に「福祉灯油」支給の考えは ウ 子ども・子育て支援法施行に伴い、市の責任はどう変わる エ 国民健康保険の広域化が進められていると聞くが、その状況は (ア) 広域化すると現在の保険料より引き上がると思うがどうか (イ) 現在取り組んでいる「地域健康ケア計画」などの独自の健康施策の効果がみえなくなると思うがどうか ② 子どもたちの健全な発達のための学校教育について ア 小中連携・一貫教育の状況は (ア) 中1ギャップの解消などは進んだか イ 学校給食の調理場について、今後の大規模改修などの方針は ウ 教育委員会が調整している職場体験で、自衛隊への職場体験は平和を守る立場から中止をすべきではないか エ 市長は「教育再生首長会議」に加入したと聞いたが、どういう組織か ③ 地域内で循環する経済の構築について ア 消費税増税対策は イ 飯田市管内の労働者の雇用や賃金の状況はどうか ウ 市内の商業の状況は エ 市内の農業の現状とこれからの見通しはどうか ④ 環境について ア 「再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例」の活用状況は (ア) 遠山地区をはじめとした小水力発電計画の進捗状況は (イ) 太陽光発電のパネルを地面に設置するところが増えてきたが、景観上の問題や、災害発生の危険性などないか ⑤ 災害対策について ア 個人住宅または民間施設の耐震化施策をどう考えるか イ 市として浜岡原発の廃炉を求めるよう各機関に働きかけるべきだがどうか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	後藤 莊一	⑥ 市民バスや乗合タクシーなど地域公共交通機関を、維持をしていくには行政の支援が必要だと思うがどうか、また、住民にとってさらに利便性が向上するような充実策の考えは (3) 来年度の財源の見通しは ① 地方財政計画での、交付税の見通しは ② 消費税増税による、税収の影響は ③ 徴税業務において、今年度の滞納整理の状況は
4	福沢 清 (会派みらい)	1 リニア推進ロードマップの柱「戦略的地域づくり」について (1) リニアに特化したまちづくり計画は (2) 「戦略的地域づくり」をどう展開していくか 2 人口減、地域縮小について (1) 定住自立圏構想の総括はどうか (2) 定住自立圏構想の今後の課題は何か (3) 若い女性の定住あるいは回帰に向けた課題は何か 3 平成27年度予算編成について (1) 地域密着型の建築職人の育成は (2) 生活と大きくかかわる道路・河川の維持補修はどうか 4 産業の自立的な発展について (1) 農業分野において6次産業化の拡大は (2) リニア開業を見越した「外から人を呼びこめる」JR飯田線の活用による観光施策は 5 地育力向上をめざした人づくりについて (1) 高校と飯田市の協定を活かした地域人教育は 6 健やかに安心して暮らせるまちづくりについて (1) 婚活事業を効果的に進めるには (2) 地域福祉計画の策定は (3) 地区防災計画の策定指針は (4) 空き家バンクの創設はどうか 7 ポイ捨て条例について (1) ポイ捨て条例の現状は (2) ポイ捨て条例の今後の課題は 8 地域の自然・文化を活かすまちづくりについて (1) 地域資源を地域のブランドとして「登録制度」を設けたらどうか 9 中心市街地活性化計画について (1) 計画にかかわる事業の進め方は (2) 事業推進にむけ、周辺地区の参加を促すことはどうか 10 地域自治組織と地域の仕組みについて (1) 地域協議会のあり方はどうか (2) 旧市5地区の自治振興センターのあり方はどうか 11 財政運営について (1) 公共施設マネジメントをわかりやすくするための「公共施設白書」の策定は (2) 地方公会計制度の今後はどうか (3) 当初の目的を果たした市所有資産の売却計画はどうか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
5	永井 一英 (公明党)	1 市長の政治姿勢・市政経営と予算編成について (1) 消費増税の延期は、市の新年度予算編成に当たって、子育て、医療、介護の充実などの社会保障の充実にとってどのような影響を与えるか (2) 公会計制度と公共施設マネジメントについて ① 国は「今後の新地方公会計の推進に関する研究会」において議論を進め、今年の5月に、今後の地方公会計の整備促進について方向性を出したと聞く。市の対応と課題は ② 老朽化して使用していない市や県の公共施設について、解体・撤去してほしいとの要望が市民から寄せられる。今年の3月総務省は、解体・撤去費用に財源として地方債の発行を認める新制度を創設したと聞くが、市の対応は (3) 「地方創生」について ① 国を挙げて地方創生が叫ばれている。市長はどのように考え、どう取り組むか (4) 市は旅券事務を受託すると聞く。地方分権改革の流れの中での取り組みか。また、地方分権改革に対する市長の考え方は 2 リニア・三遠南信時代を見据えた魅力あるまちづくりについて (1) 今年の4月に、佐久市が人口10万人を割ったと聞く。かつて市は、10万都市構想を掲げてまちづくりを進めてきた。市長は、10万都市についてどのような考えを持っているか (2) リニア将来ビジョンにおける対外的に目指す地域像「小さな世界都市」について、市長が抱くイメージ、捉え方は (3) 「飯田市観光振興ビジョン」の素案について ① 圧倒的に移動時間が短縮されるリニア中央新幹線、あるいは三遠南信自動車道開通後の観光の将来像をどのように描いたか。また、リニア時代を担う若い人の意見を聴き、取り入れたというがどのような点か ② 観光の将来像を実現するまでの課題は何か 3 人材サイクルの要となる産業政策について (1) 人材サイクルの創出にとって、飯伊地域に雇用を生み出すこと、そのためには、既存の企業が元気になり新たな企業の誘致を進めることが重要となる。企業誘致は、南信州地域産業活性化基本計画に基づいて3分野における集積を目指した誘致活動を行っているという。リニア時代を見据えた取り組みだと思うが、現状はどうか。また、新年度に向けた展望は (2) 平成25年4月から、飯田メディカルバイオクラスターの取り組みがスタートしていると聞く。その概要と現状、そして新年度への展望は (3) 今年の8月に開催された森林・林業・林産業活性化促進議員連盟長野県連絡会議の研修会において、長野県林務部県産材利用推進室から、最近の木材を巡る情勢が変化し林業が転換期を迎えているとの話を聞いた。飯田下伊那地域においてはどうか 4 これからの保健・医療・介護・福祉・子育て支援のあり方について (1) 国は、超高齢少子社会を見据えて地域包括ケアシステムを構築しようと考えている。飯田市においても必要だと考えるがどうか。また、飯田市において構築しようとした場合の課題は何か

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	永井 一英	(2) 年齢を問わずこころの健康を損ねる人が増えている。市はどのように認識しているか。また、新年度に向けての課題とその対応策は (3) 次世代育成支援飯田市行動計画（新すくすくプラン後期計画）は、平成26年度をもって計画期間が満了する。一方、子ども・子育て支援法により、子ども・子育て支援事業計画の策定が市にも義務付けられる。前計画を評価・検証した上で、どのように新規計画に結び付けるか 5 超長期的な目指す都市像・環境文化都市の具現化に向けて (1) 飯田市環境基本計画における施策指標、環境モデル都市行動計画における削減目標を踏まえて、温室効果ガスの排出量と廃棄物の減量の推移はどうなっているか (2) 第1次飯田市環境モデル都市行動計画に基づく市の取り組みについて、国のワーキンググループによる評価はどうであったか。また、市の認識と今後の課題は 6 子どもの幸福を実現する教育行政について (1) 平成27年4月から施行される教育委員会制度の見直しは、まず教育委員会を政治的に中立な教育行政の執行機関と位置付け、教職員人事なども専権事項であると確認した上で常勤の新「教育長」を教育行政の責任者と位置付けた。さらに、新教育長の任命・罷免を首長が行うことで、任命責任が首長にあることも明確になったと認識している。飯田市教育委員会の見解は (2) 飯田市奨学金について、返還月額を収入に応じて柔軟に設定する所得連動返還型奨学金としてはどうか

⑤ 第4回定例会代表質問関連質問通告表

平成26年12月4日

No.	質 問 者	通 告 内 容
1	湯澤 啓次 (会派のぞみ)	1 「8 多様性に富んだ暮らしと文化を次世代に継承する地域づくりについて (1) リニア駅周辺整備基本構想は今年度発表されるが、具体的取り組みに対する考えは 及び (2) 三遠南信自動車道各インターとのアクセス道とリニア駅とのアクセスの考え方は」 に関連して リニア中央新幹線事業説明会を経て見えてきた課題は何か、今後の市の取り組みは (2) 「中心市街地近接型駅」としてのリニア長野県駅の特徴と機能は (3) リニア駅アクセス道路と飯田市道路網整備との関連は (4) 発生土の利活用に対する市の具体的考えは
2	森本 政人 (市民パワー)	1 「7 人づくり教育について (2) メディアが子どもに与える影響をどう把握しているか 及び (3) 子どもの身体的能力の劣化が進んでいるが、この事実をどう捉えているか」 に関連して (1) 18年ほど前に「メディア・リテラシーの向上」が国レベルから提言されているが、当市として子どものメディア接触と心身の発達に関して実態調査等したことがあるか とりわけ長年続けてきた「視力検査」からメディアとの関連に気付いたことは (2) 子どもたちの体力・学力低下及び発達障害とメディアとの関係を心配する声が聞かれるが、このことについてどう考えているか (3) 本年の県青少年健全育成県民大会において「ノーネットデイ」を提唱している。当市として具体策を考えているか
3	古川 仁 (日本共産党)	1 「1 市長の政治姿勢と新年度予算編成について (2) 来年度の予算編成について ①福祉・医療について ア 第6期介護保険事業計画では、第1号被保険者の保険料はどうか」に関連して (1) 来年4月から介護保険制度が変わるが、介護保険制度を利用する場合、市の窓口の対応など、どの様になるか (2) 新しい総合事業の導入にあたり、生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の配置や、協議体の設置などあるがどのようなものか (3) 新しい総合事業の事業費について
4	原 和世 (会派みらい)	1 「1 リニア推進ロードマップの柱「戦略的地域づくり」について」に関連して (1) 戦略的地域づくりと事業構想大学院大学の関連は (2) 産業づくりにおける多様性は

⑥ 第4回定例会一般質問通告表（一問一答方式）

平成26年12月5日・8日

No.	氏 名	
1	清水 可晴 (市民パワー)	1 公契約条例制定のプロセスと入札制度改革について (1) 公契約条例制定の市長の姿勢とトップランナーを走る決意は (2) 公契約条例制定のプロセスは (3) 実効ある公契約条例とするためには ① 公契約の範囲と予定価格の考え方は ② 労務報酬下限額の設定は ③ 受注者の責務をどう考えるか (4) 公契約条例制定と入札制度改革との関連は ① 総合評価落札方式の本格実施の見通しは ② 障がい者雇用を促進するための入札制度改革は 2 定住促進策と行財政改革大綱について (1) 公立保育園の民営化方針は ① 定住促進を図るために、全ての公立保育園を民営化する方針を転換すべきではないか ② 定住促進策として、長時間保育、未満児保育、障がい児保育を全ての公立保育園で実施すべきではないか。また、拠点集約型の現状は、子育て世代の定住に支障となっていないか ③ 公立保育園のクラス担任は正規職員で担うべきではないか (2) 介護職員、給食現場職員の退職補充は、2003年度以降正規職員では行われていないが、正規職員を採用すべきではないか ① 現場主義の一翼を担っている現場職員の業務内容をどう認識しているか ② 地域住民への質の高い公共サービスの充実を図るために、長期的な展望に立った正規職員の人員配置の必要性をどう考えているか
2	村松 まり子 (公明党)	1 安心して子どもを産み育てられる環境整備について (1) 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援体制の構築について ① 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援についての見解は ② フィンランドの母子支援制度ネウボラ（地域の拠点で出産前の健診から子どもが就学するまでのすべての相談・援助機関）についての認識は ③ 「飯田版ネウボラ」を実施してはどうか ④ 男性の育児参画の状況は (2) 男性の不妊検査費用への助成の考えは
3	木下 徳康 (会派のぞみ)	1 「自転車のまち飯田」について (1) 自転車市民共同利用システムについて ① 自転車市民共同利用システムにおける利用状況は ア 貸出回数・走行距離状況はどうか イ 現在の利用状況をどう判断するか ② 今後、この事業についてはどのような方向性を持っているか (2) 自転車による誘客事業について ① 事業の状況はどうか ② 今後の事業の進め方をどう考えているか

No.	氏 名	
4	新井 信一郎 (会派のぞみ)	1 リニア新時代を迎える小さな世界都市 飯田にある「人形劇のまち」から派生するサブカルチャーの展開について (1) 現在飯田市で把握しているサブカルチャーには、どのようなものがあるか (2) 丘のまちフェスティバル、その前夜祭としてリニア未来シンポジウムSPが開催され『リニア開通後、飯田市が世界から注目を集めるには、新しい文化を理解し合う関係性の上に、人が集まる「楽しい」を創ること、また、消費だけではなく、創造こそが必要』との、パネリストからの提言について ① 「新しい文化の理解」は ア 世代間のギャップ解消などを目的とした特色のある課等の設置についてどう考えるか ② 「人が集まる」ための手段は ア JR飯田線を使い三遠南信圏域や伊那谷から誘客できるサブカル コミュニティー列車等運行はできないか イ 初音ミクを飯田市の観光大使にできないか ③ 「楽しい」その創造は ア 市民の手により、初音ミクの様なボーカロイドをプロデュースできる環境整備の考えは イ 斬新かつローカルな食文化への考えは ウ ふるさと納税への考えは 2 地方創生法が成立した。それに対する飯田市の方針について (1) 人口減少時代に飯田市の財源確保と住民サービスの提供をどうするか ① 27年度末に5年後を目途とした総合戦略を示す必要があるが、その骨格を市はどう示すか ② 各まちづくり協議会や委員会に対し、地区の特色を活かすための、飯田市版の地域創生はできないか 3 IR（総合型観光リゾート）に対する飯田市の考えは (1) リニア中央新幹線を活用した山岳リゾート参入への取り組みは考えられないか 4 マイナンバー制度を活用した行政システム統合による、市役所業務の効率化（経費削減）について (1) マイナンバー制度への準備進捗状況は (2) 制度移行後のメリットは (3) 新制度を利用した住民サービスをどう考えるか (4) 民間活力を導入し、さらなる市役所業務の効率化を推進するべきと考えるがどうか (5) 一自治体でのシステム導入・運用では経費は多くかかる。そこで広域的に他の自治体とシステム統合（クラウド化）を図り、経費削減と利用者サービス拡充の考えはないか
5	小倉 高広 (日本共産党)	1 リニア中央新幹線について (1) リニア工事計画にのぞむ市の基本姿勢は ① JR東海の計画と住民の要望が対立したとき市はどのような立場に立つか ② 工事着手には住民の合意が必要だと考えるがどうか (2) 住民の不安と懸念を緩和するための市の対策は

No.	氏 名	
	小倉 高広	① 市は一人ひとりの住民の不安に耳を傾けるべきだと思うがどう ② 「社会環境調査」を行うべきだと思うがどう ③ 移転の対象となる方々の土地あっせんをどうするか ア 市としてあっせんを行うか イ 行くとすればその時期、体制、方法は ウ 集団移転を行う考えはあるか ④ 残土処分の候補地を公表すべきだと考えるがどう ⑤ 工事関係車両の通行による国道153号の渋滞対策は ⑥ J R 東海による日照権の補償は不十分だと考えるがどう (3) 「リニア長野県駅周辺整備」をどのように考えるか ① 駅周辺の整備は「最小限」にすべきだという上郷住民の意見があるが市はどのように考えるか ② 一日乗降客予想数6,800人は過大だと考えるがどう ③ 高架下の空間を最大限利用すべきだと考えるがどう ④ 過大な投資は、市の財政を圧迫すると思うがどう
6	山崎 昌伸 (無会派)	1 第5次基本構想基本計画推進委員会による「施策評価と事務事業評価に対する提言」について (1) この制度の目的は何か (2) 委員会からの提言をどのように受け止めているか ① 成果指標に対する提言についてどのように受け止め、どのように改善していくか ② 委員の構成に対する提言についてはどう考えるか (3) 今後の取組に対する考えは
7	熊谷 泰人 (会派のぞみ)	1 シティプロモーションとスポーツ振興について (1) シティプロモーションの取り組み状況は (2) 何をブランド化しプロモーションしていくか (3) スポーツ振興を一つのブランドとしてプロモーションしていく考えは (4) やまびこマーチや60歳以上ソフトボール大会など各種スポーツ大会で飯田を訪れてくれる人へのプロモーション活動について ① 各種スポーツ大会への県外からの参加者数は ② 県外からの参加者へのプロモーション活動の取り組みは ③ スポーツ大会に限らず、各種イベントへの県外からの参加者に対しアンケートなどによる意識調査を実施すべきでは (5) 拠点となる施設の整備について ① 文化・体育の総合施設建設の考えは 2 高齢者の健康維持・生涯スポーツ推進のための施設整備について (1) 健常な高齢者が集える施設整備の考えは (2) 空き家、遊休農地を活用した高齢者が気軽に利用できる施設の整備はどうか
8	井坪 隆 (会派みらい)	1 リニア中央新幹線への取組について (1) リニア建設工事に向けて、環境保全に対する地元への配慮を、市長はどのように認識しているか (2) 飯田市の環境基本条例、環境保全条例は、リニア本体工事に、どのような関わりを持っているか

(9) 本会議等傍聴状況 (H26)

会 期	年 月 日	傍 聴 人 数	
第 1 回定例会	平成26年 2 月26日	1	(上郷小129人)
	平成26年 3 月 6 日	142	
	平成26年 3 月 7 日	26	
	平成26年 3 月20日	0	
第 2 回定例会	平成26年 5 月30日	1	
	平成26年 6 月 9 日	6	
	平成26年 6 月10日	27	
	平成26年 6 月20日	0	
第 1 回臨時会	平成26年7月25日	0	
第 3 回定例会	平成26年 8 月26日	0	
	平成26年 9 月 4 日	8	
	平成26年 9 月 5 日	5	
	平成25年 9 月18日	0	
第 4 回定例会	平成26年11月26日	1	
	平成26年12月 4 日	2	
	平成26年12月 5 日	21	
	平成26年12月 8 日	20	
	平成26年12月18日	1	
計		261	

2 報酬その他

(1) 報酬

役 職	報酬月額	役 職	報酬月額
議 長	499,000円	市 長	876,000円
副議長	436,000円	副市長	720,000円
議 員	407,000円	教育長	624,000円
改定日	平成11年4月1日	改定日	平成21年4月1日

報酬額の改定推移

(単位：千円)

種 別 \ 改定年月日	S 61 4.1	62 4.1	63 4.1	H1 4.1	3 4.1	4 4.1	5 4.1	7 10.1	9 7.1	11 4.1
議 長	331	339	352	369	413	437	469	485	494	499
副 議 長	278	285	296	310	352	372	410	424	432	436
議 員	259	266	277	290	325	343	383	396	403	407

(2) 期末手当

6月期支給額 報酬×1.45×147.5／100

12月期支給額 報酬×1.45×162.5／100

※ 平成27年4月から平成29年3月までの間に支給される期末手当は、議長90,000円、副議長78,000円、議員72,000円をそれぞれ支給すべき額から減ずる。

(3) 費用弁償

(6)の表の規定に基づき往復の交通費のみ支給する。

(4) 研修旅費

議 員 1 人 当 り 年 額	
常 任 委 員 会	実 費
議 会 運 営 委 員 会	実 費
海 外 研 修 視 察	所要額の3／4（交付金）

(5) 政務活動費

議員1人当り年額140,000円

(6) 飯田市議員等の旅費額

(平成3年4月1日改正)

(6) 飯田市議員等の旅費額

(平成3年4月1日改正)

旅費の区分 職務の区分	車 賃		日 当	宿 泊 料		食 卓 料 一 夜 に つ き
	交通機関のある場合	交通機関のない場合 (1キロメートルにつき)		県 内	県 外	
議員、教育委員、選挙管理委員、公平委員、監査委員、農業委員、固定資産評価審査委員、選挙長	実 費	円 37	円 2,600	円 11,800	円 13,100	円 2,600

3 定期刊行物

(1) 飯田市議会だより

ア 創刊 昭和46年4月1日

イ 発行回数 年4回(4月、7月、10月及び1月(定例会終了の翌月)。このほか臨時号)

ウ 発行部数 各34,000部

エ 印刷 オフセット印刷(A4版 1回平均10ページ) 160号から表紙、裏表紙のみカラー刷り

(2) 飯田市議会要覧

ア 発行回数 年1回(例年6月発行)

イ 発行部数 150部

4 市議会会議録

(1) 各定例会及び臨時会の会議録

ア 発行回数 年4回(次回定例会の招集日までに発行)

イ 発行部数 35部

ウ 印刷 オフセット印刷(A4版)

(2) 全員協議会、常任委員会及び特別委員会の会議録

発行部数 1部

(3) 会議録検索システム

ア 平成4年第2回定例会以降の本会議、全員協議会、各委員会のデータが検索可能

イ 平成15年11月から、インターネットによる会議録検索に対応

5 議会事務局の事務分掌

(1) 庶務係

- ア 公印の管理に関すること。
- イ 文書の収受、発送及び保存に関すること。
- ウ 予算及びその経理に関すること。
- エ 議員の身分、人事、福利厚生、共済等に関すること。
- オ 議員の報酬、費用弁償等に関すること。
- カ 議長会等に関すること。
- キ 儀式及び交際に関すること。
- ク 議会関係各室の管理に関すること。
- ケ 職員の人事、服務、給与等に関すること。
- コ 議決証明等に関すること。
- サ 物品の出納保管に関すること。
- シ 議会乗用車の管理に関すること。
- ス 他の係の所管に属さない事項に関すること。

(2) 議事係

- ア 本会議に関すること。
- イ 常任委員会、特別委員会、協議会等に関すること。
- ウ 議会において行う選挙等に関すること。
- エ 公聴会、参考人等に関すること。
- オ 議案その他付議事件に関すること。
- カ 議員の出欠席に関すること。
- キ 議事日程及び諸報告に関すること。
- ク 請願及び陳情に関すること。
- ケ 会議録その他の会議記録の調製及び保管に関すること。
- コ 議会の傍聴に関すること。
- サ その他議事に関すること。

(3) 調査係

- ア 議会、委員会等から命じられた事項の調査に関すること。
- イ 市政の調査及び研究に関すること。
- ウ 各種資料の収集、整理及び発行に関すること。
- エ 議員の研修に関すること。
- オ 条例、規則等の制定及び改廃に関すること。
- カ 法令等の調査研究に関すること。
- キ 議会広報に関すること。
- ク 照会事項の回答に関すること。
- ケ 議会図書室に関すること。
- コ 視察に関すること。

飯田市議会要覧

参 考 資 料

平成27年度 飯 田 市 各 会 計 予 算 (案) の 概 要

会 計 名		予 算 額		比 較	
		27年度 (A)	26年度 (A)	(A)-(B) (C)	(C)/(B)
一 般 会 計		43,460,000	45,920,000	△ 2,460,000	△ 5.4
国民健康保険特別会計	事業勘定	11,326,900	10,034,600	1,292,300	12.9
	直診勘定	4,600	4,600	0	0.0
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計		1,238,000	1,236,100	1,900	0.2
介 護 保 険 特 別 会 計		10,498,400	10,382,100	116,300	1.1
地 方 卸 売 市 場 事 業 特 別 会 計		15,000	32,700	△ 17,700	△ 54.1
駐 車 場 事 業 特 別 会 計		69,700	73,200	△ 3,500	△ 4.8
墓 地 事 業 特 別 会 計		15,500	21,000	△ 5,500	△ 26.2
簡 易 水 道 事 業 特 別 会 計		141,900	145,900	△ 4,000	△ 2.7
下 水 道 事 業 特 別 会 計		4,343,900	4,277,700	66,200	1.5
介 護 老 人 保 健 施 設 事 業 特 別 会 計		682,400	688,300	△ 5,900	△ 0.9
上村デイサービスセンター特別会計		0	34,500	△ 34,500	△ 100.0
ケーブルテレビ放送事業特別会計		129,800	131,000	△ 1,200	△ 0.9
病 院 事 業 会 計		14,550,184	17,266,255	△ 2,716,071	△ 15.7
水 道 事 業 会 計		3,009,200	3,100,100	△ 90,900	△ 2.9
特 別 会 計 の 計		46,025,484	47,428,055	△ 1,402,571	△ 3.0
計		89,485,484	93,348,055	△ 3,862,571	△ 4.1

(単位:千円、%)

主 　　　　内 　　　　容	
	一般
保険給付費 6,818,075 後期高齢者支援金等 1,337,326 介護納付金 511,257 共同事業拠出金 2,374,668 保健事業費 82,957	国保
三穂診療所、上村歯科診療所	
後期高齢者医療広域連合納付金 1,205,030	後高
保険給付費 10,086,918 地域支援事業費 193,370	介護
卸売市場費 10,898	市場
中央、本町、飯田駅、駅西、扇町各駐車場の管理運営 64,603	駐車
霊園の管理運営 8,096 (うち西部霊園造成7,000)	墓地
遠山簡易水道の管理運営 71,410 施設整備 11,000	簡水
公共下水道事業 328,600 公共下水道排水費 263,235 松尾浄化管理センター管理費 445,176 農業集落排水事業 153,620 公債費 2,581,925	下水
施設管理費 601,630 施設事業費 80,770	老施
平成27年度から指定管理へ移行	デイ
竜東維持管理費 62,929 遠山郷維持管理費 20,591 公債費 45,044	ケテ
収益的收入 12,316,000 収益的支出 12,510,000 資本的收入 1,095,439 資本的支出 2,040,184	病院
収益的收入 2,131,400 収益的支出 1,983,700 資本的收入 248,500 資本的支出 1,025,500 (うち鉛製給水管布設替200,000 老朽管更新56,000 妙琴浄水場更新整備60,000 鼎配水池整備15,000)	水道
	特会
	計

平成27年度 一般会計 歳入 (主な内容と増減内訳)

区 分	予 算 額		(A)の 構成比	増 減	
	27年度(A)	26年度(B)		(A)-(B) (C)	(C)/(B)
1 市 税	12,898,000	12,961,400	29.7	△ 63,400	△ 0.5
2 地 方 譲 与 税	422,000	434,000	1.0	△ 12,000	△ 2.8
3 利 子 割 交 付 金	21,000	23,000	0.0	△ 2,000	△ 8.7
4 配 当 割 交 付 金	38,000	38,000	0.1	0	0.0
5 株式等譲渡所得割交付金	3,000	1,000	0.0	2,000	200.0
6 地 方 消 費 税 交 付 金	1,940,000	1,398,000	4.5	542,000	38.8
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	57,000	50,000	0.1	7,000	14.0
8 地 方 特 例 交 付 金	41,000	41,000	0.1	0	0.0
9 地 方 交 付 税	11,071,000	11,150,000	25.5	△ 79,000	△ 0.7
10 交通安全対策特別交付金	18,000	18,000	0.0	0	0.0
11 分 担 金 及 び 負 担 金	853,414	872,856	2.0	△ 19,442	△ 2.2
12 使 用 料 及 び 手 数 料	556,162	581,182	1.3	△ 25,020	△ 4.3
13 国 庫 支 出 金	4,794,358	4,987,711	11.0	△ 193,353	△ 3.9
14 県 支 出 金	2,738,490	2,511,898	6.3	226,592	9.0
15 財 産 収 入	32,371	36,573	0.1	△ 4,202	△ 11.5
16 寄 附 金	16,000	11,000	0.0	5,000	45.5
17 繰 入 金	860,681	1,341,874	2.0	△ 481,193	△ 35.9
18 繰 越 金	500,000	500,000	1.2	0	0.0
19 諸 収 入	2,341,424	2,361,906	5.4	△ 20,482	△ 0.9
20 市 債	4,258,100	6,600,600	9.8	△ 2,342,500	△ 35.5
合 計	43,460,000	45,920,000	100.0	△ 2,460,000	△ 5.4

※表示単位未満四捨五入。各項目と合計は一致しない場合がある。

単位:千円

主 内 容	増減(A)-(B)の主な内容	
市民税 5,734,000(個人 4,709,000 法人 1,025,000) 固定資産税 5,525,000 軽自動車税 269,000 市たばこ税 697,000 入湯税 4,000 都市計画税 669,000	個人現年 142,000(3.1%) 法人現年 68,000(7.1%) 固定現年 △201,000(△3.5%) 都計現年 △28,000(△4.0%)	市税
地方揮発油譲与税 124,000 自動車重量譲与税 298,000	揮発油譲与税 △2,000 重量譲与税 △10,000	地譲
		利子
		配当
		株式
		消費
		自取
		地特
普通交付税 10,221,000 特別交付税 850,000	普通交付税 △79,000	地交
		交通
民生費負担金 726,932(保育料 638,049 老人措置 61,000) 農林費分担金 60,600(非補助土地改良 60,000)	道路改良(広域連合分) 14,460 保育料 △36,653 非補助土地改良 △10,000	分負
住宅使用料 148,982 ごみ処理手数料 142,639 戸籍等手数料 48,051 休日夜間急患診療所 46,386 斎苑使用料 24,702 道路河川占用料 38,700 体育施設 13,996 文化会館 20,100 建築確認手数料 7,880 美術博物館 6,210	休日夜間急患診療所使用料 1,617 斎苑使用料 △13,850 プール使用料 △7,737 天龍峡温泉交流館使用料 △4,073	使手
負担金 民生費 3,620,368(児童手当 1,288,538 障害 819,451 生活保護 489,456 民間保育所 636,088 ひとり親家庭 139,121) 衛生費 29,700(保険基盤安定)	民間保育所負担金 211,914 公営住宅建設 101,143 社会保障・税番号制度 78,086 地域介護・福祉空間整備 30,000 天龍峡整備 21,024 生活困窮者自立支援制度 10,536 臨時福祉給付金 △279,404 道路改良 △240,143 子育て世帯臨時特例給付 △78,366 学校給食施設整備 △52,517 児童手当 △14,561	国庫
補助金 総務費 88,086(地域少子化対策 10,000 社会保障・税番号制度 78,086) 民生費 340,812(臨時福祉給付 152,921 子育て世帯臨時特例給付 54,223) 衛生費 18,664(環境保全 7,624 成人保健 7,513) 商工費 40,564(天龍峡 39,664 市街地 900) 土木費 560,552(道路 300,757 住宅 129,733 橋りょう 100,760) 消防費 15,382(消防施設 10,772 災害対策 4,610) 教育費 60,133(文化芸術振興 23,000 文化財保護 10,400)		
負担金 民生費 1,314,748(障害 395,599 児童手当 291,324 民間保育所 351,380) 衛生費 192,240(保険基盤安定)	民間保育所負担金 139,293 子育て支援対策 139,087 林道改良 36,757 統計調査 26,181 県議会議員選挙 18,307 保険基盤安定 17,990 保育料負担軽減 17,804 6次産業化 △127,271 延長保育促進 △40,548 知事選挙 △31,241 新規就農 △25,500	県費
補助金 民生費 567,666(医療給付 206,467 民間保育所 227,544 児童健全育成 44,306 障害者福祉 42,409) 農林費 289,293(農業振興 112,036 林業振興 100,514 農政対策 64,602 国土調査 7,500)		
委託金 総務費 283,011(県民税 158,620)		
財産貸付料 20,747 基金運用収入 5,584 不動産売却収入 5,061	財産貸付料 △4,101 基金運用 △203 配当金 △25	財産
ふるさと寄附金 10,000 奨学資金 6,000	ふるさと寄附金 5,000	寄附
財調 500,000 減債 185,000 公共 0 ふるさと 15,000 庁舎 116,809 過疎自立促進 19,552 地域雇用創出 18,915 財産区 5,405	減債 △38,000 公共 △200,000 ふるさと △16,706 庁舎 △149,362 菱田春草 △16,000 社会福祉施設 △51,000	繰入
		繰越
貸付金元利収入 1,716,713(商工制度資金 1,500,000 生活資金 170,000) 雑入 547,196 受託事業収入 72,965	消防団員退職報奨金 10,182 スポーツ振興 △24,039	諸入
合併特例債・・・1,649,400 庁舎 1,091,500 地域振興基金 216,100 自治振興 107,600 道路 96,800 観光 73,400 社会体育施設 47,800 公園 16,200 過疎対策事業債・・・104,900 公共交通体系 35,000 林道 29,000 道路 13,200 消防施設 13,100 自治振興 10,800 老人福祉 3,200 観光施設 600 その他・・・2,503,800 土木 567,700 教育 132,200 臨時財政対策債 1,668,000	公営住宅建設債 99,000 観光施設整備事業債 70,800 庁舎整備事業債 △806,000 学校給食事業債 △595,300 社会教育施設整備事業債 △465,800 臨時財政対策債 △394,000 道路新設改良事業債 △145,500 小学校建設事業債 △134,200	市債

平成27年度 一般会計 目的別歳出 (主な内容と増減内訳)

区 分	予 算 額		(A) の構成比	増 減	
	27年度 (A)	26年度 (B)		(A)-(B) (C)	(C)/(B)
1 議 会 費	305,175	287,782	0.7	17,393	6.0
2 総 務 費	5,203,231	6,111,471	12.0	△ 908,240	△ 14.9
3 民 生 費	14,139,168	13,851,404	32.5	287,764	2.1
4 衛 生 費	4,853,203	5,120,747	11.2	△ 267,544	△ 5.2
5 労 働 費	268,744	271,129	0.6	△ 2,385	△ 0.9
6 農 林 水 産 業 費	1,285,575	1,399,185	3.0	△ 113,610	△ 8.1
7 商 工 費	2,439,469	2,368,446	5.6	71,023	3.0
8 土 木 費	4,835,550	4,803,593	11.1	31,957	0.7
9 消 防 費	1,311,889	1,268,434	3.0	43,455	3.4
10 教 育 費	3,630,571	5,111,113	8.4	△ 1,480,542	△ 29.0
11 災 害 復 旧 費	4,300	4,300	0.0	0	0.0
12 公 債 費	4,915,525	4,982,296	11.3	△ 66,771	△ 1.3
13 諸 支 出 金	227,600	300,100	0.5	△ 72,500	△ 24.2
14 予 備 費	40,000	40,000	0.1	0	0.0
合 計	43,460,000	45,920,000	100.0	△ 2,460,000	△ 5.4

単位:千円

主 内 容	増 減 の 主 な 内 容	
議会費 305,175	議員人件費 14,396 議会一般経費 2,092	議会
庁舎整備 1,204,309 退職手当 521,910 総務一般管理 159,506 住民情報システム管理 149,657 地域振興住宅整備 113,320 地域自治支援 104,200 リニア中央新幹線飯田駅整備推進基金積立 100,000 市民バス等運行 99,038 自治振興センター管理 91,038 広域負担金91,032 課税事務委託 71,093 ケーブルテレビ特会繰出 45,100 臨時統計調査 44,025 情報管理 41,271 文書管理 41,232 賦課費 39,235	住民情報システム管理 39,369 社会保障・税番号制度 37,851 臨時統計調査 26,181 県議会議員選挙 18,307 庁内事務システム管理 13,761 自治振興センター耐震化整備 10,800 庁舎整備 △944,639 知事選挙 △31,241 リニア推進 △30,391 リニア調査 △24,277 農業委員会選挙 △14,881 電子申請届出システム管理 △8,488	総務
民間保育所運営 1,960,208 児童手当 1,851,020 介護保険特会繰出 1,510,150 後期高齢者医療関係 1,343,728 総合支援介護給付 919,884 生活保護措置 652,608 総合支援訓練等給付 604,234 児童扶養手当 405,533 養護老人ホーム措置 345,045 民間保育所施設整備 339,346 障害者医療費給付 278,104 障害児通所支援 263,460 公立保育所保育補助員雇用 242,308 子ども医療費給付 213,297 介護老人保健施設特会繰出 159,846 臨時福祉給付金給付 152,921	民間保育所施設整備 334,026 民間保育所運営(質の向上分) 262,891 総合支援訓練等給付 52,351 地域介護・福祉空間整備 30,000 介護保険特会繰出 21,689 臨時福祉給付金給付 △279,404 特別養護老人ホーム等建設補助 △119,145 公立保育所保育補助員雇用 △36,084	民生
病院事業会計負担金 890,091 病院事業会計出資金 408,039 広域負担金(焼却場) 675,703 国保特会繰出 557,302 簡易水道費 381,175 ごみ収集処理 286,657 予防接種 244,581 妊婦健診 108,796 がん検診 102,516 広域負担金(竜水園) 95,904 簡水特会繰出 92,300 最終処分場管理 67,105 休日夜間急患診療所運営 52,309 容器包装リサイクル 50,847 上村診療所運営 50,229	予防接種 43,337 保健衛生推進 16,089 がん検診 5,670 休日夜間急患診療所運営 4,776 広域負担金(焼却場) △130,597 病院事業会計出資金 △71,938 病院事業会計負担金 △39,532 国保特会繰出 △42,453 簡易水道費 △22,513 簡水特会繰出 △5,500	衛生
勤労者協調融資 170,000 勤労者福祉センター管理 44,611 労働諸費 12,819 勤労者共済会補助 11,438 人材誘導 3,310	勤労者福祉センター管理 64 雇用対策 △10,920 人材誘導 △219 労働諸費 △168	労働
林道改良・舗装 174,772 農業基盤整備資金償還補助 158,802 市単土地改良 94,000 6次産業化推進 77,729 非補助土地改良 60,000 農作物被害対策 55,713 中山間地域等直接支払 50,617 意欲ある農業者支援 36,501 農業委員会活動推進 22,377 林道管理 19,397 国土調査 18,258 森林公園一般経費 17,529 新規就農者支援 15,000 経営所得安定対策直接支払 15,000	林道改良・舗装 78,347 市単土地改良 12,000 多面的機能支払交付金 11,320 農作物被害対策 7,157 6次産業化推進 △127,271 新規就農者支援 △36,182 分収造林 △22,207 農業基盤整備資金償還補助 △16,755 非補助土地改良 △10,000 森林整備地域活動支援 △4,588	農林
中小企業金融対策 1,610,000 天龍峡整備(補助) 93,115 上村観光施設管理 54,785 産業用地整備 50,200 企業立地促進 50,000 地場産業等振興 43,200 天龍峡活性化 40,488 観光施設管理 29,334 商工会議所活動運営補助 28,119 南信濃観光施設管理 27,115	天龍峡整備(補助) 61,202 天竜峡活性化 31,002 産業用地整備 25,200 観光まつり振興 15,360 企業立地促進 △43,427 中小企業金融対策 △4,400 天龍峡温泉交流館管理 △4,397 南信濃観光施設管理 △4,237	商工
下水特会繰出 1,931,100 道路改良(補助) 574,245 道路維持補修 501,782 道路改良(単独) 316,255 公営住宅整備 296,099 橋りょう長寿命化修繕 187,948 河川改修 63,722 都市公園維持管理 63,134 住宅管理 48,860 動物園管理 46,812 河川自然災害防止 40,000 潰地登記・道路台帳補正 31,823 都市公園長寿命化対策 30,000 飯田子どもの森維持管理 28,562 県街路事業地元負担金 23,000	公営住宅整備 235,799 橋りょう長寿命化修繕 70,634 下水特会繰出 57,100 道路改良(単独) 52,594 道路維持補修 32,082 県街路事業地元負担金 18,125 橋りょう耐震整備 15,400 都市公園維持管理 13,784 街路管理 8,356 桜並木整備 6,659 道路改良(補助) △471,075 災害危険住宅移転 △4,196	土木
広域負担金(消防) 919,519 消防団運営 186,751 消防体制強化整備 79,011 災害対策一般 43,329	災害対策一般 23,794 広域負担金(消防) 17,395 消防団運営 10,089 住宅倒壊防止対策 △6,690	消防
学校給食 354,659 学校教育振興 157,217 体育施設管理 155,616 学校管理一般 143,203 公民館管理・運営 116,539 学校教育補助員等雇用 114,169 学校大規模改修 100,000 美術博物館管理 89,868 体育施設改修 84,351 学校教育補助員等雇用 81,275 学校施設改修 76,689 情報通信技術活用教育推進 67,721 特別支援教育支援 65,113 文化会館管理 47,021 図書館管理・運営 46,501	教員指導力向上 30,654 体育施設改修 26,172 非構造部材耐震化 13,064 学校外トイレ整備 10,000 竜峡共同調理場整備 △741,050 公民館等耐震化整備 △519,275 屋内運動場等整備 △179,420 菱田春草生誕地整備活用 △79,729 学校教育振興 △21,084 体育施設管理 △12,623	教育
		災害
長期債元金 4,491,871 長期債利子 421,654 一時借入金利子 2,000	長期債元金 △29,715 長期債利子 △37,056	公債
地域振興基金 227,500 学術研究振興基金 100	地域振興基金 △72,500	諸支
		予備

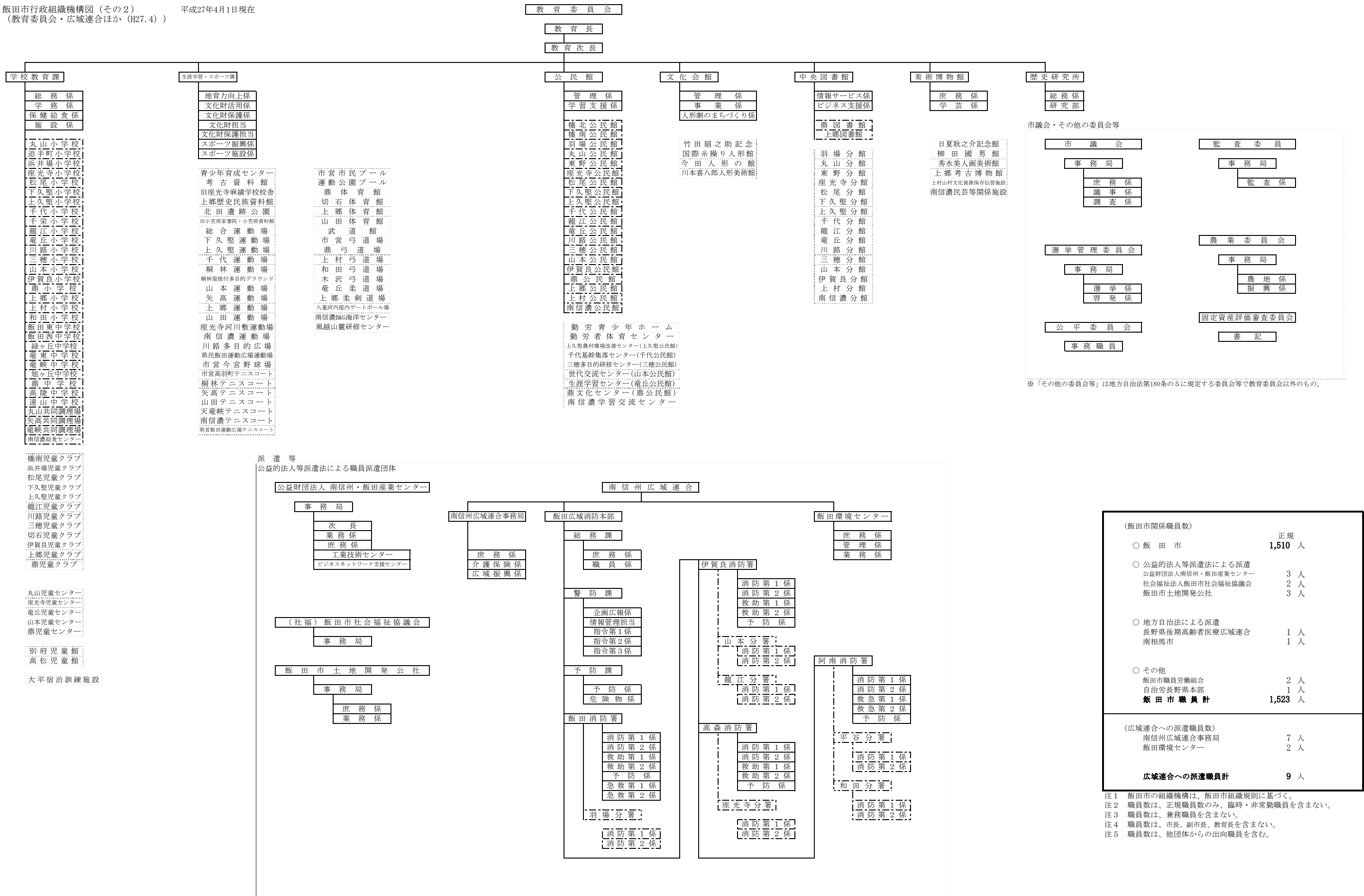
平成27年度 一般会計 性質別歳出 (主な増減内訳)

	27年度予算額		26年度予算額		増減	
	(A)	構成比	(B)	構成比	(A)-(B) (C)	(C)/(B)
1 人件費	5,978,971	13.8	6,032,947	13.1	△ 53,976	△ 0.9
2 扶助費	7,932,625	18.3	7,452,815	16.2	479,810	6.4
3 公債費	4,915,525	11.3	4,982,296	10.8	△ 66,771	△ 1.3
小計	18,827,121	43.4	18,468,058	40.1	359,063	1.9
4 物件費	5,842,706	13.4	5,562,645	12.1	280,061	5.0
5 維持補修費	623,043	1.4	546,416	1.2	76,627	14.0
6 補助費等	5,125,130	11.8	5,845,413	12.7	△ 720,283	△ 12.3
7 積立金	327,600	0.8	400,100	0.9	△ 72,500	△ 18.1
8 投資・出資金	560,785	1.3	672,273	1.5	△ 111,488	△ 16.6
9 貸付金	1,733,573	4.0	1,734,958	3.8	△ 1,385	△ 0.1
10 繰出金	5,648,368	13.0	5,598,785	12.2	49,583	0.9
11 投資的経費	4,731,674	10.9	7,051,352	15.4	△ 2,319,678	△ 32.9
補助	1,577,928	3.6	1,756,321	3.8	△ 178,393	△ 10.2
単独	3,153,746	7.3	5,295,031	11.5	△ 2,141,285	△ 40.4
普通建設費	4,727,374	10.9	7,047,052	15.3	△ 2,319,678	△ 32.9
補助	1,577,928	3.6	1,756,321	3.8	△ 178,393	△ 10.2
単独	3,149,446	7.2	5,290,731	11.5	△ 2,141,285	△ 40.5
災害復旧費	4,300	0.0	4,300	0.0	0	0.0
補助	0	0.0	0	0.0	0	0.0
単独	4,300	0.0	4,300	0.0	0	0.0
12 予備費	40,000	0.1	40,000	0.1	0	0.0
合計	43,460,000	100.0	45,920,000	100.0	△ 2,460,000	△ 5.4

単位：千円

主たる増減の内訳	
臨時統計調査員報酬 17,959 職員給与 △72,385 退職手当 △14,953	人件
民間保育所運営費(質の向上分) 262,891 障害者支援 12,780 児童手当 △22,915 医療給付 △14,200	扶助
元金 △29,715 利子 △37,056	公債
	小計
地域福祉推進 77,810 産業用地調査 50,200 社会保障・税番号制度 44,731 予防接種 42,393 教員指導用教科書 30,761 総合運動場備品 27,769 課税事務用航空写真 21,459 公立保育所補助員賃金 △36,084	物件
道路定期点検 50,000 道路橋りょう維持補修 46,206 河川維持補修 2,264 公園維持補修 △1,751	維持
社会保障・税番号制度 36,421 広域消防負担金 17,935 臨時福祉給付金 △275,000 広域ごみ処理負担金 △130,597 6次産業化推進 △127,271 社協活動補助 △79,664 病院事業負担金 △39,532	補助
地域振興基金積立 △72,500	積立
病院事業出資金 △71,938 水道事業出資金 △39,550	投資
奨学金貸付金 △960 鳥獣被害対策 △425	貸付
介護保険 21,689 介護老人保健施設 19,146 後期高齢者 20,903 国保 △42,453 簡水 △5,500 市場 398 下水 57,100 上村デイ △21,700	繰出
	投資
	補助
	単独
	普建
公営住宅整備 202,286 民間保育所施設整備 188,525 林道改良 72,072 道整備交付金 △185,300 社会資本(道路) △181,460 給食施設整備 △145,242 春草生誕地整備 △74,816 屋内運動場整備 △36,495	補助
民間保育所整備 146,501 道路改良 52,594 庁舎整備 △929,145 給食施設整備 △596,790 公民館改修 △519,156 屋内運動所整備 △140,455 特養建設補助 △119,145 公園改修 △39,051	単独
	災害
	補助
	単独
	予備





職員の定数

(平成27年4月1日現在)

区 分	定 数 (人)	実 数 (人)
市長の事務部局の職員	810	682
議会の事務部局の職員	9	6
教育委員会の事務部局及び教育機関の職員	158	132
選挙管理委員会の事務部局の職員	5	3
公平委員会の事務部局の職員	2 (市長部局職員兼務2)	0
監査委員の事務部局の職員	4	3
農業委員会の事務部局の職員	25 (市長部局職員兼務14)	5
固定資産評価審査委員会の事務部局の職員	2 (市長部局職員兼務2)	0
病院事業の職員	710	658
水道事業の職員	55	21
小 計	1,780	1,510
市長部局付派遣職員		
	(財)南信州・飯田産業センター	3
	(社福) 飯田市社会福祉協議会	2
	飯田市土地開発公社	3
	長野県後期高齢者医療広域連合	1
	南相馬市	1
	飯田市職員労働組合専従・自治労長野県本部専従	3
	小 計	13
派遣職員(自治法派遣)		
	南信州広域連合事務局	7
	飯田広域消防本部	-
	飯田環境センター	2
	小 計	9
合 計		1,532

都市宣言

1 安全都市宣言

わが国における産業経済の成長と生活文化の向上は、近年著しいものがあり、わが飯田市も近代的生産都市として発展の一翼をにない、市勢も各方面にわたり伸展しつつある。反面、産業災害、交通事故、火災などの各種災害が多発し、日常生活をおびやかされていることは、憂慮にたえないところである。

もとより、災害を防止するための措置は、それぞれの分野において積極的に実施されているが、われわれはさらに進んで市民の生命尊重と、産業文化伸展の理念のもとに、各種の災害をより効果的に防止するため、飯田市各階層を一丸とする市民運動を強力に推進し市民の安全意識の高揚をはかることこそ緊要であると確信する。

われわれは、この際「国民安全の日」制定の意義に沿い、本市における産業・労働・交通・消防・教育・文化・婦人団体など各界の連携をはかり、市民生活のあらゆる面において安全を確保し、明るく住みよい都市建設を目指して、ここに飯田市を「安全都市」とすることを宣言する。

昭和36年 6 月26日

飯 田 市 議 会

2 明るい選挙都市宣言

民主政治の健全を期するためには、明るい選挙が行わなければならない。即ち、民主政治の基盤は選挙にある。

本市は、さきに公明選挙都市宣言をなし、これが運動を推進し、その実績をあげつつあるとはいえ、なお、遺憾な点なしとはいえない。

よって市民の代表である、本市議会はここに決意を新たにするとともに、市民の希望と熱意を結集し、これが現実を期するため、飯田市を「明るい選挙都市」とすることを宣言する。

昭和40年 6 月29日

昭和61年 6 月25日（一部変更）

飯 田 市 議 会

3 青色申告都市宣言

本市は自主申告納税の理想郷を実現するため、また市民が青色申告の本質を再認識して国民の基本的義務である納税についての思いを新たにし、かつ、その納税意欲の向上をはかって、社会経済の発展に貢献するとともに、市民相互の繁栄と幸福を築くため、ここに飯田市を「青色申告都市」とすることを宣言する。

昭和52年 9 月 21 日

飯 田 市 議 会

4 電波障害防止都市宣言

今日の情報化社会において、テレビ・ラジオは市民生活にとって不可欠のものとなっている。

しかるに、都市の近代化による高層建築物の増加、電気設備などの高度化は電波障害を誘発する要因となっている。

当市議会は、かつて昭和41年 9 月、他の市町村に先駆けて「電波無雑音都市宣言」を議決し、多大の成果を得て今日にいたっている。

今後、都市の近代化がさらに進む中で発生を免れない電波障害を一掃し、市民の快適な生活環境を築くため、その宣言の精神を一層敷延化して、ここに本市を電波障害防止都市とすることを宣言する。

昭和54年12月21日

飯 田 市 議 会

5 シートベルトヘルメット着用都市宣言

飯田市における交通事故は激増の一途をたどり、悲惨な事故のために多くの市民がその犠牲となっており、昭和56年度における人口 1 万人当りの事故率は55.3人で、県下17市中第 1 位という極めて憂慮される事態を迎え、事故絶滅は現下の緊急課題である。

交通事故の実態を見ると、シートベルト並びにヘルメットの着用は被害の防止、軽減を図る上で大きな効果が認められているが、その着用率は未だ十分といえない状況である。交通量の増加に伴い、ますます交通事故の危険が迫る現状にかんがみ、運転者のなお一層の交通安全意識を高めるため、ここに「シートベルト並びにヘルメットの着用」を宣言する。

昭和57年12月21日

飯 田 市 議 会

6 非核平和都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願望である。

しかるに、米・ソ超核大国による核軍拡競争は拡大均衡をめざすという口実でますます激化し、世界の平和と安全に重大な脅威と危機をもたらしている。

わが国は、世界唯一の核被爆国としてこの地球上に広島、長崎の惨禍を再びくりかえしてはならないと訴えるものである。

飯田市は、平和憲法の本質にのっとり、「非核三原則」を将来ともに尊重し、あらゆる国のあらゆる核兵器の廃絶を全世界に強く訴え、核兵器の全面撤廃と軍縮を推進し、もって世界の恒久平和達成をめざすものである。

ここに、飯田市を「非核平和都市」とすることを宣言する。

昭和59年 6 月 28 日

飯 田 市 議 会

7 振替納税推進都市宣言

期限内完納の思想の高揚をはかるため、市民が振替納税の本質を理解して国民の基本的義務である納税意識が向上し、社会経済の発展と市民相互の繁栄に貢献することを願い、ここに飯田市を「振替納税推進都市」とすることを宣言する。

昭和60年 6 月 29 日

飯 田 市 議 会

8 暴力団追放都市宣言

飯田市は、美しい自然と長い歴史と伝統文化につつまれた人情豊かなまちとして、平和で明るく住みよいまちづくりに積極的に取り組んでいるところである。

しかしながら、暴力団による不法行為は増加の一途を辿り、暴力団同志によるけん銃発砲事件も発生し、善良な市民生活が脅かされるなど、美しい郷土のイメージが損なわれことは、まことに遺憾であり、強い憤りを感じるものである。

善良な市民の平穏な日常生活と安全を守る立場から全市民の総意を結集し、暴力を是認しない地域づくりにつとめ、すべての暴力の根絶を図らなければならない。

よって、本市議会は、犯罪のない平和な住みよい郷土の建設をめざし、暴力行為を壊滅し、すべての暴力団を追放するため、ここに飯田市を「暴力団追放都市」とすることを宣言する。

昭和61年12月22日

飯 田 市 議 会

9 人権尊重都市宣言

私たちは、だれもが人間らしく幸福に生きる権利を有し、だれからも尊重され、親しまれ、愛されながら豊かに暮らすことを求めています。そして、美しい自然と同様に、だれ隔てなく接する思いやりのある美しい心を持つ市民が明るく生活するまちちを目指して努力しています。

しかし、大変残念なことに、現実には偏見による差別など様々な人権侵害が存在しています。このことは、早急に解決しなければならない重要な課題です。

よって、私たちは基本的人権を正しく理解し、尊重し、人権擁護の良き実践者となるとともに、善意を広め、互いに励まし合い、手を取り合ってあらゆる人権侵害を根絶することを誓うため、ここに飯田市を「人権尊重都市」とすることを宣言します。

平成8年6月24日

飯 田 市 議 会

10 環境文化都市宣言

私たち飯田市民は、地球環境問題が人類共通の課題であることに着目し、人と自然のかかわりを見つめ直して、日々の生活から産業活動まですべての営みが自然と調和するまちづくりに、先駆的に取り組んできました。

自然環境や生活環境などを取り巻く状況が厳しさの度を増している今日、「持続可能性」と「循環」を基本にして自分たちのライフスタイルから社会の有り様に至るまでをあらためて見直し、「環境に配慮」する日常の活動を「環境を優先」する段階へと発展させながら、新たな価値観や文化の創造へと高めていく必要があります。

私たちは、かけがえのない地球にある生態系の中で自然と共生する地球市民の一員としての原点に立ち返り、先人から受け継いだ美しい自然環境と多様で豊かな文化を活かしながら、市民、事業者、行政など多様な主体の積極的な参加と行動とによって人も自然も輝く個性ある飯田市を築くことを誓い、ここに「環境文化都市」を宣言します。

平成19年3月23日

飯 田 市 議 会

市政提携に関する覚書

長野県飯田市（以下「甲」という）と岡山県津山市（以下「乙」という）は、市政執行の面において相互に啓発し、いっそう市政の伸展と住民福祉の向上を期するため、緊密に提携することを協定し、当面、この目的達成のため、次の事項を実行することを確認する。

記

1 この目的達成のため、甲、乙において作成したあらゆる行政事務資料で、相手方の参考になると考えられるものは、相互に送付するものとする。この場合は窓口は、総務課 扱いとする。

2 甲、乙は、必要に応じて協議の上、相互に研修のため職員を派遣することができる。この派遣職員の滞在に要する経費は、それぞれ派遣する側の負担とする。ただし、執務に要する事務的経費は、委託を受けた側が負担する。

3 この協定書以外の特別な事項で必要があると認めるときは、その都度双方協議のうえ、決定する。

以上この協定を証するため、覚書2通を作成し、甲・乙各1通を保有する。

昭和44年3月25日

甲	飯田市長	清水重美
乙	津山市長	生末敏夫

友好都市締結

盟 約 書

日本国長野県飯田市とフランス共和国アルデンヌ県シャルルヴィル・メジエール市は、共に古きよき伝統を有し、人形劇芸術において重要な役割を果たしつつある。

両市の市民と市民が構成するさまざまな組織間の相互理解と友情を深めることにより、日本国とフランス共和国の親善を促進し、世界の平和に貢献することを希求し、ここに両市が友好都市として提携することを盟約する。

昭和63年8月5日

日本国 長野県
飯田市

市長 松澤 太郎

フランス共和国アルデンヌ県
シャルルヴィル・メジエール市
市長 ロジェ・マス

飯田市の主要年表

年 月	事 項
昭和12. 4	飯田・上飯田町合併 飯田市誕生 人口31,289人
5	第1回市議会議員選挙
6	飯田市初議会で、市長に野原文四郎氏を推挙
14. 11	市瀬泰一氏第2代目市長に就任
17. 5	市議選翼賛選挙で無投票当選
18. 8	伊那電鉄など飯田線となる
19. 12	県立飯田保健所開所
21. 4	戦後初の衆議院選挙 飯田市の人口33,772人
7	飯田駅前大火
22. 4	公選による知事、市長選。高田茂氏当選 第4代目市長に
4	飯田市大火 市街地の3分の2を焼失
23. 3	飯田市消防本部、消防署発足
26. 12	飯田市立病院開院
28. 11	りんご並木の植付始まる
29. 4	飯田長姫高校全国高校野球選抜大会で優勝
10	飯田市公民館、復興記念館開館
30. 4	市長選に松井卓治氏当選、第5代目市長に就任
31. 9	飯田市、座光寺村、松尾村、竜丘村、三穂村、伊賀良村、山本村、下久堅村が合併、新飯田市発足
31. 10	合併初の市議会 飯田市公民館で開催、議員数145名 合併後の市長選 松井卓治氏無投票当選
32. 4	松井市長、鼎町と上郷村へ合併を申入れる
34. 7	飯田市下水処理場供用開始。県下初、全国で6番目
35. 7	飯田市民プール完成
36. 3	川路村を合併
6	梅雨前線豪雨伊那谷を襲う 死者11人 行方不明5人
37. 10	建設大臣伊那谷の災害地を視察
11	飯田市役所新庁舎落成
38. 10	低開発地域工業開発地区に指定される
12	りんご並木後援会発足
39. 3	龍江村、千代村、上久堅村を合併
40. 7	市立病院新館落成
9	組合立、飯田衛生センター落成
12	老人ホーム川路寮開設
41. 1	市議会、地財法準用を議決
10	中央自動車道杭打式（今宮球場附近）

年 月	事 項
昭和42. 5	飯田勤労者福祉センター開館
9	飯田市議会 財政再建のため議員報酬5割削減可決
11	りんご並木15周年記念式典を行う
11	市制施行30周年記念式典を行う
43. 4	飯田市・鼎町・上郷村消防組合発足
5	りんご並木、NHK総合テレビで放映される
8	飯田市・鼎町・上郷村下水道組合発足
10	市長選に清水重美氏当選 第6代目市長に
44. 3	岡山県津山市と市制業務提携
8	36年災害復旧状況視察のため皇太子御夫妻来飯
11	飯伊地域広域市町村圏協議会発足
45. 2	飯田市・鼎町・上郷村上下水道組合発足
11	大平部落解散式
11	飯田卸売団地開設
46. 3	飯田市・鼎町・上郷町消防組合本部開設
6	名誉市民日夏耿之介氏死去 行年81才
6	市議会、生活改善推進を議決
8	りんご並木の碑除幕式
47. 4	飯田文化会館竣工
10	市長選に松澤太郎氏当選 第7代目市長に
49. 3	飯田市農業協同組合発足
5	松川ダム完成、妙琴浄水場通水式
50. 1	飯田中央農業協同組合発足
6	飯伊特別養護老人ホーム「飯田荘」完成
8	中央自動車道西の宮線開通（中津川一駒ヶ根間）
51. 2	鼎町・上郷町へ合併の申し入れをする
3	市議会議員定数を30人に削減
10	松尾終末処理場供用開始
11	飯田市公民館竣工
52. 5	飯田市総合運動場、勤労者体育センター完成
6	市民憲章制定
53. 10	第33回国民体育大会「やまびこ国体」開催（ラグビー会場）
12	飯田市基本構想、基本計画策定
54. 7	飯伊モデル定住圏地域の指定を受ける
8	人形劇カーニバル始まる
12	飯田市墓地霊園、桐林に完成

年 月	事 項
昭和55. 3	市営弓道場移転完成
4	橋北コミュニティ防災センター完成
56. 4	飯田地区広域消防組合発足（松川町・喬木村・大鹿村・豊丘村・高森町・清内路村・阿智村が加入）
9	鼎町早期に合併したいとの回答
57. 3	飯田市武道館完成
7	上郷町に再度合併の要請
8	飯田まつりに新曲「りんごん」を踊る
11	中央自動車道西宮線全線開通
12	飯田市・鼎町両議会合併協議会設置を可決
58. 1	第1回飯田市・鼎町合併協議会開かれる
3	飯田市保健センター完成
9	台風10号大きな被害を受ける
59. 2	座光寺小学校完成
3	橋南にコミュニティ防災センター完成 龍江公民館、支所完成
8	飯田市と鼎町との合併調印式
12	鼎町を合併
60. 3	天竜川治水基本協定の調印
4	旭ヶ丘中学校の開校
4	鼎町と合併後初の市議選
5	「三遠南信道路」3県レベル同盟会の設立
10	「美術博物館」基本構想委員会発足
61. 3	座光寺公民館・支所完成
8	人形劇アジア会議開催
10	飯田消防署新庁舎完成
12	北方地区土地区画整理事業着工
62. 1	飯田市立病院新副院長人事発令
2	飯田工業技術センター完成
3	イタチガ沢埋立地完成 丸山地区土地区画整理事業着工
4	飯田コンピュータ専門学校開校
8	飯田市子ども議会開催
10	市制施行50周年記念式典
11	りんご並木ヘニュートンのりんごの木、国道153号線バイパスへりんご植付
12	飯田市基本構想、基本計画策定

年 月	事 項
昭和63. 3	市道知久町中村線・国道153号線バイパス第1工区竣工
6	飯田市・上郷町両議会合併協議会設置可決
7	第1回飯田市・上郷町合併協議会開かれる 人形とけい塔ハミングパル並木通りに設置
8	シャルルビル・メジェール市と友好都市提携 飯田人形劇場開館 世界人形劇フェスティバル開催
10	飯田市美術博物館10月1日落成式 市長選に田中秀典氏当選 第8代目市長に
平成元. 3	桐林クリーンセンター完成 飯田運動公園県営飯田野球場完成
6	桐林運動広場完成
8	アフィニスセミナー開催 山梨リニア実験線、建設正式決定 三遠南信自動車道、程野・飯田東IC間のルート公表
1. 9	伊那谷高速交通フェア開催 第2. 4土曜日の閉庁実施
10	飯田市美術博物館開館
11	飯田市立病院、総合病院となる
12	飯田勤労者総合福祉センター完成
2. 3	松尾公民館・支所完成
4	名勝天竜峡温泉利用開始
8	新病院本体建設着工
11	新し尿処理場着工
12	県議定数（飯田地区）2人から3人に
3. 1	市営駐車場30分無料化
2	テレトピアモデル都市に指定
3	千代診療所完成
7	飯田市斎苑完成、動物炉が新設される
9	今田人形座が仏国で開催の人形劇世界フェスに出演
10	飯田工業高校跡地一帯が建設省「平成記念子供のもり公園」に指定される
12	飯田農協と飯田中央農協が合併「信州いいだ農協」が誕生
4. 2	天竜川治水対策事業起工式が行われる
3	飯田市で初の「かなえデイサービスセンター」完成 国道153号線バイパス第2工区と飯田下山線開通 飯田運動公園弓道場竣工

年 月	事 項
平成4. 3	飯田市有線放送局閉局
4	オフトーク通信事業開始 かなえデイサービスセンター開所 飯田ふれあい農園開園
6	オフトーク通信による議会本会議生中継開始 緑ヶ丘中学校プール完成
7	新し尿処理場「飯田竜水園」運転開始 伊賀良「育良町」誕生
9	新市立病院竣工式
10	国道153号線バイパス新市立病院まで開通 新市立病院開院（外来診療開始）
12	飯田市・上郷町合併調印式 飯伊地域が地方拠点都市第一次指定される
5. 1	地方拠点都市整備計画策定室設置
2	丸山羽場第2地区区画整理事業起工式
3	男女共同参画型社会をめざして「信州飯田女性プラン」（女性行動計画） まとまる 上久堅福祉企業センター竣工
4	市役所の業務が毎週土曜日閉庁となる
6	飯田駅前にアイパーク竣工
7	上郷町を合併し、人口が106千人となる
8	人形劇カーニバル15周年を迎える アフィニスセミナー5周年を迎える
10	飯田のシンボル「りんご並木」が40周年を迎える 浜松市のフルーツパークに飯田のりんごの苗木が植樹される また両市の美術館で所蔵品の交換展を開催 特別養護老人ホーム第二飯田荘が開所
12	飯伊地方拠点都市地域基本計画が知事承認を受ける
6. 2	三遠南信地域の振興を考える「三遠南信サミット」が浜松で開かれる 天竜川治水対策事業、龍江側で盛土工事本格着工
3	三遠南信自動車道「矢筈トンネル」供用開始 山本公民館、支所竣工
4	今田人形の館竣工 飯伊広域行政組合発足 オフトーク通信事業の放送業務を民間委託
6	ゆとり宣言都市指定モニュメント「ゆとり創造の樹」完成

年 月	事 項
平成6. 9	飯田市議長が友好都市フランスのシャルルビル・メジエール市を訪問
10	飯田市議会だより100号記念発行 飯田市総合運動場全面改修工事竣工
12	国土利用計画（飯田市計画）策定議決
7. 2	中心市街地から「西友」撤退 阪神大震災被災地へ支援 飯田市下水道整備計画策定
4	北部・竜東デイサービスセンター開所 天竜峡活性化センター「あざれあ」開館
7	飯田運動公園プール「アクアパーク I I D A」竣工 飯田市立病院に併設の伝染病棟隔離病舎（飯伊広域行政組合）供用開始
8	戦後50年平和祈念事業を開催（8～11月）
10	「三遠南信サミット&シンポジウム i n 飯田」開催 第41回風越登山マラソン開催（7年ぶりに復活）
12	飯田市議会12月定例会で条例定数は現行31人で議決 飯田農業振興地域整備計画を変更、都市計画の用途地域も変更
8. 2	天竜川治水対策事業、川路、竜丘側築堤工事起工式 市民構成劇「かざこし姫となかまたち」上演
3	市議会本会議で「飯田市部等設置条例の一部を改正する条例の規定について」否決
4	飯田市農政プラン策定 第4次基本構想・基本計画「環境文化都市をめざして」策定 飯田市工業振興マスタープラン策定 飯田やまびこマーチ10周年
5	矢高共同調理場竣工
6	人権尊重都市宣言 「飯田市部等設置条例の一部を改正する条例の規定について」可決
7	市役所組織機構改革が実施される（7月1日より）
12	さんとびあ飯田竣工 信州飯田ふるさと大使館開館 21' いいだ環境プラン策定
9. 2	ハートヒル川路竣工
4	市制施行60周年
5	市議会改選
5	市誌編さん委員会誕生
7	太陽光発電に無利子融資

年 月	事 項
平成9. 7	エコタウン地域に指定される
8	全国夏期巡回ラジオ体操会
10	世界地方都市十字路会議
12	J Aみなみ信州発足
平成10. 2	市民バス運行開始
2	長野オリンピック冬季競技大会開催
3	長野パラリンピック冬季競技大会開催、飯田市より2人参加
3	議員の各種審議会報酬辞退を全会一致で可決
4	天竜川治水対策・龍江側工事完成
6	飯田市役所ISO14001を取得する方針決定
	第1回飯田市藤本四八写真文化賞 (芳賀日出男さん、宮島功さん、南島孝さん受賞)
8	第20回人形劇カーニバル (20回を記念して世界人形劇フェステバル開催)
	第10回アフィニス夏の音楽祭ロストロ・ポーヰチ氏を迎え開催
平成11. 3	市議会「政策調査研究部会」報告(農業振興・交通施策・観光施策3部会の平成9年・10年度の2カ年の研究報告)
	病院問題特別委員会審査終了
	飯田工業技術研修施設・EMCセンターオープン
	りんご並木リニューアル
4	南信州広域連合発足
7	よこね田んぼ「日本の棚田100選」に選ばれる
12	ごみ処理費用負担制度開始
平成12. 1	I S O 14001認証取得
3	市議会「政策調査研究部会」報告(地方分権・I S O・工業振興3部会の平成12年度の1カ年の研究報告)
4	介護保険制度がスタート
7	丸山羽場地区区画整理事業第1地区完成
10	三遠南信パテントメッセ・EMCシンポジウムと工業技術交流相次ぐ
平成13. 1	観測開始以来の大雪に見舞われ市民生活に大きな影響が出る
3	政務調査費の交付に関する条例の制定
4	市議会改選
7	橋南第1地区再開発ビル「トップヒルズ本町」完成
8	地域交流センター「りんご庁舎」オープン
10	いいだFM開局
11	りんご並木「かおり風景100選」に選ばれる

年 月	事 項
平成14. 4	平成記念かざこし子どもの森公園開園
9	天竜川治水対策事業完成
10	菱田春草作「菊慈童」を購入
平成15. 1	ISO14001自己適合宣言
3	市議会「在り方研究会」「合併問題調査研究会」報告(半年間の研究報告) 「環境首都コンテスト」人口規模別第1位、総合第4位
5	南信州グリーンツーリズム特区取得
8	飯田市・喬木村・上村・南信濃村の4市村、任意合併協議会設立
10	りんご並木50周年記念事業
12	飯田市歴史研究所オープン
平成16. 1	橋南第2地区市街地再開発ビル着工
2	第1回ほんもの体験フォーラムin南信州の開催
3	オーライ！ニッポン大賞グランプリ内閣総理大臣賞受賞
3	飯田お練りまつり盛大に開催
5	「わがまちの“憲法”を考える市民会議」の発足
5	第12回環境自治体会議「いいだ会議」開催
6	自治体環境グランプリ環境大臣賞受賞
7	市立病院が地域医療支援病院として県から承認を受ける
10	飯田市長選で、牧野光朗新市長誕生
平成17. 4	地域経済活性化プログラム2005を策定、農業課と農業委員会の事務所移転
6	国際自転車レース「第9回ツアー・オブ・ジャパン南信州ステージ」を開催
7	高校統廃合問題に関連し、県公民館で「高校改革シンポジウム」を開催
10	上村及び南信濃村と合併
10	日独地域国際化サミットを飯田市で開催
平成18. 4	飯田やまびこマーチ20回記念大会
	結いターンキャリアデザイン室を設置
6	一般廃棄物最終処分場（千代地区）の建設工事開始
9	自治基本条例の制定
10	橋南第二地区市街地再開発ビル トップヒルズ第二オープン
平成19. 3	第5次基本構想基本計画と環境文化都市宣言を可決 川本喜八郎人形美術館オープン 市制70周年記念式典を開催
4	自治基本条例、地域自治区、第5次基本構想基本計画、総合的土地利用計画、行財政改革大綱など地域の自立に向けた新しい枠組みスタート 全国さくらシンポジウムin飯田開催
11	南信濃地域交流センター完成

年 月	事 項
平成20.	4 三遠南信自動車道飯喬道路 1 工区（飯田山本IC～天竜峡IC）が供用開始 6 天龍峡再生元年として天龍峡百年再生館オープン 8 北京オリンピックに、飯田市出身初の選手として矢澤一輝選手がカヌースラローム競技に出場 人形劇のまち30年を記念して「世界人形劇フェスティバル・いいだ人形劇フェスタ2008」を開催 アフィニス夏の音楽祭が20回をもって終了 10 飯田市・南信州広域連合・みなみ信州農協が共同で運営するマーケティングショップ「南信州ファームプロダクツマーケット」を名古屋市内にオープン、地元の名産物の販売や地域への産地ツアーを企画
平成21.	1 飯田市が内閣府から環境モデル都市に選出 3 グリーンバレー千代（最終処分場）竣工 4 市内の商工会議所、商工会が統合され新しい飯田商工会議所が誕生 5 オーケストラと友に音楽祭開催 7 飯田下伊那市町村による定住自立圏形成協定書の合同調印式 8 市企画部内に「リニア推進対策室」が設置される 10 飯田北部地区の農免道路が開通（上郷丹保地区～高森町下市田地区） 低炭素社会実現に向け「レンタサイクル事業」開始 11 新型インフルエンザが流行
平成22.	2 メガソーラーいいだ太陽光発電所 飯田市と中部電力㈱で共同建設することについて協定を締結 3 飯田お練りまつり 約32万人 42団体が参加 4 リニア中央新幹線推進本部設置（市役所内） 5 介護保健施設ゆうゆう 竣工 6 日本の環境首都コンテスト2009（第9回）で飯田市が総合2位（昨年3位） 7 集中豪雨による土砂災害（南信濃で昭和58年に次ぐ観測史上2番目となる223mmの降水量 土砂崩れや建物の全壊、床下浸水などの被害） 9 天龍峡盆踊りが25年ぶりに復活 10 定住自立圏全国市長村長サミット2010in南信州が開催
平成23.	1 メガソーラーいいだ太陽光発電所 運用開始 2 飯田大学連携会議「学輪IIDA」の設立 3 東日本大震災発生。避難者の受け入れ 3 飯田市美術博物館デジタルプラネタリウムを導入 5 国土交通大臣が全国新幹線鉄道整備法に基づき、リニア中央新幹線の整備計画を決定 6 三六災害から50年。三六災害50年シンポジウム開催

年 月	事 項
平成23. 6	日本の環境首都コンテストで「明日の環境首都賞」を受賞
9	フランス シャルルヴィル・メジエール市に「飯田通り」誕生
9	菱田春草没後百年 飯田市美術博物館で「没後百年記念特別展」開催
12	第5次飯田市基本構想後期基本計画策定
平成24. 4	飯田市立動物園リニューアルオープン（ちびっこランド） 8月にはペンギン舎、10月にはコンドル舎がリニューアル
5	エコハウスがJIA環境建築賞住宅部門で優秀賞を受賞
7	第10回スローライフまちづくり全国都市会議（スローライフサミット）開催
8	ロンドンオリンピックに、飯田市出身の矢澤一輝選手がカヌースラローム男子カヤックシングルで、北京大会に続き出場
11	第7回マニフェスト大賞地方議会部門最優秀成果賞受賞
平成25. 3	東和町交差点を周辺の改良工事にあわせ、全国で初めて信号機付交差点からラウンドアバウト方式に変更して整備
4	「地域環境権」をうたう飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例が施行
4	市役所新庁舎建設工事着工
8	人形劇フェスタ15周年を記念しアジア人形劇フェスティバルを開催
9	リニア中央新幹線のルート及び飯田市内への駅設置の決定が発表される
平成26. 2	観測史上最多の積雪深81cmを記録 中央自動車道の通行止め、農業生産施設の被害等市民生活に多大な影響を及ぼす
3	恒川官衙遺跡（座光寺地区）が、国史跡に指定される 飯田市立病院周産期センター、がん診療・緩和ケアセンター竣工
6	南アルプス（飯田市では上村、南信濃地区）がユネスコエコパークに登録される
10	航空宇宙産業クラスター拠点工場完成 リニア中央新幹線（品川・名古屋間）の工事実施計画が認可される
12	市役所新庁舎完成

飯田市自治基本条例

平成18年9月21日条例第40号

一部改正：平成23年11月30日条例第25号

一部改正：平成25年3月25日条例第2号

目次

前文

第1章 総則(第1条—第3条)

第2章 自治の基本原則(第4条—第7条)

第3章 市民等の役割(第8条—第10条)

第4章 地域自治(第11条—第15条)

第5章 市政運営(第16条—第21条)

第6章 市議会の役割(第22条—第27条)

第7章 市の執行機関の役割(第28条—第34条)

第8章 住民投票(第35条)

第9章 条例の見直し(第36条)

附則

わたくしたちの住む飯田市は、美しい自然に恵まれ、地域の風土に根付いた伝統や文化に支えられた人情豊かなまちとして知られ、伊那谷の中心都市として躍進しています。

わたくしたちは、これまで互いに助け合い協力し、特色のある地域活動やまちづくりを実践してきました。

わたくしたちは、分権型社会や少子高齢社会の到来により、社会構造が大きく変化する中で、まちづくりに進んで参加する「ムトス」の精神を、次の時代へ確実に引き継がなくてはなりません。

わたくしたちは、飯田市市民憲章にうたわれた市民としての心構えと理念を尊重し、協働して、市民が主体の住みよいまちづくりを推進するため、ここに、新たな自治の仕組みを定める飯田市自治基本条例を制定します。

第1章 総則

(目的)

第1条 この条例は、本市の自治の基本的な原則及びまちづくりに関する市民、市議会及び市の執行機関の役割を明らかにするとともに、市政運営についての基本的な指針を定めることにより、市民が主体のまちづくりを協働して推進することを目的とします。

(条例の位置付け)

第2条 この条例は、自治及び市政に関する基本的な原則を定めた最高規範であり、市民及び市は、この条例を誠実に遵守するものとします。

2 市は、条例、規則等を解釈し、又は制定、改廃する場合には、この条例の趣旨を尊重し、この条例に定める事項との整合性を図ります。

3 市は、基本構想等の計画の策定、政策の立案及び実施に当たっては、この条例の趣旨を尊重し、この条例に定める事項との整合性を図ります。

(用語の定義)

第3条 この条例において使用する用語の意義は、次のとおりとします。

- (1) 市民 市内に住所を有する人(以下「住民」といいます。)、市内で働き、若しくは学ぶ人又は市内において活動する人若しくは団体をいいます。
- (2) 市民組織 市民により自主的に形成され、まちづくりのために、互いに協力し多様な活動を行う組織をいいます。
- (3) 事業者 市内で、事業を営む個人及び法人その他の団体をいいます。
- (4) 市 市議会及び市の執行機関で構成する地方公共団体をいいます。
- (5) 市の執行機関 市長、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、農業委員会及び固定資産評価審査委員会をいいます。
- (6) まちづくり 「ムトス」の言葉に象徴される、まちを活気のある明るく住みよくするための事業や活動を総称します。
- (7) 自治 市民が市政に参加し、その意思と責任に基づき市政が行われることのほか、地域の公共的活動を自ら担い、主体的にまちづくりを推進することをいいます。
- (8) 協働 まちづくりのために、市民と市とが情報を共有し、それぞれの役割を担いながら対等の立場で協力し、共に考え行動することをいいます。
- (9) 基本構想 本市における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本となる考え方をいいます。

第2章 自治の基本原則

(自治の基本原則)

第4条 市民と市とは、この章に掲げる自治の原則に基づき、協働して自治を推進するものとします。

(市民主体の原則)

第5条 まちづくりは、市民一人ひとりが主体となり、市民相互及び市と協調することにより推進します。

2 市民は、地域社会の一員として尊重され、その個性や能力を十分発揮することができます。

(情報共有の原則)

第6条 まちづくりは、市政についての情報が市民に公開され、市民が市政について意見を提出し、その情報や意見を市民と市とが共有することにより推進します。

(参加協働の原則)

第7条 まちづくりは、市民に市政への多様な参加の場と機会とが保障され、市民と市とが適切に役割分担し、協働することにより推進します。

第3章 市民等の役割

(市民の権利)

第8条 市民は、まちづくりの主体として、まちづくりに参加する権利を有します。

2 市民は、市政に関する計画や政策の立案段階から参加する権利を有し、意見を述べるすることができます。

- 3 市民は、市政についての情報を知る権利を有し、市に対し市が保有する情報の公開を求めることができます。

(市民の役割)

第9条 市民は、まちづくりの主体として、市と協働し、地域社会の発展に寄与するよう努めます。

- 2 市民は、互いの活動を尊重し、自らの発言と行動に責任を持つものとします。

(事業者の役割)

第10条 事業者は、地域社会の一員として、地域社会との調和を図るとともに、従業員の行う地域活動にも配慮し、まちづくりに寄与するものとします。

第4章 地域自治

(市民組織の尊重)

第11条 市は、市民組織の自主性及び自立性を尊重し、市民組織が活動するために必要な支援を行います。

- 2 市民は、市民組織がまちづくり推進の主要な担い手であることを認識し、市民組織を尊重し、守り育てるものとします。

(地域自治の推進)

第12条 市は、地域の特性と自主性が活かされた、個性豊かで魅力ある地域のまちづくりを推進するため、自治の基本原則に基づき、分権によるまちづくりの仕組みを目指します。

(地域自治区)

第13条 市は、市民に身近な事務事業を市民の意見を反映させて処理するとともに、地域の自治を促進するため、法律に基づく地域自治区を設けます。

- 2 地域自治区に置かれる地域協議会は、地域の住民により構成され、地域の意見を調整し、協働によるまちづくりを推進します。

(まちづくりのための委員会等)

第14条 市は、市民組織が地域のまちづくりに取り組むため組織する委員会等の自主的及び自立的な運営を尊重します。

(自治活動組織)

第15条 市民は、地域社会の一員として、自治活動組織(地域市民により形成され、まちづくりに取り組む市民組織をいいます。)の役割について理解を深め、協力するとともに、自治活動組織への加入に努めます。

- 2 市民は、可能な範囲内で、自治活動組織の活動に参加し、地域社会において個性や意欲を発揮することができるものとします。
- 3 自治活動組織は、地域市民の加入や参加が促進されるために必要な環境づくりに努めます。

第5章 市政運営

(協働して行う市政運営)

第16条 市は、市政に関する計画や政策の立案段階から市民の参加を促進し、市民と協働して市政運営を行います。

2 市は、市民の多様な参加の機会を整備し、協働のまちづくりを推進し、自治の拡充を図ります。

(市民意見の公募)

第17条 市は、別に定めるところにより、重要な計画及び政策の策定又は変更について事前に案を公表し、市民の意見を求めます。

2 市は、市民から提出された意見を尊重し、意見についての考え方を公表します。

(附属機関の委員の任命)

第18条 市の執行機関は、特定事項について審議又は調査等を行う附属機関に、市民の多様な意見が反映されるように委員を任命します。

(情報の公開)

第19条 市は、公正で開かれた市政の実現を図るため、市政についての情報の公開に関する総合的な施策に基づき、積極的に情報を公開します。

2 市は、市民の必要とする情報について、適切かつ速やかな提供に努めます。

(個人情報の保護)

第20条 市は、市民の個人情報に関する権利を保障するとともに、個人情報を適正に管理します。

(基本構想等)

第21条 市は、まちづくりの理念に基づき、市議会の議決を経て基本構想を定め、総合的かつ計画的な市政運営に努めます。

2 市は、基本構想、基本計画その他市の施策の基本となる計画を策定するに当たっては、市民参加の機会を保障します。

第6章 市議会の役割

(市議会の責務)

第22条 市議会は、市民の代表機関として、市という団体の意思決定機関であり、法律若しくはこれに基づく政令又は条例の定めるところにより議決の権限を行使し、市民の意思が的確に反映されるよう活動します。

2 市議会は、市の執行機関の活動を監視、評価することにより、適正な行政運営の確保に努めます。

3 市議会は、政策の立案、提言の内容の充実を図るための調査研究活動に努めます。

4 市議会は、合議体として論点、課題等について議論を深めるため、議員相互間の自由な討議を重んじて活動します。

(開かれた議会運営)

第23条 市議会は、市議会が保有する情報を公開するとともに、会議及び委員会等を公開し、並びに議会活動について市民に説明することにより、市民との情報の共有に努めます。

- 2 市議会は、市民の意見を聞くため議会活動への市民参加を推進し、市民に開かれた議会運営に努めます。
- 3 市議会は、議会報告会の開催等を通じ、前2項に規定することの実現に努めます。

（市議会議長の責務）

- 第24条 市議会議長は、市議会を代表し、公正中立に職務を遂行するとともに、円滑かつ効率的な議会運営を図るよう努めます。
- 2 市議会議長は、市議会に関する事務を統一的に処理するため、議会事務局の職員を適切に指揮監督し、職員の能力の向上を図るよう努めます。

（市議会議員の責務）

- 第25条 市議会議員は、市民の意向把握や情報収集に努め、市民全体の利益を優先して政策提言を行います。
- 2 市議会議員は、政治倫理の確立に努め、公正かつ誠実に責務を遂行し、市民の負託にこたえます。
 - 3 市議会議員は、市議会の役割及び責務を自覚し、その誠実な遂行のため自己研鑽に努めます。

（政策の調査、審議のための機関）

- 第26条 市議会は、政策の調査、立案のために必要な専門的事項に係る調査、審議を、学識経験を有する者等に求めることができます。
- 2 市議会は、前項の学識経験を有する者等の指定に当たっては、市民の多様な意見が反映されるようにします。

（市議会事務局職員の責務）

- 第27条 市議会事務局職員は、市議会の持つ権能が十分発揮されるよう、全力をあげて市議会の活動を補佐します。
- 2 市議会事務局職員は、職務の遂行に必要な知識と能力の向上に努めます。

第7章 市の執行機関の役割

（市長の責務）

- 第28条 市長は、市の代表者として公正かつ誠実に市政を運営します。
- 2 市長は、自治の基本原則に基づき、市の計画及び政策の策定、実施、評価等を行います。

（市の執行機関の責務）

- 第29条 市の執行機関は、条例、予算その他の議会の議決に基づく事務及び法令、規則その他の規程に基づく事務を適正に管理、執行します。

（市の執行機関の組織運営）

- 第30条 市の執行機関は、行政組織について効率的かつ機能的なものとするとともに、相互の連携を図り、最小の経費で最大の行政効果を上げるよう運営します。
- 2 市の執行機関は、職員を適切に指揮監督し、職員の能力の向上を図るよう努めます。

（説明責任）

第31条 市の執行機関は、行政運営の透明性を高めるため、市政について、市民に分かりやすく説明する責任を果たします。

2 市長その他の執行機関は、市議会に対して、市政に関する意思決定の過程及び行政運営の状況を随時報告するものとします。

(行政評価)

第32条 市の執行機関は、市の施策や事務事業の執行状況を、基本構想等に基づき検証し、継続的な見直しを行い、効果的に執行します。

2 市の執行機関は、施策や事務事業の達成状況を公表し、市民から理解を得られる行政運営を進めます。

(財政状況の公表)

第33条 市長は、市の財源の確保とその効率的かつ効果的な運用により、財政の健全性に努めます。

2 市長は、財政状況を市民にわかりやすく公表するように努めます。

(市の執行機関の職員の責務)

第34条 市の執行機関の職員は、全体の奉仕者として、公平、公正かつ誠実に、全力をあげて職務を遂行します。

2 市の執行機関の職員は、職務の遂行に必要な知識と能力の向上に努めます。

第8章 住民投票

(住民投票)

第35条 市は、市政の特に重要な事項について、直接住民の意思を確認する必要があるときは、市議会の議決を経て住民投票を実施することができます。

2 市は、住民投票の結果を尊重します。

3 住民投票の実施に関し必要な事項は、その都度条例で定めます。

第9章 条例の見直し

(条例の見直し)

第36条 市は、社会の変化に対応して、本条例が第1条の目的を達成するために必要があるときは、条例の見直しを行います。

附 則

この条例は、平成19年4月1日から施行します。

附 則(平成23年11月30日条例第25号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成25年3月25日条例第2号)

この条例は、公布の日から施行する。

飯田市市歌

堀内 敬三 作曲
宮脇 至 作詞
西條 八十 補

一、山はアルプス赤石の

峯にかがやくしらゆきを
高き心のすがたとあおぎ
かける理想よ我らが飯田

二、谷は伊那谷天竜の

あぐるしぶきにたつ虹を
清き命の泉となして
希望もえたつ我らが飯田

三、南信濃に伝統の

文化花咲く美し町
協す力にいぶきも新た
のびよ久遠に我らが飯田

飯田市市歌

犬塚 利国 作詞
飯田 景広 作曲

一、山紫に水明らかに

生業栄え 人皆和して
希望の光 遍く充てり
げに飯田市の輝く天地

二、南信濃の陽は照り映えて

四季行楽に 名を負うところ
観光都市の 誉れも添ひて
げに飯田市の輝く前途

三、落葉に残す 千古の偉業

烈婦偲ぶ 不断の煙り
大儒の松風 今なお高し
げに飯田市の輝く誇り

四、ああ天恵に 幸負う我等

協同進取の 旗なびかせて
目指すは彼方 久遠の理想
げに飯田市の輝く使命

飯田市議会要覧 平成27年度版

発行日 平成27年7月発行

編集・発行 飯田市議会事務局

〒395-8501

長野県飯田市大久保町2534番地

TEL 0265-22-4523（直通）0265-22-4511（内線5611）

FAX 0265-53-8821

e-mail igikai@city.iida.nagano.jp

URL <http://www.city.iida.lg.jp/>